

事業年度	令和3年度
工事種別	改修工事（機械設備工事）
工事番号	地域工-5

工事名 可児市広見東地区センター空調設備更新工事

---

◎注意事項

この内訳書の工事項目及び数量は、積算する上での参考資料です。

積算の際は、設計図面にて工事項目及び数量を拾い出し積算して下さい。

可児市

市民部

地域振興課

当初 設計書

工事番号	地域工-5	工事箇所	可児市 瀬田 地内	施設名	広見東地区センター
工事名	可児市広見東地区センター空調設備更新工事				
理 由			工 事 概 要		
<p>広見東地区センター（H10）の既存の空調・換気設備は、20年以上が経過し、老朽化による不具合が頻繁に生じているため更新工事を行う。</p>			<p>可児市広見東地区センター            建築面積：1,183.232㎡            延床面積：1,104.628㎡            構 造：鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）            階 数：平屋建て</p> <p>空調機器更新工事 一式            換気設備更新工事 一式            上記工事に伴う建築・電気設備工事 一式</p> <p>※詳細は設計図書及び特記仕様書による。</p>		
金 額		円	内消費税相当額		円
特 記 仕 様 書					
<p>1. 一般事項</p> <p>(1) 受注者は、工事請負契約書、可児市建設工事共通仕様書及び特記仕様書に基づき施工するものとする。なお、特記仕様書は共通仕様書に優先する。</p> <p>(2) 受注者は、本工事が「可児市工物品質証明実施要領」の対象となる場合、要領に基づき品質の証明を実施しなければならない。</p> <p>(3) 提出・提示書類は別添「可児市建設工事における取扱い書類一覧表」に基づき実施するものとする。また、工事打合簿（指示、協議、承諾は除く）、材料確認簿、夜間・休日作業届けの書類を提出する場合は、別添様式に基づき、電子メールにて提出するものとし、書面には署名または押印する必要はないものとする。これらに定めのない事項については、監督員と協議する。</p> <p>2. 建設副産物有効利用及び適正処理について</p> <p>(1) 受注者は、建設副産物を排出するにあたっては、建設リサイクル法を遵守するとともに、「岐阜県建設副産物有効利用及び適正処理実施要綱」により、適切に実施すること。</p> <p>(2) 建設発生土については、工事間流用とし、流用先は監督員が指示する。都合により工事間流用ができなくなった場合は、別途協議する。ただし、建設発生土が100m3未満の場合はこの限りではない。また受注者の都合により処分場を変更する時は監督員に報告するものとする。なお、「岐阜県埋立て等の規制に関する条例」及び「岐阜県建設発生土管理基準」に基づき適正な利用の推進を図ること。</p> <p>3. 使用材料</p> <p>(1) 生コンクリートについて            本工事に使用するコンクリートの水セメント比は、鉄筋コンクリート(24N/mm<sup>2</sup>以上)については55%以下、無筋コンクリート及び鉄筋コンクリート(21N/mm<sup>2</sup>以下)については60%以下、均しコンクリートについては60%程度とし、品質を証明する書類を提出して、事前に監督員の許可を得ること。</p> <p>4. 工事施工について</p> <p>(1) 受注者は、工事着手に先立ち、現場付近の地元住民等に対する周知、説明、説得等を行い、トラブルの生じないように努めること。</p> <p>(2) 工事による既設構造物の破損については、未然に防止するよう予め十分調査をし、また、支障を及ぼさないよう相当の防護工を施工しなければならない。なお、誤って損傷を与えた場合は、請負人の責任において復旧しなければならない。調査に際しては、記録保存の必要を認めた場合は写真撮影、測量等を行わなければならない。</p> <p>5. 工事保険について            本工事において、発注者、受注者及び全下請人を被保険者として、工事着手から工事目的物の引渡しまでの期間について、賠償責任保険（保険対象：第三者に与えた損害）及び工事保険（保険対象：工事目的物、工事材料及び仮設物等）に加入するものとする。</p> <p>6. ワンデーレスポンスの取組について</p> <p>(1) この工事は、ワンデーレスポンス実施対象工事です。            「ワンデーレスポンス」とは受注者からの質問、協議、報告、承諾願、立会願等への回答は、基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することです。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。</p> <p>(2) 実施にあたっては、可児市工事監督におけるワンデーレスポンス実施要領に基づき実施する。</p> <p>(3) 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合や計画工程と実施行程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに監督員へ報告すること。</p> <p>(4) 受注者は、施工計画書に基づいて適正な計画工程を作成し、工事の先々を予見しながら、施工するものとする。</p>					

7. 電子納品について  
「岐阜県電子納品要領」等に基づき、電子納品を行うこと。なお、電子納品の内容については、監督員と事前に協議し、決定すること。
8. 暴力団等による不当介入における通報義務について  
(1) 受注者は、契約の履行に当たって、暴力団又は暴力団員等から、事実関係及び社会通念等に照らして合理的な理由が認められない不当若しくは違法な要求又は契約の適正な履行を妨げる妨害を受けたときは、警察へ通報するとともに、可児市が行う契約からの暴力団排除に関する措置要綱(平成22年可児市訓令甲第47号)に定める様式第9号により可児市に報告しなければならない。なお、通報・報告がない場合は、可児市建設工事請負契約に係る指名停止措置要領に基づき、指名停止等の措置を行うことがある。  
(2) 受注者は、暴力団又は暴力団員等による不当介入を受けたことにより、履行期間内に工事等を完了することができないときは、発注者に履行期間の延長変更を請求することができる。
9. 現場代理人の兼務について  
現場代理人は、工事請負契約約款第10条第2項の規定により、契約工期内の現場常駐が義務付けられているが、契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間や、工事の全部の施工を一時中止している期間については、監督員との連絡体制を確保した上で、常駐義務を緩和するものとする。  
また、以下の条件を全て満たす場合に、他工事の現場代理人又は専任でない主任技術者を兼務することができる。  
1. 他工事は、可児市発注の建設工事で、工事現場が市内であること。  
2. 他工事においても、本工事と同様に現場代理人の兼務を認めていること。  
3. 兼務を行う工事の総数が、本工事を含めて3件までであること。  
4. 兼務を行う工事の請負代金額の合計が3,500万円未満であること。  
5. 発注者又は監督員が求めた場合には、工事現場に速やかに向かう等の対応ができること。  
なお、工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がある場合、及び、発注者との連絡体制が確保されていないと監督員の認めた場合は、兼務を取り消すものとする。  
現場代理人が兼務となった場合は、本工事の監督員及び他工事の監督員の双方に、現場代理人兼務届を提出しなければならない。
10. 可児市公共基準点の保全について  
公共施工区域内に可児市公共基準点が設置してある場合は、基準点紙を滅失・き損または、その効用に支障をきたすことのないよう十分に留意すること。施工上止むを得ず支障となる場合は、事前に監督員に報告すること。
11. 法定外の労災保険の付保  
本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
12. その他  
・国土交通省大臣官房庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書(建築・電気設備・機械設備工事編) 最新版  
・国土交通省大臣官房庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書(建築・電気設備・機械設備工事編) 最新版  
・別途発注する『広見東地区センター防水改修工事』と工程を調整の上、連携して進めること。

その他図面特記仕様書による。

記号	工 事 名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	可児市広見東地区センター空調設備更新工事						
A	建築工事		1.00	式			
E	電気設備工事		1.00	式			
M	機械設備工事		1.00	式			
I	直接工事費 計		1.00	式			
II	共通仮設費	(共通仮設工事費積上分を含む)	1.00	式			
	純工事費 計						
III	現場管理費		1.00	式			
	工事原価 計						
IV	一般管理費等負担額		1.00	式			
	工事価格 計						
V	消費税相当額		1.00	式			
	総 合 計						

特記仕様書  
(条件明示)

工事名 可児市広見東地区センター空調設備更新工事

下記項目、事項のうちレ印該当欄は、工事施工にあたって制約等をうけることになるので明示する。

なお、明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、市と協議し適切な処置を講ずるものとする。

施工条件

明示項目	明示事項	制約条件等
工 程	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 関連する別途発注工事あり	<input checked="" type="checkbox"/> A. 工種 ( 防水工事 ) <input checked="" type="checkbox"/> B. 期間 ( ~ 令和4年1月11日 )
	<input type="checkbox"/> 2. 他機関協議による工程条件あり	<input type="checkbox"/> A. 工種 ( ) <input type="checkbox"/> B. 期間 ( ~ )
	<input type="checkbox"/> 3. 他機関との協議状況	<input type="checkbox"/> A. 協議済機関及び内容 ( ) <input type="checkbox"/> B. 未協議機関及び内容 ( )
	<input type="checkbox"/> 4. 占用許可状況 ( )	<input type="checkbox"/> A. 許可済 <input type="checkbox"/> B. 申請中
	<input type="checkbox"/> 5. 建築確認	<input type="checkbox"/> A. 許可済 <input type="checkbox"/> B. 申請中
	<input type="checkbox"/> 6. 河川区域、保全区域内作業あり	<input type="checkbox"/> A. 許可済 <input type="checkbox"/> B. 申請中
	<input type="checkbox"/> 7. 文化財協議 (文化財課)	<input type="checkbox"/> A. 協議済内容 ( ) <input type="checkbox"/> B. 未協議内容 ( )
	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 施工時期	<input checked="" type="checkbox"/> A. 施工時期 担当課、施設管理者と協議の上決定すること
	<input type="checkbox"/> 9. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ( )
用 地	<input type="checkbox"/> 1. 用地補償物件撤去まで着工制限あり	<input type="checkbox"/> A. 区間 (No. ~ No. ) <input type="checkbox"/> B. 着工見込時期 ( ) <input type="checkbox"/> C. 内容 ( )
	<input type="checkbox"/> 2. 工事用地の未買収	<input type="checkbox"/> A. 場所 ( ) <input type="checkbox"/> B. 処理の見込み時期 ( ) <input type="checkbox"/> C. 未買収地への立ち入り可否 ( )
	<input type="checkbox"/> 3. 仮設ヤードの有無	<input type="checkbox"/> A. 官有地 <input type="checkbox"/> B. 民有地 <input type="checkbox"/> C. その他 ( ) <input type="checkbox"/> D. 別途協議
	<input type="checkbox"/> 4. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ( )
公 害 対 策	<input type="checkbox"/> 1. 施工方法の制限あり	<input type="checkbox"/> A. 騒音 ( ) <input type="checkbox"/> B. 振動 ( ) <input type="checkbox"/> C. 水質 ( ) <input type="checkbox"/> D. その他 ( )
	<input type="checkbox"/> 2. 事業損失防止に関する調査あり	<input type="checkbox"/> A. 調査の項目 ( )
	<input type="checkbox"/> 3. 環境影響調査あり	<input type="checkbox"/> A. 生物・植物調査あり <input type="checkbox"/> B. アスベスト含有材あり <input type="checkbox"/> C. フロン回収あり <input type="checkbox"/> D. その他 ( )
	<input type="checkbox"/> 4. その他	<input type="checkbox"/> A. 全面通行止め <input type="checkbox"/> B. 片側通行止め <input type="checkbox"/> C. 時間制限あり ( )
安 全 対 策	<input type="checkbox"/> 1. 交通規制あり	<input type="checkbox"/> A. 迂回路あり <input type="checkbox"/> B. 仮設歩道必要
	<input type="checkbox"/> 2. 通学路あり	<input type="checkbox"/> A. 区間 (No. ~ ) 配置人員 人/日 <input type="checkbox"/> B. 区間 (No. ~ ) 配置人員 人/日 <input type="checkbox"/> C. 区間 (No. ~ ) 配置人員 人/日 <input type="checkbox"/> D. 交替要員あり
	<input type="checkbox"/> 2. 交通整理員	<input type="checkbox"/> A. 工法制限あり ( ) <input type="checkbox"/> B. 作業時間制限あり ( )
	<input type="checkbox"/> 3. 鉄道等の近接作業制限あり	<input type="checkbox"/> A. 協議済内容 ( ) <input type="checkbox"/> B. 未協議内容 ( )
	<input type="checkbox"/> 4. バス路線 (運行者との協議)	<input type="checkbox"/> A. その他 ( 施設利用者に配慮した計画を行うこと。 )
	<input checked="" type="checkbox"/> 5. その他	<input type="checkbox"/> A. 搬入経路指定あり <input type="checkbox"/> B. 時間帯制限あり
工 事 用 道 路	<input type="checkbox"/> 1. 一般道路 (搬入路) の使用制限	<input type="checkbox"/> A. 一般交通供用あり <input type="checkbox"/> B. 安全施設必要 ( ) <input type="checkbox"/> C. 路面工 ( ) <input type="checkbox"/> D. 工事完了後存続又は撤去 ( ) <input type="checkbox"/> E. 構造 ( ) <input type="checkbox"/> F. 用地 (借地) <input type="checkbox"/> G. 用地 (公用地) <input type="checkbox"/> H. 用地 (その他)
	<input type="checkbox"/> 2. 仮設道路の設置条件あり	<input type="checkbox"/> A. その他 ( )
	<input type="checkbox"/> 3. その他	<input type="checkbox"/> A. 工種 ( )
指 定 仮 設 備	<input type="checkbox"/> 1. 仮設物の指定又は一部指定あり	<input type="checkbox"/> A. 工種 ( )
	<input type="checkbox"/> 2. 仮設構造物の転用、兼用あり	<input type="checkbox"/> A. 工種 ( ) <input type="checkbox"/> B. 内容 ( )
	<input type="checkbox"/> 3. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ( )

明示項目	明示事項	制約条件等
建設発生土 建設（産業）廃棄物 関係	<input type="checkbox"/> 1. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [場所が未確定]	<input type="checkbox"/> A. 運搬距離 ( Km ) <input type="checkbox"/> B. 投棄料計上あり <input type="checkbox"/> C. 整地（押土、敷均、締固等）必要 <input type="checkbox"/> D. 整地（押土）必要
	<input type="checkbox"/> 2. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [自工事へ流用]	<input type="checkbox"/> A. 盛土、埋戻 <input type="checkbox"/> B. スtockヤード利用あり ( ) <input type="checkbox"/> C. 仮置場必要 ( ) <input type="checkbox"/> D. 運搬距離 ( Km ) <input type="checkbox"/> E. 仮置場の用地借上費計上あり
	<input type="checkbox"/> 3. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [他工事へ流用、または処分地指定]	<input type="checkbox"/> A. 場所 ( ) <input type="checkbox"/> B. 盛土、埋戻 <input type="checkbox"/> C. 整地（押土、敷き均し、転圧）あり <input type="checkbox"/> D. スtockヤード利用あり ( ) <input type="checkbox"/> E. 仮置場必要 ( ) <input type="checkbox"/> F. 運搬距離 ( Km ) <input type="checkbox"/> G. 仮置場の用地借上費計上あり <input type="checkbox"/> H. 処分料計上あり
	<input type="checkbox"/> 4. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [他工事からの流用]	<input type="checkbox"/> A. 他工事名 ( ) <input type="checkbox"/> B. 請負者運搬あり（運搬距離 Km ) <input type="checkbox"/> C. 盛土、埋め戻し <input type="checkbox"/> D. スtockヤード利用あり ( ) <input type="checkbox"/> E. 仮置場必要 ( ) <input type="checkbox"/> F. 仮置場の用地借上費計上あり
	<input type="checkbox"/> 5. 産業廃棄物の処理条件あり [特別管理産業廃棄物]	<input type="checkbox"/> A. 種類 ( ) <input type="checkbox"/> B. 場所 ( ) <input type="checkbox"/> C. 中間処理施設までの運搬距離 ( Km ) <input type="checkbox"/> D. 処理費計上あり
	<input type="checkbox"/> 6. 浄化槽、汲み取り便槽の取壊し処分あり	<input type="checkbox"/> A. 槽内洗浄必要 <input type="checkbox"/> B. 可児市環境課と打合せの必要あり
	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 「岐阜県建設副産物有効利用及び適正処理実施要綱」に基づく提出・提示書類あり	<input checked="" type="checkbox"/> A. 産業廃棄物管理票（マニフェスト） <input type="checkbox"/> B. 建設発生土管理状況書類及び処理地の関係図書 <input checked="" type="checkbox"/> C. コブリス <input checked="" type="checkbox"/> D. 廃棄物処理委託契約、許可書
工事支障物件	<input type="checkbox"/> 1. 占用支障物件あり（電気）	<input type="checkbox"/> A. 移設時期（R 年 月頃） <input type="checkbox"/> B. 移設時期（別途協議）
	<input type="checkbox"/> 2. 占用支障物件あり（電話）	<input type="checkbox"/> A. 移設時期（R 年 月頃） <input type="checkbox"/> B. 移設時期（別途協議）
	<input type="checkbox"/> 3. 占用支障物件あり（水道）	<input type="checkbox"/> A. 移設時期（R 年 月頃） <input type="checkbox"/> B. 移設時期（別途協議）
	<input type="checkbox"/> 4. 占用支障物件あり（下水道）	<input type="checkbox"/> A. 移設時期（R 年 月頃） <input type="checkbox"/> B. 移設時期（別途協議）
	<input type="checkbox"/> 5. 占用支障物件あり（ガス）	<input type="checkbox"/> A. 移設時期（R 年 月頃） <input type="checkbox"/> B. 移設時期（別途協議）
	<input type="checkbox"/> 6. 占用支障物件あり（マンホール蓋、仕切り弁蓋等）	<input type="checkbox"/> A. 管理者による高さ調整 ( ) <input type="checkbox"/> B. 請負者による高さ調整 ( )
	<input type="checkbox"/> 7. 占用支障物件あり（その他）	<input type="checkbox"/> A. 移設時期 ( ) <input type="checkbox"/> B. 移設時期（別途協議）
	<input type="checkbox"/> 8. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ( )
排水工関係	<input type="checkbox"/> 1. 濁水、湧水処理条件あり	<input type="checkbox"/> A. 方法 ( )
	<input type="checkbox"/> 2. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ( )
再生材使用	<input type="checkbox"/> 1. 再生材使用指定あり	<input type="checkbox"/> A. RC <input type="checkbox"/> B. アスファルト再生合材（30%再生） <input type="checkbox"/> C. アスファルト再生合材（100%再生） <input type="checkbox"/> D. 再生材を使用できない場合別途協議 <input type="checkbox"/> E.
	<input type="checkbox"/> 2. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ( )
その他	<input type="checkbox"/> 1. 現場発生材あり	<input type="checkbox"/> A. 品名 ( ) <input type="checkbox"/> B. 納入場所 ( )
	<input type="checkbox"/> 2. 支給材あり	<input type="checkbox"/> A. 品名 ( ) <input type="checkbox"/> B. 引渡し場所 ( )
	<input type="checkbox"/> 3. 現場環境改善	<input type="checkbox"/> A. 仮設費 ( ) <input type="checkbox"/> B. 安全費 ( ) <input type="checkbox"/> C. 営繕費 ( ) <input type="checkbox"/> D. 地域連携 ( )
	<input type="checkbox"/> 4. 「可児市工物品質証明実施要領」該当あり	<input type="checkbox"/> A. 品質証明員の配置あり
	<input type="checkbox"/> 5. 部分使用	<input type="checkbox"/> A. 範囲 ( ) <input type="checkbox"/> B. 時期 ( )
	<input type="checkbox"/> 6. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ( )

(科目別内訳)

名	称	規	格	寸	法	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
1	可児市広見東地区センター空調設備更新工事														
M	機械設備工事					1		式							
E	電気設備工事					1		式							
A	建築工事					1		式							
	合計														

(科目別内訳)

名	称	規 格 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
M	機械設備工事						
M-1	機械設備		1	式			
M-2	配管設備		1	式			
M-3	ダクト設備		1	式			
M-4	換気設備		1	式			
M-5	自動制御設備		1	式			
M-6	発生材廃棄処理		1	式			
	合計						



(細目別内訳)

名 称	規 格 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
M-1 機械設備						
空冷ヒートポンプエアコン	ACP-1 同時ツイン ロビ-系統 天井埋込ビルトインホルダ <sup>®</sup> 外形	1.0	組			
	室外機 冷房能力 28.0KW 暖房能力 31.5KW					
	室内機 冷房能力 14.0KW×2 暖房能力 16.0KW×2					
	フィルター及びフィルターボックス・冷媒分岐管 リモコンスイッチ共					
空冷ヒートポンプエアコン	ACP-2 エントランス系統 天井埋込ビルトインホルダ <sup>®</sup> 外形	1.0	組			
	冷房能力 14.0KW 暖房能力 16.0KW					
	フィルター及びフィルターボックス・冷媒分岐管 リモコンスイッチ共					
空冷ヒートポンプエアコン	ACP-3 同時ツイン 中庭廊下系統 天井埋込カセット4方向形	1.0	組			
	室外機 冷房能力 28.0KW 暖房能力 31.5KW					
	室内機 冷房能力 14.0KW×2 暖房能力 16.0KW×2					
	標準 <sup>®</sup> パネル・冷媒分岐管 リモコンスイッチ共					
空冷ヒートポンプエアコン	ACP-4 同時ツイン 事務室系統 天井埋込カセット4方向形	1.0	組			
	室外機 冷房能力 14.0KW 暖房能力 16.0KW					
	室内機 冷房能力 7.1KW×2 暖房能力 8.0KW×2					
	標準 <sup>®</sup> パネル・ライト <sup>®</sup> パネル・冷媒分岐管 リモコンスイッチ共					

## (細目別内訳)

名 称	規 格 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
空冷ヒートポンプエアコン	ACP-5 同時ツイン 会議室系統 天井埋込カセット4方向形	1.0	組			
	室外機 冷房能力 11.2KW 暖房能力 12.5KW					
	室内機 冷房能力 5.6KW×2 暖房能力 6.3KW×2					
	標準パネル・ワイドパネル・冷媒分岐管 リモコンスイッチ共					
空冷ヒートポンプエアコン	ACP-6 同時ツイン 和室系統 天井埋込カセット2方向形	1.0	組			
	室外機 冷房能力 14.0KW 暖房能力 16.0KW					
	室内機 冷房能力 7.1KW×2 暖房能力 8.0KW×2					
	標準パネル・ワイドパネル・冷媒分岐管 リモコンスイッチ共					
空冷ヒートポンプエアコン	ACP-7 同時ツイン 工作室系統 天井埋込カセット4方向形	1.0	組			
	室外機 冷房能力 14.0KW 暖房能力 16.0KW					
	室内機 冷房能力 7.1KW×2 暖房能力 8.0KW×2					
	標準パネル・ワイドパネル・冷媒分岐管 リモコンスイッチ共					
空冷ヒートポンプエアコン	ACP-8 同時ツイン 研修室1系統 天井埋込カセット4方向形	1.0	組			
	室外機 冷房能力 14.0KW 暖房能力 16.0KW					
	室内機 冷房能力 7.1KW×2 暖房能力 8.0KW×2					
	標準パネル・ワイドパネル・冷媒分岐管 リモコンスイッチ共					

## (細目別内訳)

名 称	規 格 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
空冷ヒートポンプエアコン	ACP-9 同時ツイン 研修室2系統 天井埋込カセット4方向形	1.0	組			
	室外機 冷房能力 14.0KW 暖房能力 16.0KW					
	室内機 冷房能力 7.1KW×2 暖房能力 8.0KW×2					
	標準パネル・ワイドパネル・冷媒分岐管 リモコンスイッチ共					
空冷ヒートポンプエアコン	ACP-10 湯沸室系統 天井埋込カセット4方向形	1.0	組			
	冷房能力 5.0KW 暖房能力 6.0KW					
	標準パネル・ワイドパネル リモコンスイッチ共					
空冷ヒートポンプエアコン	ACP-11 ステージ系統 天井露出形	2.0	組			
	冷房能力 16.0KW 暖房能力 18.0KW					
	リモコンスイッチ共					
空冷ヒートポンプビルマルチエアコン	EHP-11・12・13 ホール系統 室外機 冷房能力 28.0KW 暖房能力 31.5KW 吸込側用金網装備	3.0	組			
空冷ヒートポンプビルマルチエアコン	DR-280 ホール系統 床置ビルトイン形オールダクト接続タイプ 室内機 冷房能力 28.0KW 暖房能力 31.5KW	3.0	組			
	リモコンスイッチ共					
集中コントローラー		1.0	個			

(細目別内訳)

名 称	規 格 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
機器搬入費		1.0	式			
機器据付費		1.0	式			
室外機架台		1.0	式			
室内機取付金具		1.0	式			
あと施工アンカー		1.0	式			
総合調整費		1.0	式			
既設機器撤去工事		1.0	式			
既設機器搬出工事		1.0	式			
既設冷媒ガス回収破壊工事		1.0	式			
計						
改め計						

(細目別内訳)

名 称	規 格 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
M-2 配管設備						
冷媒配管(ガス管側)	被覆銅管 25.4φ 保温厚20mm	15.0	m			
冷媒配管(ガス管側)	被覆銅管 22.2φ 保温厚20mm	26.0	m			
冷媒配管(ガス管側)	被覆銅管 15.9φ 保温厚20mm	62.0	m			
冷媒配管(ガス管側)	被覆銅管 12.7φ 保温厚20mm	12.0	m			
冷媒配管(液管側)	被覆銅管 12.7φ 保温厚10mm	15.0	m			
冷媒配管(液管側)	被覆銅管 9.5φ 保温厚10mm	88.0	m			
冷媒配管(液管側)	被覆銅管 6.4φ 保温厚10mm	12.0	m			
制御配線	EM-CEE 2.0-3C	127	m			
既設冷媒管接続替え	屋上既設冷媒管×更新冷媒管	1.0	式			
エアコン室内機廻り配管接続替え工事	冷媒管・ドレン管切離し、接続	1.0	式			
配管用架台	既成コンクリート製+鋼材(亜塩素酸ナトリウム製)	1.0	式			
保温工事	冷媒被覆管銅管の成型保温	1.0	式			
既設配管類撤去工事	屋上冷媒配管+保温材類	1.0	式			
既設コンクリート架台類撤去工事	鋼材架台共	1.0	式			
計						
改め計						

(細目別内訳)

名 称	規 格 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
M-3 ダクト設備						
空冷ヒートポンプエアコン室内機廻りダクト工事費	EHP-11・12・13系統 AC-1・2系統	1.0	式			
フィルター取替え工事	EHP-11・12・13系統 室内機DR-280リタカダリ部分	1.0	式			
計						
改め計						

(細目別内訳)

名 称	規 格 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
M-4 換気設備						
送風機	OF-01 消音型ストレートシロッコファン 200φ×1,000m <sup>3</sup> /h×150Pa×110w	3.0	台			
排風機	EF-01 消音型ストレートシロッコファン 200φ×800m <sup>3</sup> /h×100Pa×110w	1.0	台			
排風機	EF-02 消音型ストレートシロッコファン 200φ×1,000m <sup>3</sup> /h×100Pa×110w	1.0	台			
排風機	EF-03 消音型ストレートシロッコファン 200φ×1,000m <sup>3</sup> /h×100Pa×110w	3.0	台			
天井換気扇	FV-01 低騒音 サニタリーDCモーター 100φ×150m <sup>3</sup> /h×80Pa×5.0w	1.0	台			
天井換気扇	FV-02 低騒音 サニタリーDCモーター 100φ×150m <sup>3</sup> /h×80Pa×5.0w	2.0	台			
天井換気扇	FV-03 低騒音 インテリアDCモーター 150φ×300m <sup>3</sup> /h×80Pa×11.0w	4.0	台			
天井換気扇	FV-04 低騒音 インテリアDCモーター 150φ×400m <sup>3</sup> /h×80Pa×21.0w	6.0	台			
天井換気扇	FV-05 低騒音 サニタリーDCモーター 150φ×550m <sup>3</sup> /h×80Pa×100.0w	2.0	台			
天井換気扇	FV-06 低騒音 台所DCモーター 150φ×550m <sup>3</sup> /h×80Pa×100.0w	3.0	台			
機器類取付費		1.0	式			
換気用機器廻りタテ外工事費		1.0	式			
既設機器撤去工事		1.0	式			
計						
改め計						

(細目別内訳)

名 称		規 格 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
M-5	自動制御設備						
	エアコン室内機廻り計装工事費		1.0	式			
	リモコンスイッチ類更新工事	リモコンスイッチ及び集中リモコンスイッチ 取外し新設取付工事	1.0	式			
	集中リモコン用計装工事		1.0	式			
	計						
	改め計						



(細目別内訳)

名	称	規	格	寸	法	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
M-6	発生材廃棄処理														
	積込運搬費	鉄くず				1.0		式							
	積込運搬費	廃プラ				1.0		式							
	積込運搬費	天井材				1.0		式							
	積込運搬費	ｺﾝｸﾘｰﾄがら				1.0		式							
	積込運搬費	機器等の混載類				1.0		式							
	処分費	鉄くず				1.0		式							
	処分費	廃プラ				1.0		式							
	処分費	天井材				1.0		式							
	処分費	ｺﾝｸﾘｰﾄがら				1.0		式							
	処分費	機器等の混載類				1.0		式							
	処分費	自動制御設備分				1.0		式							
	計														
	改め計														

名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
M	機械設備工事					
M-1	機械設備					
	機器搬入費					
	機器搬入費	EHP-11・12・13 ホール系統 室外機 冷房能力 28.0KW	3.0	台		
	機器搬入費	DR-280 ホール系統 床置ビルトイン形オールダクト接続タイプ	3.0	台		
	機器搬入費	ACP-1 同時ツイン ロビ-系統 室外機 冷房能力 28.0KW	1.0	台		
	機器搬入費	ACP-3 同時ツイン エントランス系統 室外機 冷房能力 28.0KW	1.0	台		
	計					
	改め計					
	機器据付費					
	機器据付費	EHP-11・12・13 ホール系統 室外機 冷房能力 28.0KW	3.0	台		
	機器据付費	DR-280 ホール系統 床置ビルトイン形オールダクト接続タイプ	3.0	台		
	機器据付費	ACP-1 同時ツイン ロビ-系統 室外機 冷房能力 28.0KW	1.0	台		
	機器据付費	ACP-1 同時ツイン ロビ-系統 室内機 冷房能力 14.0KW	2.0	台		
	機器据付費	ACP-2 ヘア エントランス系統 室外機 冷房能力 14.0KW	1.0	台		
	機器据付費	ACP-2 ヘア エントランス系統 室内機 冷房能力 14.0KW	1.0	台		

名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
機器据付費	ACP-3 同時ツイン 中庭廊下系統 室外機 冷房能力 28.0KW	1.0	台			
機器据付費	ACP-3 同時ツイン 中庭廊下系統 室内機 冷房能力 14.0KW	2.0	台			
機器据付費	ACP-4 同時ツイン 事務室系統 室外機 冷房能力 14.0KW	1.0	台			
機器据付費	ACP-4 同時ツイン 事務室系統 室内機 冷房能力 7.1KW	2.0	台			
機器据付費	ACP-5 同時ツイン 会議室系統 室外機 冷房能力 11.2KW	1.0	台			
機器据付費	ACP-5 同時ツイン 会議室系統 室内機 冷房能力 5.6KW	2.0	台			
機器据付費	ACP-6 同時ツイン 和室系統 室外機 冷房能力 14.0KW	1.0	台			
機器据付費	ACP-6 同時ツイン 和室系統 室内機 冷房能力 7.1KW	2.0	台			
機器据付費	ACP-7 同時ツイン 工作室系統 室外機 冷房能力 14.0KW	1.0	台			
機器据付費	ACP-7 同時ツイン 工作室系統 室内機 冷房能力 7.1KW	2.0	台			
機器据付費	ACP-8 同時ツイン 研修室1系統 室外機 冷房能力 14.0KW	1.0	台			
機器据付費	ACP-8 同時ツイン 研修室1系統 室内機 冷房能力 7.1KW	2.0	台			
機器据付費	ACP-9 同時ツイン 研修室2系統 室外機 冷房能力 14.0KW	1.0	台			
機器据付費	ACP-9 同時ツイン 研修室2系統 室内機 冷房能力 7.1KW	2.0	台			
機器据付費	ACP-10 ぺア 湯沸室系統 室外機 冷房能力 5.0KW	1.0	台			
機器据付費	ACP-10 ぺア 湯沸室系統 室内機 冷房能力 5.0KW	1.0	台			
機器据付費	ACP-11 ぺア ステージ系統 室外機 冷房能力 16.0KW	2.0	台			

名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
機器据付費	ACP-11 ペア ステージ 系統 室内機 冷房能力 16.0KW	2.0	台			
計						
改め計						
室外機架台						
エアコン室外機用既成コンクリート架台	① 1,200×140×150H 防振ゴム10mm共	4.0	基			
エアコン室外機用既成コンクリート架台	② 1,000×140×130H 防振ゴム10mm共	6.0	基			
エアコン室外機用既成コンクリート架台	③ 600×140×130H 防振ゴム10mm共	20.0	基			
計						
改め計						
室内機取付金具						
室内機取付金具	ふれ止め金具共	20.0	基			
計						
改め計						

名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
あと施工アンカー						
あと施工接着系アンカー	室内機 M-16 下向打	12.0	基			
計						
改め計						
総合調整費						
室内機調整		23.0	台			
計						
改め計						
既設機器撤去工事						
機器撤去費 再使しない	MA0-1 ホール系統 室外機 冷房能力 28.0KW	3.0	台			
機器撤去費 再使しない	MAI-1 ホール系統 床置ビルトイン形オールダクト外接続タイプ	3.0	台			
機器撤去費 再使しない	PAC-1 同時ラインロビースystem 室外機 冷房能力 28.0KW	1.0	台			
機器撤去費 再使しない	PAC-1 同時ラインロビースystem 室内機 冷房能力 14.0KW	2.0	台			

名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
機器撤去費 再使しない	PAC-2 ヘア エントランス系統 室外機 冷房能力 14.0KW	1.0	台			
機器撤去費 再使しない	PAC-2 ヘア エントランス系統 室内機 冷房能力 14.0KW	1.0	台			
機器撤去費 再使しない	PAC-3 同時ツイン 中庭廊下系統 室外機 冷房能力 28.0KW	1.0	台			
機器撤去費 再使しない	PAC-3 同時ツイン 中庭廊下系統 室内機 冷房能力 14.0KW	2.0	台			
機器撤去費 再使しない	PAC-4 同時ツイン 事務室系統 室外機 冷房能力 14.0KW	1.0	台			
機器撤去費 再使しない	PAC-4 同時ツイン 事務室系統 室内機 冷房能力 7.1KW	2.0	台			
機器撤去費 再使しない	PAC-5 同時ツイン 会議室系統 室外機 冷房能力 11.2KW	1.0	台			
機器撤去費 再使しない	PAC-5 同時ツイン 会議室系統 室内機 冷房能力 5.6KW	2.0	台			
機器撤去費 再使しない	ACP-6 同時ツイン 和室系統 室外機 冷房能力 14.0KW	1.0	台			
機器撤去費 再使しない	ACP-6 同時ツイン 和室系統 室内機 冷房能力 7.1KW	2.0	台			
機器撤去費 再使しない	ACP-7 同時ツイン 工作室系統 室外機 冷房能力 14.0KW	1.0	台			
機器撤去費 再使しない	ACP-7 同時ツイン 工作室系統 室内機 冷房能力 7.1KW	2.0	台			
機器撤去費 再使しない	ACP-8 同時ツイン 研修室1系統 室外機 冷房能力 14.0KW	1.0	台			
機器撤去費 再使しない	ACP-8 同時ツイン 研修室1系統 室内機 冷房能力 7.1KW	2.0	台			
機器撤去費 再使しない	ACP-9 同時ツイン 研修室2系統 室外機 冷房能力 14.0KW	1.0	台			
機器撤去費 再使しない	ACP-9 同時ツイン 研修室2系統 室内機 冷房能力 7.1KW	2.0	台			
機器撤去費 再使しない	ACP-10 ヘア 湯沸室系統 室外機 冷房能力 5.0KW	1.0	台			

名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
機器撤去費 再使しない	ACP-10 ヘア 湯沸室系統 室内機 冷房能力 5.0KW	1.0	台			
機器撤去費 再使しない	ACP-11 ヘア ステージ系統 室外機 冷房能力 16.0KW	2.0	台			
機器撤去費 再使しない	ACP-11 ヘア ステージ系統 室内機 冷房能力 16.0KW	2.0	台			
計						
改め計						
既設機器搬出工事						
機器搬出費						
機器搬出費	MAO-1 ホール系統 室外機 冷房能力 28.0KW	3.0	台			
機器搬出費	MAI-1 ホール系統 床置ビルトイン形オールタクト接続タイプ	3.0	台			
機器搬出費	PAC-1 同時ツイン ロビ-系統 室外機 冷房能力 28.0KW	1.0	台			
機器搬出費	PAC-3 同時ツイン エントランス系統 室外機 冷房能力 28.0KW	1.0	台			
計						
改め計						
既設冷媒ガス回収破壊工事						
回収機セットアップ費		1.0	式			

名 称	内 容	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
	回収技術料	1.0	式			
	回収機器損耗料	1.0	式			
	回収機器運搬費	1.0	式			
	回収冷媒破壊処理費	1.0	式			
	計					
	改め計					



名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
M-2	配管設備					
	既設冷媒管接続替え					
	冷媒管A	15.9φ×28.6φ (15A×25A相当)	2.0	箇所		
	冷媒管B	9.5φ×22.2φ (15A×20A相当)	3.0	箇所		
	冷媒管C	9.5φ×19.1φ (15A×20A相当)	9.0	箇所		
	冷媒管F	6.4φ×12.7φ (15A×15A相当)	1.0	箇所		
	計					
	改め計					
	エアコン室内機廻り配管接続替え工事					
	エアコン室内機廻り配管接続替え工事	PAC-1・2系統 天井ビルトイン型 室内機 冷房能力 14.0KW	3.0	台		
	エアコン室内機廻り配管接続替え工事	PAC-3 系統 天井カセット4方向型 室内機 冷房能力 14.0KW	2.0	台		
	エアコン室内機廻り配管接続替え工事	PAC-4 系統 天井カセット4方向型 室内機 冷房能力 7.10KW	2.0	台		
	エアコン室内機廻り配管接続替え工事	PAC-5 系統 天井カセット4方向型 室内機 冷房能力 5.6KW	2.0	台		
	エアコン室内機廻り配管接続替え工事	PAC-6 系統 天井カセット2方向型 室内機 冷房能力 7.1KW	2.0	台		
	エアコン室内機廻り配管接続替え工事	PAC-7・8・9 系統 天井カセット4方向型 室内機 冷房能力 7.1KW	6.0	台		
	エアコン室内機廻り配管接続替え工事	PAC-10 系統 天井カセット4方向型 室内機 冷房能力 5.0KW	1.0	台		

名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
エアコン室内機廻り配管接続替え工事	PAC-11 系統 天吊型 室内機 冷房能力 16.0KW	2.0	台			
エアコン室内機廻り配管接続替え工事	EHP-11・12・13系統 壁ビルドイン型 室内機 冷房能力 28.0KW	3.0	台			
計						
改め計						
配管用架台						
配管用架台 イ	既成コンクリート架台700×120×120H 鋼材600w×650H 防振ゴム10mm共	5.0	基			
配管用架台 ロ	既成コンクリート架台550×120×120H 鋼材450w×650H 防振ゴム10mm共	9.0	基			
配管用架台 ハ	既成コンクリート架台400×120×120H 鋼材300w×650H 防振ゴム10mm共	1.0	基			
配管用架台 ニ	既成コンクリート架台300×120×120H 鋼材200w×650H 防振ゴム10mm共	9.0	基			
配管用架台 ホ	既成コンクリート架台700×120×120H 鋼材600w×250H 防振ゴム10mm共	4.0	基			
配管用架台 ヘ	既成コンクリート架台550×120×120H 鋼材600w×250H 防振ゴム10mm共	3.0	基			
配管用架台 ト	既成コンクリート架台400×120×120H 鋼材300w×250H 防振ゴム10mm共	7.0	基			
配管用架台 チ	既成コンクリート架台300×120×120H 鋼材200w×450H 防振ゴム10mm共	1.0	基			
配管用架台 リ	既成コンクリート架台300×120×120H 鋼材200w×250H 防振ゴム10mm共	33.0	基			
計						
改め計						

名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
保温工事						
冷媒管	GW成型保温 SUS鋼板125A相当	14.9	m			
冷媒管	GW成型保温 SUS鋼板100A相当	100.2	m			
計						
改め計						
既設配管類撤去工事						
既設配管類撤去工事	再使用しない 屋上露出部 液管 15.9φ	14.7	m			
既設配管類撤去工事	再使用しない 屋上露出部 液管 12.7φ	26.8	m			
既設配管類撤去工事	再使用しない 屋上露出部 液管 9.5φ	62.1	m			
既設配管類撤去工事	再使用しない 屋上露出部 液管 6.4φ	12.3	m			
既設配管類撤去工事	再使用しない 屋上露出部 ガス管 28.6φ	41.5	m			
既設配管類撤去工事	再使用しない 屋上露出部 ガス管 19.1φ	62.1	m			
既設配管類撤去工事	再使用しない 屋上露出部 ガス管 12.7φ	12.3	m			
保温撤去	再使用しない 冷媒管用 SUS鋼板 100A相当	115.9	m			
計						
改め計						

名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	既設コンクリート架台類撤去工事					
	既設コンクリート架台 ⑦	700×120×120H	5.0	基		
	既設コンクリート架台 ⑥	600×120×120H	28.0	基		
	既設コンクリート架台 ⑧	550×130×120H	12.0	基		
	既設コンクリート架台 ⑤④	500×110×100H	14.0	基		
	既設コンクリート架台 ③②	300×100×100H	13.0	基		
	既設コンクリート架台 ①	200×100×100H	28.0	基		
	配管支持架台		1.0	式		
	計					
	改め計					
M-3	ダクト設備					
	空冷ヒートポンプエアコン室内機廻りダクト工事費					
	空冷ヒートポンプエアコン室内機廻りダクト工事費	ACP-1・2 ロビ-・エントランス系統 室内機天井ビルトイン型 冷房能力 14.0KW	3.0	台		
	空冷ヒートポンプエアコン室内機廻りダクト工事費	EHP-11・12・13ホール系統 室内機壁ビルトイン型冷房能力 28.0KW	3.0	台		
	計					
	改め計					

名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
フィルター取替え工事						
フィルター取替え工事	EHP-11・12・13ホール系統 室内機DR-280リタガリ部分	12.0	枚			
	抗菌加工 比色法65%以上 高性能フィルター-450×460H					
計						
改め計						

名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
M-4	換気設備					
	機器類取付費					
	送風機	OF-01 消音型ストレートシロッコファン 200φ×1,000m <sup>3</sup> /h×150Pa×110w	3.0	台		
	排風機	EF-01 消音型ストレートシロッコファン 200φ×800m <sup>3</sup> /h×100Pa×110w	1.0	台		
	排風機	EF-02 消音型ストレートシロッコファン 200φ×1,000m <sup>3</sup> /h×100Pa×110w	1.0	台		
	排風機	EF-03 消音型ストレートシロッコファン 200φ×1,000m <sup>3</sup> /h×100Pa×110w	3.0	台		
	天井換気扇		18.0	台		
	計					
	改め計					
	換気用機器廻りタ <sup>ク</sup> 外工事費					
	送風機・排風機廻り	OF-01・EF-03 消音型ストレートシロッコファン系統 タ <sup>ク</sup> 外切離し接続工事	6.0	台		
	排風機廻り	EF-01 消音型ストレートシロッコファン系統 タ <sup>ク</sup> 外切離し接続工事	1.0	台		
	排風機廻り	EF-02 消音型ストレートシロッコファン系統 タ <sup>ク</sup> 外切離し接続工事	1.0	台		
	換気扇廻り	FV-03～06 低騒形換気扇系統 タ <sup>ク</sup> 外切離し接続工事	15.0	台		
	換気扇廻り	FV-01・02 低騒形換気扇系統 タ <sup>ク</sup> 外切離し接続工事	3.0	台		

名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
計						
改め計						
既設機器撤去工事						
機器撤去費 再使しない	OF-1 消音型ストレートシロッコファン 200φ × 1,000m <sup>3</sup> /h × 200w	3.0	台			
機器撤去費 再使しない	EF-1 消音型ストレートシロッコファン 200φ × 800m <sup>3</sup> /h × 150w	1.0	台			
機器撤去費 再使しない	EF-2 消音型ストレートシロッコファン 200φ × 1,000m <sup>3</sup> /h × 150w	1.0	台			
機器撤去費 再使しない	EF-3 消音型ストレートシロッコファン 200φ × 1,000m <sup>3</sup> /h × 200w	3.0	台			
機器撤去費 再使しない	天井換気扇	18.0	台			
計						
改め計						

名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
M-5	自動制御設備					
	エアコン室内機廻り計装工事費					
	エアコン室内機廻り計装工事費	PAC-1・2系統 天井ビルトイン型 室内機 冷房能力 14.0KW	3.0	台		
	エアコン室内機廻り計装工事費	PAC-3 系統 天井カセット4方向型 室内機 冷房能力 14.0KW	2.0	台		
	エアコン室内機廻り計装工事費	PAC-4 系統 天井カセット4方向型 室内機 冷房能力 7.10KW	2.0	台		
	エアコン室内機廻り計装工事費	PAC-5 系統 天井カセット4方向型 室内機 冷房能力 5.6KW	2.0	台		
	エアコン室内機廻り計装工事費	PAC-6 系統 天井カセット2方向型 室内機 冷房能力 7.1KW	2.0	台		
	エアコン室内機廻り計装工事費	PAC-7・8・9 系統 天井カセット4方向型 室内機 冷房能力 7.1KW	6.0	台		
	エアコン室内機廻り計装工事費	PAC-10 系統 天井カセット4方向型 室内機 冷房能力 5.0KW	1.0	台		
	エアコン室内機廻り計装工事費	PAC-11 系統 天吊型 室内機 冷房能力 16.0KW	2.0	台		
	エアコン室内機廻り計装工事費	EHP-11・12・13系統 壁ビルトイン型 室内機 冷房能力 28.0KW	3.0	台		
	計					
	改め計					
	リモコンスイッチ類更新工事					
	リモコンスイッチ取外し新設取外し取付工事	スイッチ本体は機器設備に含む ソフト調整含む	12.0	箇所		
	集中リモコンスイッチ新設取外し取付工事	スイッチ本体は機器設備に含む	1.0	箇所		



名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
雑工事		1.0	式			
計						
改め計						
集中リモコン用計装工事						
電線	EM-CEE1. 25口-2C	88.0	m			
電線管	G22LT	14.0	本			
電線管付属品		1.0	式			
プルボックス	SUS 150×150×100	1.0	個			
プルボックス	SS 150×150×100	1.0	個			
外壁面防水処理		1.0	箇所			
吊材料・支持金具		1.0	式			
雑材料・消耗品		1.0	式			
工事費		1.0	式			
交通運搬費		1.0	式			
計						
改め計						

名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
M-6	発生材廃棄処理					
	積込運搬費					
	鉄くず	0.81	m <sup>3</sup>			
	計					
	改め計					
	積込運搬費					
	廃プラ	2.04	m <sup>3</sup>			
	計					
	改め計					
	積込運搬費					
	ボード類	0.38	m <sup>3</sup>			
	計					
	改め計					

名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
積込運搬費						
コンクリートがら		0.64	m <sup>3</sup>			
計						
改め計						
積込運搬費						
混載類	エアコン・換気扇等	22.12	m <sup>3</sup>			
計						
改め計						
処分費						
鉄くず		0.50	t			
計						
改め計						
処分費						
廃プラ		2.04	m <sup>3</sup>			

名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
計						
改め計						
処分費						
ボード類		0.38	m <sup>3</sup>			
計						
改め計						
処分費						
コンクリートがら		0.64	m <sup>3</sup>			
計						
改め計						
処分費						
混載類	エアコン・換気扇等	22.12	m <sup>3</sup>			
計						
改め計						

名 称	内 容	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
処分費						
自動制御設備分	廃材処理費	1.0	式			
計						
改め計						

(科目別内訳)

名	称	規	格	寸	法	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
E	電気設備工事														
E-1	電気設備					1.0			式						
	合計														

## (細目別内訳)

名 称	規 格 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
E-1 電気設備						
動力開閉器盤	RM-1-1 屋外防水SUS製 壁掛形	1.0	面			
動力開閉器盤	RM-1-2 屋外防水SUS製 壁掛形	1.0	面			
ケーブル	EM-CET14° 管内	14.0	m			
ケーブル	EM-CET14° ケーブルラック	71.0	m			
ケーブル	EM-CE 5.5° -3C 管内	19.0	m			
ケーブル	EM-CE 5.5° -3C ケーブルラック	158	m			
ケーブル	EM-CE 3.5° -4C 管内	5.0	m			
ケーブル	EM-CE 3.5° -4C ケーブルラック	22.0	m			
電線	EM-IE 5.5°	85.0	m			
電線	EM-IE 2.0°	167	m			
電線管	G28LT 屋外露出	14.0	m			
電線管	G22LT 屋外露出	25.0	m			
金属可とう電線管	ビニル被覆あり F(30)	5.0	m			
金属可とう電線管	ビニル被覆あり F(24)	9.0	m			

(細目別内訳)

名 称	規 格 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ケーブルラック	Z35 W=300 H=70	9.0	m			
ケーブルラック	Z35 W=400 H=70	4.0	m			
ケーブルラック	Z35 W=500 H=70	8.0	m			
ケーブルラック付属品	ラック支持架台とも	1.0	式			
室内機、送風機等配線取外し再結線費		1.0	式			
既設 照明器具取外し再取付費		1.0	式			
既設盤、配線配管類撤去費		1.0	式			
計						
改め計						



名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
E-1	電気設備					
	動力開閉器盤	RM-1-1				
	盤本体	1.0	面			
	雑材料	1.0	式			
	据付・電工	2.79	人			
	その他	1.0	式			
	計					
	改め計					
	動力開閉器盤	RM-1-2				
	盤本体	1.0	面			
	雑材料	1.0	式			
	据付・電工	3.00	人			
	その他	1.0	式			
	計					
	改め計					

名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ケーブルラック施工付属金具等						
ケーブルラック分岐	W=500 H=70 外直角L形分岐ラック	1.0	個			
ケーブルラック分岐	W=400 H=70 水平ベントラック (45°)	1.0	個			
ケーブルラック分岐	W=300 H=70 外直角L形分岐ラック	2.0	個			
ケーブルラック分岐	W=300 H=70 水平ベントラック (45°)	1.0	個			
ケーブルラックカバー	W=500用 直線	12.2	m			
ケーブルラックカバー	W=500用 外直角L形分岐	1.0	個			
ケーブルラックカバー	W=400用 直線	3.3	m			
ケーブルラックカバー	W=400用 水平ベント (45°)	1.0	個			
ケーブルラックカバー	W=300用 直線	8.8	m			
ケーブルラックカバー	W=300用 外直角L形分岐	2.0	個			
ケーブルラックカバー	W=300用 水平ベント (45°)	1.0	個			
付属金具	口径違い金具	4.0	個			
付属金具	継ぎ金具	34.0	個			
付属金具	振れ止め金具	36.0	個			
付属金具	エントキャップ W=500 H=70用	1.0	個			
付属金具	エントキャップ W=300 H=70用	1.0	個			
配管架台	配管システム短尺ククター (70A)	6.0	個			
配管架台	配管システム短尺ククター (60A)	3.0	個			

名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管架台	配管システム短尺ダクト (50A)	9.0	個			
配管架台付属品	短尺ダクト	36.0	個			
配管架台付属品	配管システムコーナー金具	36.0	個			
基礎ブロック	コンクリート	36.0	個			
	計					
	改め計					
	室内機、送風機等配線取外し再結線費					
空調室内機		3.0	台			
小型モートルファン		8.0	台			
天井埋込換気扇		17.0	台			
	計					
	改め計					

名 称	内 容	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
	既設照明器具取外し再取付					
	蛍光灯照明器具	FPL36 x 3 角型天井埋込器具	4.0	台		
	計					
	改め計					

名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
既設盤、配線配管類撤去費						
既設動力開閉器盤 (RM-1)撤去	電工	2.41	人			
その他		1.0	式			
ケーブル撤去	CV 8° -3C 管内	17.2	m			
ケーブル撤去	CV 8° -3C ケーブルラック	76.8	m			
ケーブル撤去	CV 5.5° -3C 管内	20.1	m			
ケーブル撤去	CV 5.5° -3C ケーブルラック	155.0	m			
ケーブル撤去	CV 3.5° -3C 管内	5.4	m			
ケーブル撤去	CV 3.5° -3C ケーブルラック	20.6	m			
電線撤去	IV 5.5°	94.0	m			
電線撤去	IV 2.0°	201.0	m			
ケーブルラック撤去	W=200 H=70 屋外 Z35 カバー付	24.1	m			
電線管撤去	VE(22) 露出	42.6	m			
計						
改め計						

(科目別内訳)

	名 称	規 格 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
A	建築工事						
A-1	仮設工事		1.0	式			
A-2	天井解体・復旧		1.0	式			
	合計						

(細目別内訳)

名	称	規 格 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
A-1	仮設工事						
	外部足場	くさび足場 1800w×4500L×4050H	1.0	式			
		上部手すり・落下防止ネット・					
		階段・メッシュシート等含む					
	足場周囲ガードフェンス	H=1800 階段前鍵付き扉	1.0	式			
	屋上養生シート	ビニルシート及びベニヤ板等	155	m <sup>2</sup>			
	計						
	改め計						

(細目別内訳)

名 称	規 格 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
A-2 天井解体・復旧						
岩綿吸音材(リブ付)	t=15.0mm 器具部加工共	12.6	m <sup>2</sup>			
下地石膏ボード	9.015.0mm	12.6	m <sup>2</sup>			
塗装	EP	12.6	m <sup>2</sup>			
天井軽量下地組		12.6	m <sup>2</sup>			
材料運搬荷揚等		1.0	式			
内部脚立足場	復旧時	5.0	箇所			
天井解体	岩綿吸音材(リブ付)下地共	12.6	m <sup>2</sup>			
天井解体	軽量下地共	12.6	m <sup>2</sup>			
内部脚立足場	解体時	5.0	箇所			
計						
改め計						



(細目別内訳)

	名 称	規 格 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	共通仮設費						
	アスベスト含有調査分析	事前調査、報告書作成	1.0	式			
	計						
	改め計						

# 可見市広見東地区センター空調設備更新工事

図 面 リ ス ト					
図面番号	図 面 名 称	縮 尺	図面番号	図 面 名 称	縮 尺
M00	図面リスト	-	M16	R階平面図(更新前)(撤去)・(更新後)	1/100
M01	機械設備工事仕様書(1)	-	M17	R階部分平面詳細図(更新前)(撤去)	1/50
M02	機械設備工事仕様書(2)	-	M18	R階部分平面詳細図(更新後)	1/50
M03	機械設備工事仕様書(3)	-	M19	1階・R階平面図(自動制御設備)(更新後)	1/100・1/200
M04	機械設備工事仕様書(4)	-	M20	施工要領図(更新前)(更新後)	1/30
M05	配置図、付近見取図、凡例	1/300	M21	1階天井改修図	1/100
M06	機器表(1)(更新前)(撤去)	-	M22	仮設計画図	1/100・1/200
M07	機器表(2)(更新前)(撤去)	-			
M08	機器表(1)(更新後)	-	E01	電気設備工事仕様書(1)	-
M09	機器表(2)(更新後)	-	E02	電気設備工事仕様書(2)	-
M10	系統図(更新前)(撤去)	-	E03	電気設備工事仕様書(3)	-
M11	系統図(更新後)	-	E04	改修・撤去 動力盤結線図	-
M12	1階平面図(空調機器・配管)(更新前)(撤去)	1/100	E05	(電気設備)改修 1階平面図	1/100
M13	1階平面図(空調機器・配管)(更新後)	1/100	E06	(電気設備)改修 R階平面図	1/100
M14	1階平面図(ダクト・換気設備)(更新前)(撤去)	1/100	E07	(電気設備)撤去 R階平面図	1/100
M15	1階平面図(ダクト・換気設備)(更新後)	1/100			

可 見 市 役 所  
(株)岐阜建築設備計画

**A. 工 事 概 要**

1 工事名称 可児市広見東地区センター空調設備更新工事

2 主要用途 公民館及び集会場

3 工事種別 ・ 新築 ・ 増築 ・ 改築 ・ 大規模改修 ⊙ 空調設備更新

4 工事場所 可児市瀬田地内

5 都市計画法等  
 都市計画区域 ⊙ 都市計画区域内 ( ・ 市街化区域 ・ 市街化調整区域 ⊙ その他 )  
 用途地域 ・ 第一種低層住居専用地域 ・ 第二種低層住居専用地域 ・ 第一種中高層住居専用地域  
 ・ 第二種中高層住居専用地域 ・ 第一種住居地域 ・ 第二種住居地域 ・ 準住居地域  
 ・ 近隣商業地域 ・ 商業地域 ・ 準工業地域 ・ 工業地域 ・ 工業専用地域  
 ⊙ 用途地域の指定のない区域  
 防火地域 ・ 防火地域 ・ 準防火地域 ⊙ 指定なし  
 その他の指定 ・ 建築基準法第22条指定区域内 ⊙ 建築基準法第22条指定区域外

6 工事建物の概要

区 分	事 務 所			備 考
構 造	RC造(一部鉄骨造)			
階 数	平屋建て			
延べ床面積	1,104.628 m <sup>2</sup>			
建築面積	1,183.232 m <sup>2</sup>			
消防法施行令別表第一	項			

7 工事種目 ⊙ 印の付いたものが対象工事

建物別及び屋外 工事種別	工 事 種 別					
	事 務 所					屋 外
⊙ 空気調和設備	改修一 式					
⊙ 換気設備	改修一 式					
・ 排煙設備						
⊙ 自動制御設備	改修一 式					
・ その他設備						
・						
・ 衛生器具設備						
・ 給水設備						
・ 排水通気設備						
・ 給湯設備						
・ 消火設備						
・ ガス設備						
・ 厨房器具設備						
・ さく井工事						
・ 浄化槽設備						
・ その他設備						
・						
⊙ 電気設備	改修一 式					
・						
・						
・						

8 別途工事

- ・ 建築工事 一式
- ・ 電気設備工事 一式
- ・ 昇降機設備工事 一式
- ・ 電話工事 一式
- ・ 搬送設備工事 一式
- ・ 解体工事 一式

**B. 工 事 仕 様 書**

1 一般仕様

1) 新設工事共通仕様書 (A. 7 工事種目において新設・増設一式とあるもの)  
 (1) 特記仕様、図面及び現場説明書 (現場説明に対する質問回答書を含む)に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書 (機械設備工事編) (平成31年版)及び公共建築設備工事標準図 (機械設備工事編) (平成31年版)による。  
 (2) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの工事の仕様書を適用する。

2) 改修工事共通仕様書 (A. 7 工事種目において改修・撤去一式とあるもの)  
 (1) 特記仕様書、図面及び現場説明書 (現場説明に対する質問回答書を含む)に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築改修工事標準仕様書 (機械設備工事編) (平成31年版)及び公共建築設備工事標準図 (機械設備工事編) (平成31年版)による。  
 (2) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの工事の仕様書を適用する。

3) 設計図書間に相違がある場合の優先順位は、次の (1) ~ (5) の順番とおりとする。  
 (1) 質問回答書  
 (2) 現場説明書  
 (3) 特記仕様  
 (4) 図面  
 (5) 標準仕様書及び標準図

2 特記仕様

1) 項目は、番号に ⊙ 印の付いたものを適用する。  
 2) 特記事項のうち選択する事項は、⊙ 印の付いたものを適用する。  
 3) 受注者は、南海トラフ地震防災対策推進地域における工事にあっては、南海トラフ地震に関連する情報 (臨時) が気象庁から出された場合には、工事中断の措置をとるものとし、これに伴う必要な補強・落下防止等の保全処置を講じなければならない。上記事実が発生した場合は、契約書第26条 (臨機の措置) の規定による。

3 不当介入における通報義務

妨害又は不当要求に対する通報義務  
 1) 受注者は契約の履行に当たって、暴力団関係者等から、事実関係及び社会通念等に照らして合理的な理由が認められない不当若しくは違法な要求又は契約の適正な履行を妨げる妨害を受けたときは、警察へ通報をしなければならない。なお、通報がない場合は入札参加資格を停止することができる。  
 2) 受注者は、暴力団等による不当介入を受けたことにより、履行期間内に業務を完了することができないときは、発注者に履行期間の延長を請求することができる。

章 項 目 特 記 事 項

① 書類の書式等 本工事の施工に関して提出する書類は、発注者が受注者に提示する「工事施工にかかる提出書類について (依頼)」に基づき作成する。

② 工事実績情報の登録 工事請負金額500万円以上 (消費税込) の工事について、工事実績情報を登録することとする。(登録先 (財) 日本建設情報総合センター)

③ 概成工期 総合試運転を行う上で、関連工事を含めた各工事が工期のおおむね10日前までに支障のない状況まで完了していること。

④ 電気保安技術者 ・ 配置する。 ⊙ 配置しない。

⑤ 事故報告 工事施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通知するとともに、事故発生報告書を監督員に速やかに提出すること。

⑥ 機材等

1. 本工事に使用する設備機材等は、設計図書に定める品質および性能を有する新品とする。  
 ただし、仮設工事材料、リサイクル製品及び特に指定したものは新品に限らない。  
 これらの機器、機材は監督員の承諾を受け施工する。

2. 主要材料については、契約後、速やかに主要機材の製作所名等一覧表を提出し、監督員の確認を受ける。

3. 設計図書に記載してあるもの及び監督員の指示する材料、仕上げの程度、色合い等については、あらかじめ見本を提出して確認を受ける。

⑦ 機材の品質・性能証明 使用する機材が、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業設備機材等評価名簿」による場合は、評価書の写しをもって、標準仕様書第1編第1章第4節1.4.2(3)の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略することができる。ただし、標準仕様書に規定される製作図、試験成績書等は除く。

⑧ 機器姿図 姿図の形状及び寸法は、概略を示す。

⑨ 再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書の提出 建設リサイクル法の実施に係る岐阜県指針に基づき、工事着手時に再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画書を、また、工事完了時に同計画書の実施報告書を監督員に提出するものとする。

10 電気工事士

- ・ 最大電力500kw以上の場合、第一種電気工事士のより施工を行う。
- ・ 最大電力500kw未満の場合、第一種電気工事士又は認定電気工事従事者により施工を行う。

⑩ 技能士

1) 技能士の適用は、次の職種による。  
 ⊙ 配管 (建築配管作業) ⊙ 熱絶縁施工 (保温保冷工事作業) ・ 建築板金 (ダクト板金作業)  
 ⊙ 冷凍空調和機器施工 (冷凍空調和機器施工作業) ・ 空気圧縮装置組立て (空気圧縮装置組立て作業) ・ 塗装  
 ・ さく井 ( ・ パーカッション式さく井工事作業 ・ ローター式さく井工事作業 ) ・ 鉄工 ( ・ 製缶作業 ・ 構造物鉄工作業 )

2) 本工事は前項で指定する職種別に1名以上の一級技能士又は単一等級の資格を有する技能士が作業をするとともに、他の技能者に対して、施工品質の向上を図るための作業指導を行うこと。

⑪ 足場さん橋類

- ・ 別契約の関係受注者 (包含工事の場合は元請) が設置したものは無償で使用できる。
- ⊙ 本工事で設置する。

足場を設ける場合は「手すり先行工法に関するガイドライン」について (厚生労働省発第0424001号平成21年4月24日) の「手すり先行工法に関するガイドライン」により、同ガイドライン「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合するすてり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、同ガイドライン「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の (2) 手すり据置方式又は (3) 手すり先行専用足場方式により、足場の組立、解体又は変更の作業を行う。

-----  
 -----  
 -----  
 -----

-----  
 -----  
 -----  
 -----

<b>可 児 市 役 所</b>			
工事名	可児市広見東地区センター空調設備更新工事		
種 別	機械設備工事仕様書 1	図面番号	M-01
縮 尺	――	作製年月日	
(株) 岐 阜 建 築 設 備 計 画			

1 一 般 共 通 事 項	13 施工図等	施工図等の著作権にかかる使用权は、発注者に移譲するものとする。																																																
	14 工事写真	本工事においては、「営繕工事写真撮影要領（平成31年改訂）」及び「デジタル工事写真の小黑板情報電子化について」による他、監督員の指示により撮影し提出する。																																																
	15 監督職員事務所	○ 設けない ・ 設ける（ 号） ・ 既設建物を使用																																																
	16 工用電力・水その他	本工事に必要な工用電力・水等及び諸手続きなどに要する費用はすべて受注者の負担とする。																																																
	17 工用仮設物	すべて受注者の負担とする。 ただし、設置条件は、構内につくることが（○ できる ・ できない）。																																																
	18 施工計画書	総合施工計画書 工事の総合的な計画をまとめた総合施工計画書を工事の着手に先立ち作成し、監督員に提出する。 工種別施工計画書 該当する工種別に作成し、監督員に提出する。																																																
	19 火災保険等	工事施工中、火災保険又は、それに代わる請負賠償責任保険等に加え、証書の写しを提出する。																																																
	20 軽微な変更	現場の納まり、取合いなどの関係による協議の中で、設計図書によることが困難又は、不都合な場合の軽微な変更は、監督員の指示による。この場合、請負金額の変更は行わない。																																																
	21 完成図等	完成図等は、標準仕様書第1編第1章第7節「完成図等」により作成する。 完成図をCADにより作成する場合の保存形式及び保存媒体は、監督員の指示による。 ・ 既存完成図（CADデータ）修正 監督員の指示による。																																																
	22 営繕工事電子納品																																																	
23 総合調整	本工事として下記の測定表を提出する。 総合調整の項目 ○ 風量調整 ・ 水量調整 ○ 室内外空気の温湿度測定 ・ 飲料水の水質の測定（ 項目） ・ 初期運転状態の記録 ○ 騒音の測定 ・ 振動調整 ・ 室内空気流じんあいの測定 ・ 雑用水の水質の測定（ 項目）																																																	
24 残土処分	建設発生土（建設工事に伴い発生する土砂等）を搬出又は搬入する場合は「岐阜県埋立て等の規制に関する条例」（平成19年4月1日施行）を遵守すること。またその実施に際しては事前に計画書を作成し監督員へ提出、承認を得ること。 ・ 土壌検査（ ・ 実施する ・ 実施しない ・ 実施済み） ・ 構内埋戻し ・ 場外搬出 ・ 建築工事にて処分																																																	
25 地中埋設工事等	(1) 地中埋設配管（排水管を除く） 1) 地中埋設標 ・ 要（図示の箇所）（ ・ コンクリート製 ・ 鉄製 ・ アルミ製） ・ 不要 2) 埋設表示テープ ・ 要（排水管を除く） ・ 不要 3) 埋戻土及び盛土 ・ 根切土中の良質土 ・ 場外搬入土 ・ 山砂の類 地中埋設する管及び被覆樹脂に損傷を与えないよう山砂の類で周囲を埋め戻し保護すること。 ※【標準仕様書】第2編第7節2.7.1共通事項及び監視指針第1章第7節2.7.1(a)地中埋設配管に準じて施工すること。 4) 地中埋設の鋼管類（排水配管の鋼管類及び合成樹脂等で外面を被覆された部分は除く）の防食処理 ・ ペトラタム系 ・ フタルゴム系 ・ プラスチックテープ																																																	
26 貫通部の処理	不燃材料以外の配管が防火区画を貫通する場合は、建築基準法令に適合する工法、又は、（財）日本建築センター防災評定委員会の評定済工法とする。さらに、消防法令による防火区画を貫通する場合は、消防法令に適合する工法、又は、（財）日本消防設備安全センター評定済工法による。																																																	
27 発生材の処理等	・ 引き渡しを要するもの（ ） ・ 特別管理産業廃棄物（ ） ・ 再生資源化を図るもの（ ） ・ 石綿含有品（ ・ 配管用成形保温材 ・ 煙道断熱材 ・ 天井材 ・ フランジ用ガasket（ ・ 配管 ・ ダクト ・ 煙道） ・ 上記以外の発生材の処分地（ ） ○ 撤去する配管、ダクト等の保温は分離する ○ 配管、ダクト等の支持金物、吊りボルト等は本工事にて撤去する																																																	
28 産業廃棄物の適正処理	産業廃棄物が搬出される工事にあたっては、監督員の指示に従い、産業廃棄物関連書類の提出及び確認並びに処理施設の現地確認並びに建設廃棄物処理状況の管理を行い、産業廃棄物が最終処理に至るまで適正に処理されていることを確認する。																																																	
29 容量等の表示	(1) 機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。 (2) 電動機出力、燃料消費量、圧力損失等は、原則として表示された数値以下とする。																																																	
30 耐震措置	設備機器の固定は、次によるほか、すべて「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」（独立行政法人 建築研究所）による。 (1) 機器の据付及び取付 設計用水平地震力は、機器の質量（自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量）に、地域係数(1.0)及び下表に示す設計用水平震度を乗じたものとする。 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th colspan="6">局所震度法による建築設備機器の設計用水平震度</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">設置場所</th> <th rowspan="2">機器種別</th> <th colspan="2">・ 特定の施設</th> <th colspan="2">○ 一般の施設</th> </tr> <tr> <th>重要機器</th> <th>一般機器</th> <th>重要機器</th> <th>一般機器</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">上層階 屋上及び 捨屋</td> <td>機器</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>防振支持の機器</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">中間階</td> <td>水槽類</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>機器</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">1階及び地下階</td> <td>防振支持の機器</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>水槽類</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> </table> 上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建ての場合は上層2階、10～12階建ての場合は上層3階、13階建て以上の場合は上層4階とする。 中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないものとする。（平屋建ては1階と屋上で構成され中間階はなし。） 重要機器は次による。 ・ タンク類 ・ 防災機器 ・ ボイラー ・ 冷水水機 ・ 冷却塔 ・ 中央監視装置 ・ 消火設備機器 ・ 排煙設備機器 (2) 設計用鉛直地震力は、設計水平地震力の1/2とした値とする。	局所震度法による建築設備機器の設計用水平震度						設置場所	機器種別	・ 特定の施設		○ 一般の施設		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上層階 屋上及び 捨屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.0	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5	中間階	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0	機器	1.5	1.0	1.0	0.6	1階及び地下階	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6
局所震度法による建築設備機器の設計用水平震度																																																		
設置場所	機器種別	・ 特定の施設		○ 一般の施設																																														
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器																																													
上層階 屋上及び 捨屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.0																																													
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5																																													
中間階	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0																																													
	機器	1.5	1.0	1.0	0.6																																													
1階及び地下階	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0																																													
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6																																													

1 一 般 共 通 事 項	31 案内板	機器システム図及び重要な定期点検項目等を記載した ・ アクリル樹脂製 ・ 市販パネル の案内板を設備機械室に設ける。 但し、案内板の大きさは、約 m <sup>2</sup> とする。																																																																										
	32 配管	(1) ステンレス鋼管の接合は、下記による。 ・ 呼び径60Su以下（ ・ S A S 3 2 2 を満足した接手 ・ ） (2) 建物導入部配管の変位吸収方法は標準図施工4.5（建築物導入部の変位吸収配管要領）による。 ・ (a) ・ (b) ・ (c) (3) 溶接部の非破壊検査 ・ 不要 ・ 要（ ） (4) 給水に使用するポリエチレン管は、呼び径50以下は（ ・ 1種（軟質） ・ 2種（硬質））の2層管とし75以上の管は、JWWA K 145 による。 (5) 呼び径50以下のポリエチレン管の継手は下記による。 ・ 金属継手（ JWWA B 116 ）																																																																										
	33 管の接合	(1) 鋼管 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>80A以下</td> <td>・ ネジ</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>100A</td> <td>・ ネジ</td> <td>・ フランジ</td> <td>・ 溶接</td> </tr> <tr> <td>125A以上</td> <td>・ ネジ</td> <td>・ フランジ</td> <td>・ 溶接</td> </tr> </table> ※排水、通気管の場合は、ねじ接合とする。 (2) ライニング鋼管 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>80A以下</td> <td>・ ネジ</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>100A以上</td> <td>・ フランジ</td> <td>・ ネジ（ ・ 内外面ライニング管 ・ その他 ）</td> <td>・</td> </tr> </table> ※止むを得ず現場でフランジを取付ける場合は、監督職員の承諾を受け、標準図（施工2）による。 (3) 外面被覆鋼管 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>80A以下</td> <td>・ ネジ</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>100A</td> <td>・ ネジ</td> <td>・ フランジ</td> <td>・ 溶接</td> </tr> <tr> <td>125A以上</td> <td>・ ネジ</td> <td>・ フランジ</td> <td>・ 溶接</td> </tr> </table>	80A以下	・ ネジ	・	・	100A	・ ネジ	・ フランジ	・ 溶接	125A以上	・ ネジ	・ フランジ	・ 溶接	80A以下	・ ネジ	・	・	100A以上	・ フランジ	・ ネジ（ ・ 内外面ライニング管 ・ その他 ）	・	80A以下	・ ネジ	・	・	100A	・ ネジ	・ フランジ	・ 溶接	125A以上	・ ネジ	・ フランジ	・ 溶接																																										
	80A以下	・ ネジ	・	・																																																																								
	100A	・ ネジ	・ フランジ	・ 溶接																																																																								
	125A以上	・ ネジ	・ フランジ	・ 溶接																																																																								
	80A以下	・ ネジ	・	・																																																																								
	100A以上	・ フランジ	・ ネジ（ ・ 内外面ライニング管 ・ その他 ）	・																																																																								
	80A以下	・ ネジ	・	・																																																																								
	100A	・ ネジ	・ フランジ	・ 溶接																																																																								
125A以上	・ ネジ	・ フランジ	・ 溶接																																																																									
34 弁類	特記のない弁は、JIS又はJV 10Kとする。 油系に使用する弁は、10K（マレアル弁等）とする。 水道直結給水配管系に使用する弁は、JIS又はJV 10Kとする。 ステンレス鋼管に取付ける呼び径65以上の弁は、ステンレス製とする。 ・ 弁名札及び閉閉状況札を取り付ける。																																																																											
35 絶縁フランジ・絶縁継手	図示の箇所に取り付ける。																																																																											
36 鋼管用伸縮管継手	・ ベローズ形 ・ スリープ形																																																																											
37 防振吊り金物及び防振支持金物	次の配管には防振吊り金物（ ・ シングル ・ ダブル）又は、防振支持金物を設ける。 ただし、屋外及び地下ピット内等を除く。 ・ 口径65A以上の配管（ ・ 冷水水 ・ 冷却水 ・ 冷水）																																																																											
38 保温及び塗装	1) 保温材の種類（ ・ (イ) ロックウール保温材 ○ (ロ) グラスウール保温材 ○ (ハ) ポリスチレンフォーム保温材 ） 2) 保温の種別（下記表の他は標準仕様書による） * 仕上げ記号は、標準仕様書による。 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th rowspan="2">仕様区分</th> <th rowspan="2">種別</th> <th colspan="3">衛生設備</th> <th colspan="3">空調設備</th> <th colspan="2">換気設備</th> </tr> <tr> <th>給水管</th> <th>排水管</th> <th>給湯管</th> <th>冷温水管</th> <th>冷媒管</th> <th>ドレン管</th> <th>空調ダクト</th> <th>外気ダクト</th> <th>長方形ダクト</th> <th>スパイラルダクト</th> </tr> <tr> <td>屋内露出部</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>機械室等</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>天井内等</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○<sub>2</sub>・(ロ)・Ⅱ</td> <td>Ⅰ・(ロ)・XI</td> <td></td> <td>Ⅰ・(ロ)・XI</td> </tr> <tr> <td>床下等</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>屋外露出等</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○<sub>1</sub>・(ロ)・Ⅱ (成形保温)</td> <td>塗装</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	仕様区分	種別	衛生設備			空調設備			換気設備		給水管	排水管	給湯管	冷温水管	冷媒管	ドレン管	空調ダクト	外気ダクト	長方形ダクト	スパイラルダクト	屋内露出部											機械室等											天井内等							○ <sub>2</sub> ・(ロ)・Ⅱ	Ⅰ・(ロ)・XI		Ⅰ・(ロ)・XI	床下等											屋外露出等							○ <sub>1</sub> ・(ロ)・Ⅱ (成形保温)	塗装		
仕様区分	種別			衛生設備			空調設備			換気設備																																																																		
		給水管	排水管	給湯管	冷温水管	冷媒管	ドレン管	空調ダクト	外気ダクト	長方形ダクト	スパイラルダクト																																																																	
屋内露出部																																																																												
機械室等																																																																												
天井内等							○ <sub>2</sub> ・(ロ)・Ⅱ	Ⅰ・(ロ)・XI		Ⅰ・(ロ)・XI																																																																		
床下等																																																																												
屋外露出等							○ <sub>1</sub> ・(ロ)・Ⅱ (成形保温)	塗装																																																																				
39 はつり	既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴開けは、図面に特記のない場合はダイヤモンドカッターによる。穴開けを行う際は、超音波探査等の機器で鉄筋、電線管等の探査を行う。 （ ）書き又は△を頭に付した室名は直天井を示し、その他は二重天井を示す。 図面に特記なき場合は、別表-1「他工事との取合い区分表」による。ただし、これにより難しい場合は監督員と協議する。 電線及びケーブルの規格は標準仕様書第4編1.5.1表4.1.11による。 電線類は、EMケーブルを使用する。（機器、盤類を除いてもよい。） 設計図面に施工時間が定められていない場合で、官公庁の休日又は夜間に工事の施工を行う場合は、あらかじめ理由を付した書面によって監督員に通知する。（事前に工程表等により提出されている場合は不要とする。） 本工事においては「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定」（平成9年7月31日建設省告示第1536号、最終改正 平成13年4月9日国土交通省告示第487号）に基づき指定された低騒音型・低振動型建設機械を使用する。ただしこれにより難しい場合は、監督員と協議する。 本工事においては、排出ガス対策型建設機械指定要領に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用する。ただしこれにより難しい場合監督員と協議する。																																																																											
40 天井仕上区分																																																																												
41 他工事との工事区分																																																																												
42 電線類																																																																												
43 施工条件																																																																												
44 騒音・振動の防止																																																																												
45 排出ガス対策建設機械の使用																																																																												
46 事故再発防止策	(1) 安全施設の使用・設置 安全施設の使用・設置は関係法令等を順守するほか次のとおり講じなければならない。 1) 原則、昇降用梯子で作業しないこと。ただし、やむを得ず作業する場合は、作業する高さに関わらず安全帯を使用しなければならない。 2) 墜落制止用具は一連の作業において親綱の架け替え等が生じる場合は、本作業用、補助用の2丁掛としなければならない。 (2) 定期安全訓練・研修等 受注者は、工事着手後、作業員全員の参加により月当たり、4時間以上の時間を割当て、次の各号から実施する内容を選択し、定期的に安全に関する研修・訓練等を実施しなければならない。さらに、工事内容や現場状況に応じて、過去の事故事例集（下記URL参照）の活用により、工事現場で予想される事故防止対策を必ず実施すること。 1.安全活動のビデオ等視覚資料による安全教育 2.当該工事内容等の周知徹底 3.工事安全に関する法令、通達、指針等の周知徹底 4.当該工事における災害対策訓練 5.その他、安全・訓練等として必要な事項 http://www.pref.gifu.lg.jp/shakai-kiban/kendo/gijutsu-kanri/11656/jikojireishuu.html																																																																											

可 児 市 役 所			
工事名	可児市広見東地区センター空調設備更新工事		
種 別	機械設備工事仕様書 2	図面番号	M-02
縮 尺	—	作製年月日	
(株) 岐 阜 建 築 設 備 計 画			

1 一般 共通事項	<p>④7 その他</p> <p>1. 屋外で使用する鋼材等は、( ・溶融亜鉛めっき仕上げ ○ステンレス鋼材 )とする。(図面参照)</p> <p>2. ディーゼルエンジン車両の適正燃料の使用について。  (1) ディーゼルエンジンを動力とする車両にはJIS規格の軽油を使用すること。  (2) ディーゼルエンジンを動力とする車両の燃料検査があった場合には協力すること。</p> <p>3. 現場内の資材の保管に当たっては直射日光、風雨に曝されないよう十分な対策を講じること。(屋根下での保管、棚での保管等)</p> <p>4. 系統、管種ごとに色分けし施工図を作成すること。</p>	
改修関係事項	<p>① 改修共通仕様書 2 再使用機器</p> <p>③ 既設との取合い ④ 足場</p> <p>⑤ 施工調査</p> <p>6 仮設間仕切</p> <p>⑦ 養生</p> <p>⑧ 既設ダクトの再利用</p> <p>9 非破壊検査等</p> <p>⑩ 試験</p> <p>⑪ 撤去工事</p> <p>⑫ 冷媒(フロン系)の回収</p> <p>⑬ 冷媒(フロン系)の処理</p> <p>14 仮設備</p>	<p>国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)(平成31年度版)を使用する。(以下改修仕様という)</p> <p>取外し再使用機器は、清掃のうえ取付ける。また、電気使用機器は絶縁抵抗を測定を行う。  ただし、絶縁劣化等使用に耐えない場合は、監督員に報告する。</p> <p>本工事施工に伴う既設設備の軽微な加工改造は、本工事とする。</p> <p>「改修仕様」第1編2.2.1によるほか下記による。  ○ 内部足場等( ○ E種 ・ F種 ・ G種 )  ○ 外部足場等( ・ A種 ・ B種 ・ C種 ○ F種 )</p> <p>下記によるほか、「改修仕様」第1編1.5.1及び1.5.2による。</p> <p>施工計画調査  調査項目 ○資材機材の搬入・搬出方法、産業廃棄物搬出及び処理方法、施設関係者及び第三者に及ぼす災害・公害対策方法、既設配管撤去及び切り替えの時期と方法、改修対象付近の養生方法  調査範囲 方法 ・図示 ○本工事に関わる工事範囲及び箇所</p> <p>事前調査  調査項目 ○撤去機器類に伴う既設機能の支障範囲及び支障期間の調整  調査範囲 方法 ・図示 ○本工事に関わる工事範囲及び箇所</p> <p>仮設間仕切は、「改修仕様」第1編2.2.3による。種別は、下記による。  ( ・ A種 ・ B種 ・ C種 )</p> <p>既存部分の養生は、下記によるほか「改修仕様」第1編3章による。  養生範囲 ( ・ 図示 ○ 工事範囲全て ) 養生方法 ( ○ ビニルシート ○ 屋上コンパネ等 )</p> <p>「改修仕様」第3編2.2.7「既設ダクトの再利用」による。  「改修仕様」第3編2.2.8「ダクト清掃」を ・ 行う ○ 行わない</p> <p>超音波探査等による埋設物の調査を行う。範囲は監督職員の指示による。  ・ 既設図面による対象の有無を確認(鉄筋、電線管等)  ・ 断線時の影響範囲の確認(停電・断線等)及び施設管理者への周知  ・ 断線時の復旧に関する計画の作成及び資材等の準備</p> <p>(1)各種配管の試験は、新設配管に適用する。  (2)新設配管は、既設配管との接続前に試験を行う。</p> <p>撤去する配管、ダクト等の保温は分離する。  撤去する配管、ダクト等の支持金物、吊りボルト等は本工事にて撤去する。  石綿含有分析調査 ・ 本工事 ・ 別途工事  石綿撤去方法 ○ 図示による。</p> <p>冷凍機等の撤去に伴う冷媒の回収方法は「改修仕様」第3編2.4.3によるほか、以下により行うこと。</p> <p>(1)冷媒の回収は、「特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律(フロン回収破壊法)」にしたがって行い、監督員に次の書類の写しを提出すること。  (ア) 第一種フロン類回収業者登録通知書  (イ) フロン類回収に携わる者の知見に関する説明書  (ウ) 回収量等に関する報告書</p> <p>(2)家庭用エアコン等で「特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)」の対象となっているものは、同法に従ってリサイクルを行い監督員に次の書類を提出すること。  (ア) 「特定家庭用機器廃棄物管理票(家電リサイクル券)」  撤去する前に、フロンを屋外側ユニットに集める作業(ポンプダウン)を行う。</p> <p>(3)パッケージ形空調機と機の移設等により、冷媒の回収が必要となる場合においても上記に準じて冷媒の大気中への放出を防止する措置を講じること。</p> <p>(4)冷媒回収費用は( ○本工事 ・別途)とする。</p> <p>(5)フロン類の充填、回収については、以下の書類を提出すること。  ○ 冷媒充填・回収証明書(新設、撤去時)の写し ○ 冷媒漏えい点検・整備記録簿(新設時)</p> <p>○ 要  都道府県知事の登録を受けたフロン類改修業者に引き渡しを行うこと。  その際にはフロン回収・破壊法に基づき、「フロン回収処理管理票(兼 引取証明書)」の交付を行うこと。  処理費は( ○本工事 ・別途)とする。  また、フロン類の処理については、再生証明書又は破壊証明書の写しを提出すること。</p> <p>・ 不要  仮設備項目 ( ・ ・ ・ )  仮設備期間 ( ・ 図示 ・ ・ )</p>

3 工 事 概 要	<p>1. 既設設備の概要</p> <p>空調設備方式  ・電気を熱源とする空冷ヒートポンプエアコン方式  ・ツインエアコンによる空調エリア (ロビー・中庭廊下・事務室・会議室・和室・工作室・研修室1・研修室2)  ・単独ペアエアコンによる空調エリア (エントランスホール・湯沸室・ステージ西・ステージ東)  ・単独ビルマルチエアコンによる空調エリア (ホール北東側・ホール南東側・ホール南西側)</p> <p>空調設備方式  ・ホール系統 (給気ファン及び排気ファン同時運転による第1種換気方式)  ・ステージ・居室・倉庫・便所系統 (各所設置の排風機及び天井換気扇による第3種換気方式とし、新鮮空気は中庭北側に自然給気口設置)</p> <p>自動制御設備  ・エアコンの集中リモコンスイッチは事務室の総合盤に設置  ・各室にエアコン用リモコンスイッチを設置</p> <p>機器設備  ・空調機器類(室外機及び室内機)及び既成コンクリート架台を更新する。</p> <p>配管設備  ・エアコン室外機廻りの露出冷媒配管は全て更新する。但し天井内等インペイ部の既設冷媒管及びドレン管は再利用とする。  ・エアコン室内機廻りの冷媒管・ドレン管・制御線・リモコン線及び電源線は既設管の接続替えを行う。</p> <p>換気設備  ・換気用送風機・排風機及び天井換気扇は全て更新する。  ・換気用ダクトは既設再利用とする。但し機器廻りは必要に応じて既設ダクトの接続替えを行う。</p> <p>自動制御設備  ・エアコン用集中リモコン工事は、室外機から新設集中リモコンまでの配線工事と集中リモコンの設定を行う。  ・エアコン用集中リモコンの更新を行う。  ・エアコン室内機のリモコン配線の取外し、再接続工事  ・エアコン室内機(ACP)の電源線の結線取外し、再接続工事</p> <p>電気設備  ・空調用エアコンの更新に伴い電源供給工事を行う。  ・室外機設置部の動力盤は更新とし、室外機までの電源ケーブル及び配線ラック等も全て更新する。  ・エアコン室内機(EHP)電源線の結線取外し、再接続工事  ・送風機類及び天井換気扇の電源線の結線取外し、再取付工事</p> <p>付帯設備  ・ロビー・ホール及び中庭廊下の天井等に設置のエアコン更新に伴い、既設の天井を更新する。  ・屋根部分作業に外部足場及び作業用安全仮囲いを行う。  ・屋根部分の工事は既設防水層保護用にベニヤ等の保護材を設置する。  ・各所天井面工事の際は、ビニルシート等にて床面・壁面等の保護を行う。</p>																				
(株) 岐阜建築設備計画	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">可 児 市 役 所</td> </tr> <tr> <td>工事名</td> <td colspan="3">可児市広見東地区センター空調設備更新工事</td> </tr> <tr> <td>種 別</td> <td>機械設備工事仕様書 3</td> <td>図面番号</td> <td>M-03</td> </tr> <tr> <td>縮 尺</td> <td>—</td> <td>作製年月日</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">(株) 岐阜建築設備計画</td> </tr> </table>	可 児 市 役 所				工事名	可児市広見東地区センター空調設備更新工事			種 別	機械設備工事仕様書 3	図面番号	M-03	縮 尺	—	作製年月日		(株) 岐阜建築設備計画			
可 児 市 役 所																					
工事名	可児市広見東地区センター空調設備更新工事																				
種 別	機械設備工事仕様書 3	図面番号	M-03																		
縮 尺	—	作製年月日																			
(株) 岐阜建築設備計画																					

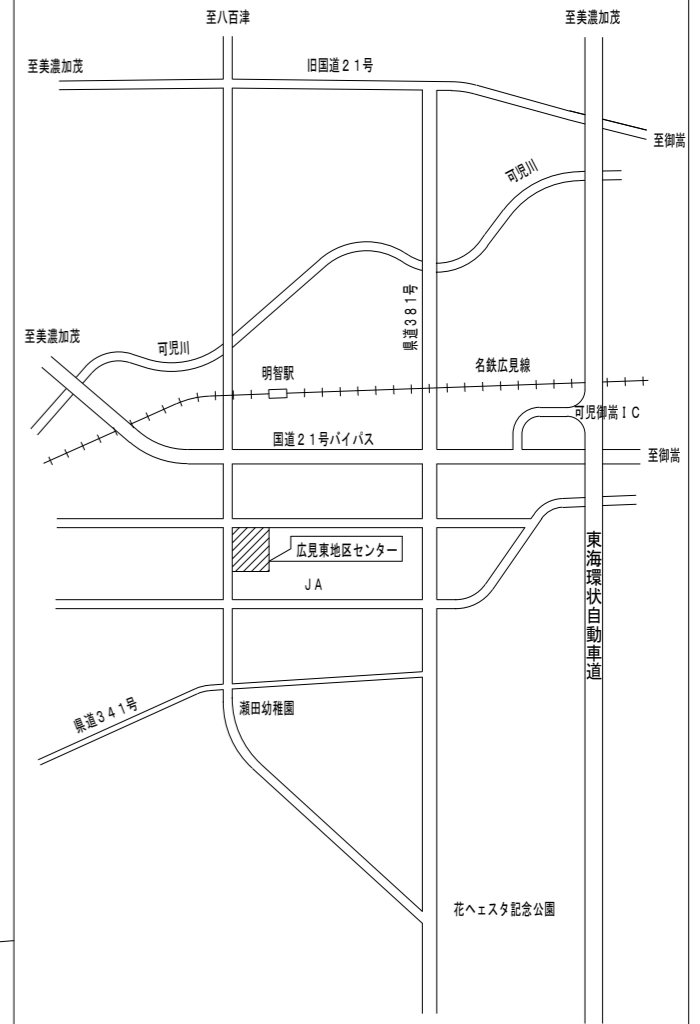
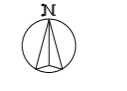
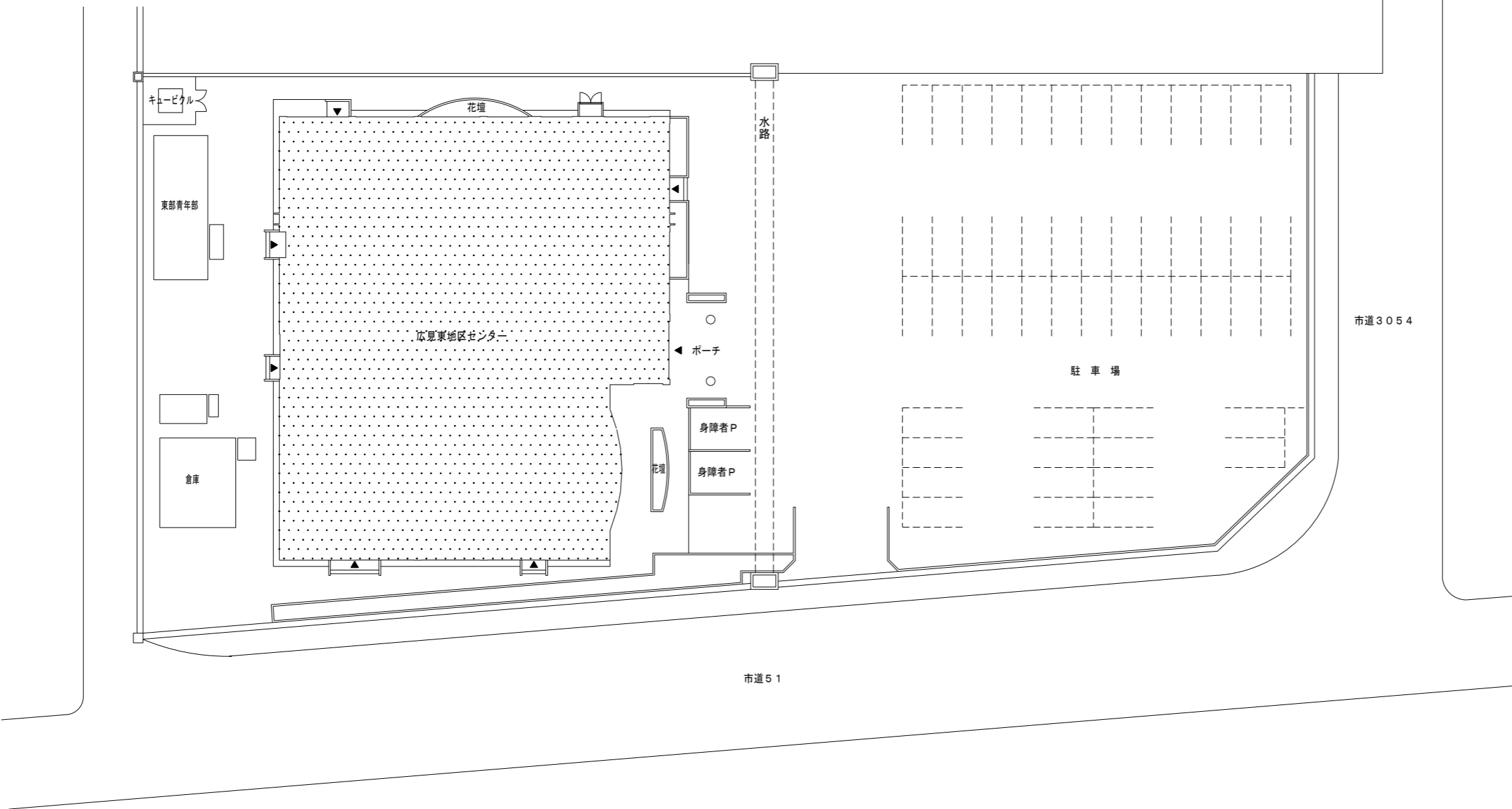
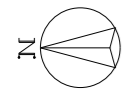
● 空調設備	① 設計温湿度	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">外 気</th> <th colspan="4">屋内 (調整目標値)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">全 て</th> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">一 般 系 統</th> <th colspan="2"></th> </tr> <tr> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夏季</td> <td>36.4℃</td> <td>45.7%</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>26.0℃</td> <td>— %</td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>冬季</td> <td>0.3℃</td> <td>64.4%</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>22.0℃</td> <td>— %</td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>	外 気				屋内 (調整目標値)				全 て				一 般 系 統				温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	夏季	36.4℃	45.7%	℃	%	26.0℃	— %	℃	%	冬季	0.3℃	64.4%	℃	%	22.0℃	— %	℃	%
	外 気				屋内 (調整目標値)																																							
	全 て				一 般 系 統																																							
	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)																																				
	夏季	36.4℃	45.7%	℃	%	26.0℃	— %	℃	%																																			
	冬季	0.3℃	64.4%	℃	%	22.0℃	— %	℃	%																																			
	② 熱源方式	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 空気熱源ヒートポンプパッケージエアコン <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ガス焚き冷水発生機</li> <li>・ ガスヒートポンプエアコン</li> <li>・ 床暖房設備 ( ・ 潜熱蓄熱材方式 ・ )</li> </ul> </li> </ul>																																										
	3 ばいじん量測定口	・ 設けない ・ 設ける (測定口は80φとし、取り付け箇所は煙導の直線部とする)																																										
	4 ばい煙濃度計取付座	・ 設ける ・ 設けない																																										
	⑤ ダクト	低圧ダクト ○ コーナーボルト工法 (長辺の長さが1,500mm以下の部分) (○ 共板フランジ工法 ・ スライドオンフランジ工法) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アングルフランジ工法</li> </ul> 高速1ダクト (適用範囲は図示による) <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。</li> <li>(2) 空調機に取り付けるサプライチャンバー、レタンチャンバー及びダクト系で消音内貼りしたチャンバーには、点検口を設置し寸法は図示による。</li> <li>(3) 外壁に面するガラリに直接取付けるチャンバー及びホッパーは雨水の滞留のないように施工する。</li> </ul>																																										
	6 チャンバー	(1) 防煙ダンパー 復帰方式 ( ・ 遠隔 (定格入力はDC24V、0.7A以下) ・ ) <ul style="list-style-type: none"> <li>(2) ピストンダンパー 復帰方式 ( ・ 遠隔 ・ )</li> </ul> 図示の位置に取り付ける。																																										
	7 ダンパー	(1) 防煙ダンパー 復帰方式 ( ・ 遠隔 (定格入力はDC24V、0.7A以下) ・ ) <ul style="list-style-type: none"> <li>(2) ピストンダンパー 復帰方式 ( ・ 遠隔 ・ )</li> </ul> 図示の位置に取り付ける。																																										
	8 風量測定口																																											
	⑨ 配管材料	(1) 冷温水管 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 配管用炭素鋼管 (白)</li> <li>・ ステンレス鋼管 (SUS304)</li> <li>・ 架橋ポリエチレン管 (20A以下)</li> </ul> (2) 冷却水管 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 配管用炭素鋼管 (白)</li> </ul> (3) 空調用排水管 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 配管用炭素鋼管 (白) ○ 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)</li> </ul> (4) 冷媒管 ○ 断熱材被覆鋼管 ( ○ 製造者標準仕様 ・ 高難燃 ○ 液管10mmガス管20mm )           (5) 膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管は配管用炭素鋼管 (白) とする。           (6) 加湿用給水管 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ステンレス鋼管 ・ ポリ粉体鋼管 ( PA又はPB ) ・ 塩ビライニング鋼管 ( VA又はVB )</li> </ul> (7) 蒸気管 <ul style="list-style-type: none"> <li>給気管 ・ 配管用炭素鋼管 (黒)</li> <li>還管 ・ 圧力配管用炭素鋼管 (黒) Sch40</li> <li>還管 ・ 圧力配管用炭素鋼管 (黒) Sch80</li> </ul> (8) 油管 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 配管用炭素鋼管 (黒)</li> </ul> (1) 冷温水コイル廻り (標準図) の弁は ( ・ 仕切弁 ・ バタフライ弁 ) とする。           (2) 蒸気加熱コイル廻り (標準図) の弁は仕切弁とする。           温度計は ( ・ 円形指示計 (パイメタル式) ・ L形温度計 ) とする。           瞬間流量計はピトー管方式によるもので止水コック付とし、形式及び取付部は下記による。           形式は、 ( ・ 固定式 ・ 着脱式 )           着脱式の場合、 (40A 個 100A 個 ) を付属する。           取付部 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ユニット形空調機 ・ 冷水ポンプ ・ 冷却水ポンプ</li> <li>・ ヘッダーの各送り管 ・ ヘッダーの各返り管</li> </ul> 制御盤には ( ・ 給油ポンプ制御 ・ 返油ポンプ制御 ・ 満油警報 ・ 遠隔警報 ・ 電磁弁制御 ・ 漏えい検知警報 ・ 減油警報 ・ ) の端子を設ける。           なお、フロートスイッチ部と制御盤間の配管配線は製造者の標準仕様とする。           また、フロートスイッチ部はステンレス鋼製 (油面検出部) とする。           下記によるほか、標準仕様書第2編3.1.4による。           ・ 建物内の空気抜き管の保温は標準仕様書第2編3.1.4の温水管の項により、空気抜き対象管から空気抜き弁までとする。           ・ 膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管の保温は、標準仕様書第2編3.1.4の温水管の項による。           ・ 空調機及びファンコイルユニットの排水管の保温は、標準仕様書第2編3.1.5の排水管の項による。           ○ 冷媒管の保温外装は下記による。(但し、天井内、機械室内、PS内は保温外装不要) <table border="1"> <tr> <td>屋内露出</td> <td>・ 保温化粧ケース (材質: 高耐候性特殊樹脂) ・ 合成樹脂製カバー</td> </tr> <tr> <td>屋外露出</td> <td>・ 保温化粧ケース (材質: ) ・ 鉛鉛鉄板 ・ 溶融7Mニウム鉛鉛鉄板 ○ ステンレス鋼板</td> </tr> </table> ・ 暖房室及びその経路の天井内を通る外気ダクトには保温を行う (保温の厚さ 25mm)           ○ 給気ダクトの保温要 (保温の厚さ 25mm、範囲は図示による) (外気処理機系統)           ○ 外気ダクトの保温要 (保温の厚さ 25mm、範囲は図示による) (外気処理機系統)           ・ 排気ダクトの保温要 (保温の厚さ 25mm、範囲は図示による) <ガリ取付チャンパ-及びハーフート から 1mの範囲>	屋内露出	・ 保温化粧ケース (材質: 高耐候性特殊樹脂) ・ 合成樹脂製カバー	屋外露出	・ 保温化粧ケース (材質: ) ・ 鉛鉛鉄板 ・ 溶融7Mニウム鉛鉛鉄板 ○ ステンレス鋼板																																						
屋内露出	・ 保温化粧ケース (材質: 高耐候性特殊樹脂) ・ 合成樹脂製カバー																																											
屋外露出	・ 保温化粧ケース (材質: ) ・ 鉛鉛鉄板 ・ 溶融7Mニウム鉛鉛鉄板 ○ ステンレス鋼板																																											
10 弁 類																																												
11 温 度 計																																												
12 瞬間流量計																																												
13 油面制御装置																																												
⑭ 保温及び消音内貼																																												

● 換気設備	① ダクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 低圧ダクト ○ コーナーボルト工法 (長辺の長さが1,500mm以下の部分) (○ 共板フランジ工法 ・ スライドオンフランジ工法) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アングルフランジ工法 ○ スパイラルダクト</li> </ul> </li> <li>・ 高圧1ダクト (適用範囲は図示による)</li> <li>・ ステンレスダクト及び塩化ビニルダクト (適用範囲及び仕様は図示による)</li> <li>・ 厨房系統の排気ダクトは標準仕様書第3編2.2.2.2のダクトの板厚の項より一番手厚いものを使用する。</li> </ul> 図示の位置に取り付ける。           空調設備の当該項目による。           ・ 厨房系統 ・ 浴室 (シャワー室、脱衣室を含む) 系統           ・ 空調設備の当該項目による。           ・ 全熱交換器用のダクト 保温の厚さ 25mm、OAダクト・EAダクト (SA・RAダクトは除く)           ・ 外気処理機用のダクト 保温の厚さ 25mm           ・ 換気用ダクト 保温の厚さ 25mm、外壁より1.0m)           ・ 多湿箇所のダクト 保温の厚さ 50mm、範囲は図示による)           ・ 厨房及び湯沸し室の排気ダクト 保温の厚さ 50mm (RW)、範囲は図示による)
	2 風量測定口	
	3 ダンパー	
	4 シールする排気ダクトの系統	
	5 チャンバー	
	6 保 温	

● 自動制御設備	① 集中リモコン	○ 有り ( ○ 新設 ・ 改修 ) ・ なし
	② 中央監視制御装置の構成・機能	別図による。
	③ 電気計装用配線	電線及びケーブルの規格は標準仕様書第4編1.5.1表4.1.11による。           屋外・屋内露出の配線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。           天井内隠ぺいの配線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。

--	--

可 児 市 役 所			
工事名	可児市広見東地区センター空調設備更新工事		
種 別	機械設備工事仕様書 4	図面番号	M-04
縮 尺	—	作製年月日	
(株) 岐 阜 建 築 設 備 計 画			



記号	名称	管 材 ・ 仕 様
— R* —	冷媒配管	断熱材被覆銅管 ( 被覆厚 : 液管10mm ・ ガス管20mm )
— D —	ドレン配管 ( 屋内一般 )	硬質ポリ塩化ビニル管 ( J I S - K - 6 7 4 1 ( V P ) )
≡ ≡ ≡	矩形ダクト	亜鉛鉄板 ( J I S - G - 3 3 0 2 )
≡ ≡ ≡	スパイラルダクト	亜鉛鉄板 ( J I S - G - 3 3 0 2 )
≡ ≡ ≡ VD	風量調整ダンパー	銅板製
≡ ≡ ≡	たわみ継手	

可 児 市 役 所			
工事名	可児市広見東地区センター空調設備更新工事		
種 別	配置図・付近見取図・凡例	図面番号	M-05
縮 尺	1/300	作製年月日	
(株) 岐 阜 建 築 設 備 計 画			

1		機 器 表 (1) (更新前) (撤去)		—		註) 既設エアコン撤去に伴い、本工事にて冷媒ガスの回収と破壊処理を行う。		
記 号	名 称	仕 様	電 気 容 量		数 量	設 置 場 所	備 考	
			電 源	容 量				
PAC-1	空冷ヒートポンプエアコン (同時ツイン) (ロビー系統)	型 式 : 天井埋込ビルトインオールダクト形	3φ200V	C : 7.5KW F : 220W(外) F : 260Wx2(内)	1組	ロビー(室内機) R階(室外機)		
		能 力 : 室外機 冷房能力28.0KW 暖房能力31.5KW						
		室内機 冷房能力14.0KW 暖房能力16.0KW(2台)						
		そ の 他 : リモコンスイッチ・室外機架台・集中管理対応品						
		製品重量 : 室外機 240KG 室内機 64KG(1台)						
PAC-2	空冷ヒートポンプエアコン (エントランスホール系統)	型 式 : 天井埋込ビルトインオールダクト形	3φ200V	C : 3.75KW F : 60+60W(外) F : 260W(内)	1組	エントランスホール (室内機) R階(室外機)		
		能 力 : 冷房能力 14.0KW 暖房能力 16.0KW						
		そ の 他 : リモコンスイッチ・室外機架台・集中管理対応品						
		製品重量 : 室外機 92KG 室内機 64KG						
PAC-3	空冷ヒートポンプエアコン (同時ツイン) (中庭廊下系統)	型 式 : 天井埋込カセット形(4方向吹出し)	3φ200V	C : 7.5KW F : 220W(外) F : 60Wx2(内)	1組	中庭廊下(室内機) R階(室外機)		
		能 力 : 室外機 冷房能力28.0KW 暖房能力31.5KW						
		室内機 冷房能力14.0KW 暖房能力16.0KW(2台)						
		そ の 他 : リモコンスイッチ・室外機架台・集中管理対応品						
		製品重量 : 室外機 240KG 室内機 27KG(1台)						
PAC-4	空冷ヒートポンプエアコン (同時ツイン) (事務室系統)	型 式 : 天井埋込カセット形(4方向吹出し)	3φ200V	C : 3.75KW F : 60+60W(外) F : 40Wx2(内)	1組	事務室(室内機) R階(室外機)		
		能 力 : 室外機 冷房能力14.0KW 暖房能力16.0KW						
		室内機 冷房能力 7.1KW 暖房能力 8.0KW(2台)						
		そ の 他 : リモコンスイッチ・室外機架台・集中管理対応品						
		製品重量 : 室外機 92KG 室内機 22KG(1台)						
PAC-5	空冷ヒートポンプエアコン (同時ツイン) (会議室系統)	型 式 : 天井埋込カセット形(4方向吹出し)	3φ200V	C : 2.4KW F : 60+60W(外) F : 40Wx2(内)	1組	会議室(室内機) R階(室外機)		
		能 力 : 室外機 冷房能力11.2KW 暖房能力12.5KW						
		室内機 冷房能力 5.6KW 暖房能力 6.3KW(2台)						
		そ の 他 : リモコンスイッチ・室外機架台・集中管理対応品						
		製品重量 : 室外機 80KG 室内機 22KG(1台)						
PAC-6	空冷ヒートポンプエアコン (同時ツイン) (和室系統)	型 式 : 天井埋込カセット形(2方向吹出し)	3φ200V	C : 3.75KW F : 60+60W(外) F : 50Wx2(内)	1組	和室(室内機) R階(室外機)		
		能 力 : 室外機 冷房能力14.0KW 暖房能力16.0KW						
		室内機 冷房能力 7.1KW 暖房能力 8.0KW(2台)						
		そ の 他 : リモコンスイッチ・室外機架台・集中管理対応品						
		製品重量 : 室外機 92KG 室内機 35KG(1台)						
PAC-7	空冷ヒートポンプエアコン (同時ツイン) (工作室系統)	型 式 : 天井埋込カセット形(4方向吹出し)	3φ200V	C : 3.75KW F : 60+60W(外) F : 40Wx2(内)	1組	工作室(室内機) R階(室外機)		
		能 力 : 室外機 冷房能力14.0KW 暖房能力16.0KW						
		室内機 冷房能力 7.1KW 暖房能力 8.0KW(2台)						
		そ の 他 : リモコンスイッチ・室外機架台・集中管理対応品						
		製品重量 : 室外機 92KG 室内機 22KG(1台)						
PAC-8	空冷ヒートポンプエアコン (同時ツイン) (研修室(1)系統)	型 式 : 天井埋込カセット形(4方向吹出し)	3φ200V	C : 3.75KW F : 60+60W(外) F : 40Wx2(内)	1組	研修室(1)(室内機) R階(室外機)		
		能 力 : 室外機 冷房能力14.0KW 暖房能力16.0KW						
		室内機 冷房能力 7.1KW 暖房能力 8.0KW(2台)						
		そ の 他 : リモコンスイッチ・室外機架台・集中管理対応品						
		製品重量 : 室外機 92KG 室内機 22KG(1台)						

記 号	名 称	仕 様	電 気 容 量		数 量	設 置 場 所	備 考	
			電 源	容 量				
PAC-9	空冷ヒートポンプエアコン (同時ツイン) (研修室(2)系統)	型 式 : 天井埋込カセット形(4方向吹出し)・室内機2台	3φ200V	C : 3.75KW F : 60+60W(外) F : 40Wx2(内)	1組	研修室(2)(室内機) R階(室外機)		
		能 力 : 室外機 冷房能力14.0KW 暖房能力16.0KW						
		室内機 冷房能力 7.1KW 暖房能力 8.0KW(2台)						
		そ の 他 : リモコンスイッチ・室外機架台・集中管理対応品						
		製品重量 : 室外機 92KG 室内機 22KG(1台)						
PAC-10	空冷ヒートポンプエアコン (ペアエアコン) (湯沸室系統)	型 式 : 天井埋込カセット形(4方向吹出し)	3φ200V	C : 1.5KW F : 30W(外) F : 40W(内)	1組	湯沸室(室内機) R階(室外機)		
		能 力 : 冷房能力 5.0KW 暖房能力 6.0KW						
		そ の 他 : リモコンスイッチ・室外機架台・集中管理対応品						
		製品重量 : 室外機 59KG 室内機 22KG(1台)						
PAC-11	空冷ヒートポンプエアコン (ペアエアコン) (ステージ系統)	型 式 : 天吊露出形	3φ200V	C : 4.5KW F : 60+60W(外) F : 100W(内)	2組	ステージ(室内機) R階(室外機)		
		能 力 : 冷房能力 16.0KW 暖房能力 18.0KW						
		そ の 他 : リモコンスイッチ・室外機架台・集中管理対応品						
		製品重量 : 室外機 95KG 室内機 38KG(1台)						
MAO-1	空冷ヒートポンプマルチ エアコン(室外機) (ホール系統)	能 力 : 冷房能力 28.0KW 暖房能力 31.5KW	3φ200V	C : 3.0+4.5KW F : 200W(外)	3	R階		
		そ の 他 : 室外機架台						
		製品重量 : 室外機 222KG						
MAI-1	空冷ヒートポンプマルチ エアコン(室内機) (ホール系統)	型 式 : 床置ビルトイン形(ダクト接続仕様)	3φ200V	F : 1.7KW	3	ホール		
		能 力 : 冷房能力 28.0KW 暖房能力 31.5KW						
		そ の 他 : リモコンスイッチ・室内機架台						
		製品重量 : 室内機 225KG						

可 児 市 役 所			
工事名	可児市広見東地区センター空調設備更新工事		
種 別	機器表(1)(更新前)(撤去)	図面番号	M-06
縮 尺	—	作製年月日	
(株) 岐 阜 建 築 設 備 計 画			



記号	名称	仕様	電気容量		数量	設置場所	備考
			電源	容量			
OF-1	送風機	型式: 消音型ストレートシロッコファン	1φ100V	200W	3	ホール 空調機スペース	
		能力: 200φ x 1,000 m <sup>3</sup> /H x 15 mmAq					
		製品重量: **KG (1台)					
EF-1	排風機	型式: 消音型ストレートシロッコファン	1φ100V	150W	1	ホール ステージ天井	
		能力: 200φ x 800 m <sup>3</sup> /H x 10 mmAq					
		製品重量: **KG (1台)					
EF-2	排風機	型式: 消音型ストレートシロッコファン	1φ100V	150W	1	ロビー天井内	
		能力: 200φ x 1,000 m <sup>3</sup> /H x 10 mmAq					
		製品重量: **KG (1台)					
EF-3	排風機	型式: 消音型ストレートシロッコファン	1φ100V	200W	3	ホール EAチャンパー内	
		能力: 200φ x 1,000 m <sup>3</sup> /H x 15 mmAq					
		製品重量: **KG (1台)					
VF-1	天井換気扇	型式: 低騒音型 プラスチックグリル	1φ100V	50W	1	多目的便所 倉庫(事務室)	
		能力: 100φ x 75 m <sup>3</sup> /H x 4 mmAq					
VF-2	天井換気扇	型式: 低騒音型 プラスチックグリル	1φ100V	50W	2	倉庫(ホール) 倉庫(事務室)	
		能力: 150φ x 150 m <sup>3</sup> /H x 5 mmAq					
VF-3	天井換気扇	型式: 低騒音型 インテリアグリル	1φ100V	100W	4	事務室 和室	
		能力: 150φ x 300 m <sup>3</sup> /H x 5 mmAq					
VF-4	天井換気扇	型式: 低騒音型 インテリアグリル	1φ100V	100W	6	会議室 研修室1・2 工作室	
		能力: 150φ x 400 m <sup>3</sup> /H x 5 mmAq					
VF-5	天井換気扇	型式: 低騒音型 プラスチックグリル	1φ100V	150W	2	男子便所 女子便所	
		能力: 150φ x 550 m <sup>3</sup> /H x 5 mmAq					
VF-6	天井換気扇	型式: 低騒音型 キッチン用	1φ100V	150W	2	湯沸室 湯沸室(事務室)	
		能力: 150φ x 550 m <sup>3</sup> /H x 5 mmAq					

記号	名称	仕様	電気容量		数量	設置場所	備考
			電源	容量			

1		機 器 表 ( 1 ) ( 更新後 )															
記 号	名 称	仕 様	電 気 容 量		数 量	設 置 場 所	備 考	記 号	名 称	仕 様	電 気 容 量		数 量	設 置 場 所	備 考		
			電 源	容 量							電 源	容 量					
ACP	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン	【 共通事項 】	3φ200V	C : 2.0KW F : 0.22KW (外) F : 60W x 2 (内)	1	室外機 屋上屋根 室内機 会議室		ACP-5	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン (ツイン同時運転)	型 式 : 天井埋込カセット4方向吹出し形 ( 4.0HHP相当 )	消費電力 4.5KW APF値 6.0 以上	3φ200V	1	室外機 屋上屋根 室内機 会議室			
		1. 能力表示 : JIS条件時								冷房時 : 室内27.0℃ (DB) / 19.0℃ (WB) ・外気35.0℃ (DB)	暖房時 : 室内20.0℃ (DB) / 6.0℃ (WB) ・外気 7.0℃ (DB)					室外機能力 : 冷房能力 11.2KW 暖房能力 12.5KW	室内機能力 : 冷房能力 5.6KW (2台) 暖房能力 6.3KW (2台)
		2. 室外機型式 一般地仕様 インバーター対応								冷媒配管 : 室外機 - 液管 9.5φ ・ ガス管 15.9φ	室内機 - 液管 6.4φ ・ ガス管 12.7φ						
		3. 冷媒ガス 新冷媒 R410A・R32 又は同等以上の冷媒ガス															
		4. フィルター メーカー標準長寿命化型フィルター															
		5. 室外機付属品 冷媒分歧ユニット (更新用)															
		6. 室内機付属品 各室内機共通・リモコンスイッチ・遠方操作アダプター・取付金具															
		・ACP-4・5・6・7・8・9・10用															
		天井開口部調整用ワイドパネル															
		・ACP-1・2用															
		フィルターチャンパー (高性能ロングライフフィルター内蔵)															
		7. 電源 室外機及び室内機への1次側電源供給は既設接続替えとする。															
室内外機連絡線及びリモコン配線配管は既設再利用とし接続替えとする。																	
8. その他 室外機の基礎は更新とし、既成コンクリート架台 (ゴムマット 10mm敷き) を設置する。																	
電気容量は参考数値とする。																	
ACP-1	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン (ツイン同時運転)	型 式 : 天井埋込ビルトインオールダクト形 ( 10.0HHP相当 )	3φ200V	C : 6.0KW F : 0.6KW (外) F : 0.3KW x 2 (内)	1	室外機 屋上屋根 室内機 ロビー		ACP-9	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン (ツイン同時運転)	型 式 : 天井埋込カセット4方向吹出し形 ( 5.0HHP相当 )	消費電力 6.5KW APF値 5.8 以上	3φ200V	1	室外機 屋上屋根 室内機 研修室1			
		室外機能力 : 冷房能力 28.0KW 暖房能力 31.5KW								室外機能力 : 冷房能力 14.0KW 暖房能力 16.0KW	室内機能力 : 冷房能力 7.1KW (2台) 暖房能力 8.0KW (2台)						
		室内機能力 : 冷房能力 14.0KW (2台) 暖房能力 16.0KW (2台)								冷媒配管 : 室外機 - 液管 9.5φ ・ ガス管 25.4φ	室内機 - 液管 9.5φ ・ ガス管 15.9φ						
		冷媒配管 : 室外機 - 液管 12.7φ ・ ガス管 25.4φ															
		室内機 - 液管 9.5φ ・ ガス管 15.9φ															
ACP-2	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン (ペアエアコン)	型 式 : 天井埋込ビルトインオールダクト形 ( 5.0HHP相当 )	3φ200V	C : 2.5KW F : 0.3KW (外) F : 0.3KW (内)	1	室外機 屋上屋根 室内機 エントランス ホール		ACP-10	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン (ペアエアコン)	型 式 : 天井埋込カセット4方向吹出し形 ( 2.5HHP相当 )	消費電力 2.0KW APF値 5.5 以上	3φ200V	1	室外機 屋上屋根 室内機 湯沸室			
		能力 : 冷房能力 14.0KW 暖房能力 16.0KW								能力 : 冷房能力 5.0KW 暖房能力 6.0KW	冷媒配管 : 液管 6.4φ ・ ガス管 12.7φ						
		冷媒配管 : 液管 9.5φ ・ ガス管 15.9φ															
ACP-3	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン (ツイン同時運転)	型 式 : 天井埋込カセット4方向吹出し形 ( 10.0HHP相当 )	3φ200V	C : 6.0KW F : 0.6KW (外) F : 110W x 2 (内)	1	室外機 屋上屋根 室内機 中庭廊下		ACP-11	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン (ペアエアコン)	型 式 : 天井埋込カセット4方向吹出し形 ( 5.0HHP相当 )	消費電力 7.0KW APF値 5.0 以上	3φ200V	2	室外機 屋上屋根 室内機 ステージ			
		消費電力 10.0KW APF値 5.3 以上								消費電力 7.0KW APF値 4.7 以上	能力 : 冷房能力 16.0KW 暖房能力 18.0KW						
		室外機能力 : 冷房能力 28.0KW 暖房能力 31.5KW								冷媒配管 : 液管 9.5φ ・ ガス管 15.9φ							
		室内機能力 : 冷房能力 14.0KW (2台) 暖房能力 16.0KW (2台)															
		冷媒配管 : 室外機 - 液管 12.7φ ・ ガス管 25.4φ															
室内機 - 液管 9.5φ ・ ガス管 15.9φ																	
ACP-4	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン (ツイン同時運転)	型 式 : 天井埋込カセット4方向吹出し形 ( 5.0HHP相当 )	3φ200V	C : 2.5KW F : 0.22KW (外) F : 60W x 2 (内)	1	室外機 屋上屋根 室内機 事務室		ACP-4	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン (ツイン同時運転)	型 式 : 天井埋込カセット4方向吹出し形 ( 5.0HHP相当 )	消費電力 7.0KW APF値 5.0 以上	3φ200V	1	室外機 屋上屋根 室内機 事務室			
		消費電力 10.0KW APF値 5.3 以上								消費電力 7.0KW APF値 5.0 以上	室外機能力 : 冷房能力 14.0KW 暖房能力 16.0KW						
		室外機能力 : 冷房能力 28.0KW 暖房能力 31.5KW								室内機能力 : 冷房能力 7.1KW (2台) 暖房能力 8.0KW (2台)	冷媒配管 : 室外機 - 液管 9.5φ ・ ガス管 15.9φ						
		室内機能力 : 冷房能力 14.0KW (2台) 暖房能力 16.0KW (2台)															
		冷媒配管 : 室外機 - 液管 12.7φ ・ ガス管 25.4φ															
室内機 - 液管 9.5φ ・ ガス管 15.9φ																	

可 児 市 役 所			
工事名	可児市広見東地区センター空調設備更新工事		
種 別	機器表 ( 1 ) ( 更新後 )	図面番号	M-08
縮 尺	—	作製年月日	
(株) 岐 阜 建 築 設 備 計 画			

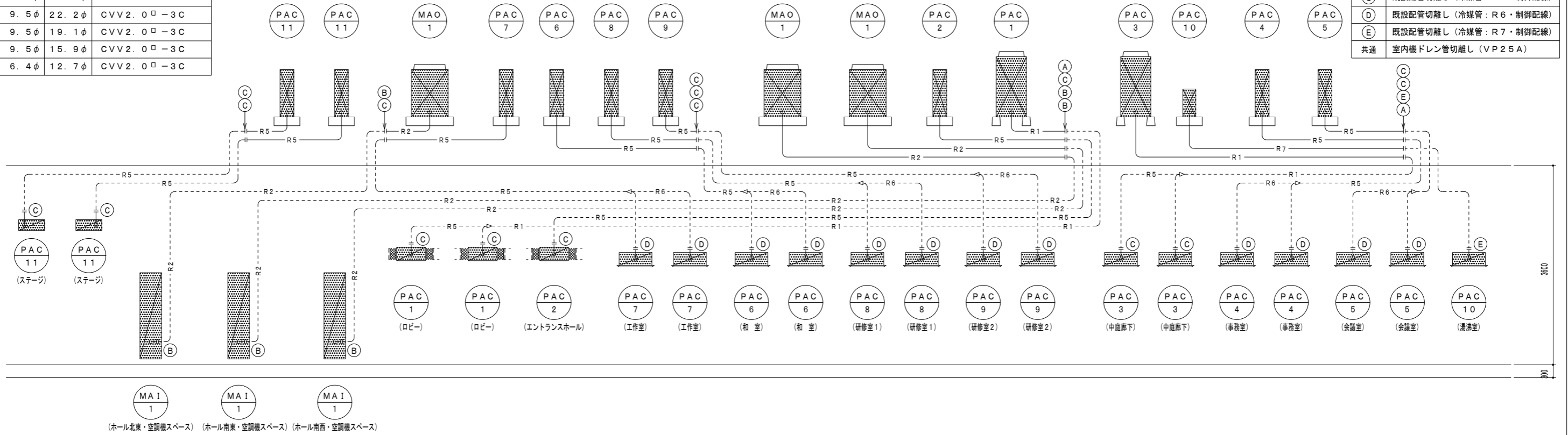
1		機器表(2)(更新後)													
記号	名称	仕様	電気容量		数量	設置場所	備考	記号	名称	仕様	電気容量		数量	設置場所	備考
			電源	容量							電源	容量			
EHP	空冷ヒートポンプ マルチエアコン	【共通事項】													
		1. 能力表示: JIS条件時													
		冷房時: 室内27.0℃(DB) / 19.0℃(WB) ・外気35.0℃(DB)													
		暖房時: 室内20.0℃(DB) / 6.0℃(WB) ・外気7.0℃(DB)													
		2. 冷媒ガス 新冷媒 R410A・R32 又は同等以上の冷媒ガス													
		3. 室外機型式 インバーター対応 高効率型													
		4. 室外機付属品 冷媒分岐ユニット(更新用)													
		5. 室内機型式 DR : 壁ビルトイン型													
		6. 室内機付属品 リモコンスイッチ(ワイヤード)・遠方操作アダプター													
		7. 電源 室外機及び室内機への1次側電源供給は既設接続替えとする。 室内機連絡線及びリモコン配線配管は既設再利用とし接続替えとする。													
8. その他 室外機の基礎は更新とし、既成コンクリート架台(ゴムマット 10mm敷き)を設置する。 電気容量は参考数値とする。															
EHP-11	空冷ヒートポンプ マルチエアコン (ホール系統)	【室外機】	3φ200V	C: 8.4KW F: 0.6KW	1	屋上屋根									
		型式: 冷媒配管1系統タイプ(10HP相当)冷暖切替型マルチリニューアルタイプ													
		能力: 冷房能力 28.0KW以上 暖房能力 31.5KW以上													
		冷媒配管: 液管 9.5φ ・ ガス管 22.2φ													
		【室外機】													
		型式: DR型(DR-280)													
能力: 冷房能力 28.0KW 暖房能力 31.5KW															
冷媒配管: 液管 9.5φ ・ ガス管 22.2φ															
EHP-12	空冷ヒートポンプ マルチエアコン (ホール系統)	【室外機】	3φ200V	C: 8.4KW F: 0.6KW	1	屋上屋根									
		型式: 冷媒配管1系統タイプ(10HP相当)冷暖切替型マルチリニューアルタイプ													
		能力: 冷房能力 28.0KW以上 暖房能力 31.5KW以上													
		冷媒配管: 液管 9.5φ ・ ガス管 22.2φ													
		【室外機】													
		型式: DR型(DR-280)													
能力: 冷房能力 28.0KW 暖房能力 31.5KW															
冷媒配管: 液管 9.5φ ・ ガス管 22.2φ															
EHP-13	空冷ヒートポンプ マルチエアコン (ホール系統)	【室外機】	3φ200V	C: 8.4KW F: 0.6KW	1	屋上屋根									
		型式: 冷媒配管1系統タイプ(10HP相当)冷暖切替型マルチリニューアルタイプ													
		能力: 冷房能力 28.0KW以上 暖房能力 31.5KW以上													
		冷媒配管: 液管 9.5φ ・ ガス管 22.2φ													
		【室外機】													
		型式: DR型(DR-280)													
能力: 冷房能力 28.0KW 暖房能力 31.5KW															
冷媒配管: 液管 9.5φ ・ ガス管 22.2φ															
RC-01	集中コントローラー	タッチパネル式集中管理コントローラー(アイコン表示カラータッチ画面 ・最大32リモコングループ以上集中管理対応型)	1φ100V			1階 事務室									
		遠隔監視・運転・停止・運転モード切替・温度設定・手元操作禁止機構													
		・ウィークリータイマー機能													
FO-01	送風機	型式: 消音型ストレートシロッコファン	1φ100V	110W	3	ホール 空調機スペース									
		能力: 200φ x 1,000 m <sup>3</sup> /H x 150 Pa													
		その他: 取付金具													
FE-01	排風機	型式: 消音型ストレートシロッコファン	1φ100V	110W	1	ホール ステージ天井									
		能力: 200φ x 800 m <sup>3</sup> /H x 100 Pa													
		その他: 取付金具													
FE-02	排風機	型式: 消音型ストレートシロッコファン	1φ100V	110W	1	ロビー天井内									
		能力: 200φ x 1,000 m <sup>3</sup> /H x 100 Pa													
		その他: 取付金具													
FE-03	排風機	型式: 消音型ストレートシロッコファン	1φ100V	110W	3	ホール RAチャンパー内									
		能力: 200φ x 1,000 m <sup>3</sup> /H x 150 Pa													
		その他: 取付金具													
FV-01	天井換気扇	型式: サニタリー用低騒音型 本体プラスチック製 DCブラシレスモーター搭載	1φ100V	5W	1	多目的便所									
		能力: 100φ x 150 m <sup>3</sup> /H x 80 Pa													
		付属品: 取付金具													
FV-02	天井換気扇	型式: サニタリー用低騒音型 本体プラスチック製 DCブラシレスモーター搭載	1φ100V	5W	1 1	倉庫(事務室) 倉庫(ホール)									
		能力: 100φ x 150 m <sup>3</sup> /H x 80 Pa													
		付属品: 取付金具													
FV-03	天井換気扇	型式: インテリア用低騒音型 本体金属製 DCブラシレスモーター搭載	1φ100V	11W	2 2	事務室 和室									
		能力: 150φ x 300 m <sup>3</sup> /H x 80 Pa													
		付属品: 取付金具													
FV-04	天井換気扇	型式: インテリア用低騒音型 本体金属製 DCブラシレスモーター搭載	1φ100V	21W	2 2 2	工作室 研修室 1・2 会議室									
		能力: 150φ x 400 m <sup>3</sup> /H x 80 Pa													
		付属品: 取付金具													
FV-05	天井換気扇	型式: サニタリー用低騒音型 本体金属製 DCブラシレスモーター搭載	1φ100V	100W	1 1	男子便所 女子便所									
		能力: 150φ x 550 m <sup>3</sup> /H x 80 Pa													
		付属品: 取付金具													
FV-06	天井換気扇	型式: 台所用低騒音型 本体金属製 DCブラシレスモーター搭載	1φ100V	100W	2 1	湯沸室 湯沸室(事務室)									
		能力: 150φ x 550 m <sup>3</sup> /H x 80 Pa													
		付属品: 取付金具													

可児市役所			
工事名	可児市広見東地区センター空調設備更新工事		
種別	機器表(2)(更新後)	図面番号	M-09
縮尺	—	作製年月日	
(株) 岐阜建築設備計画			

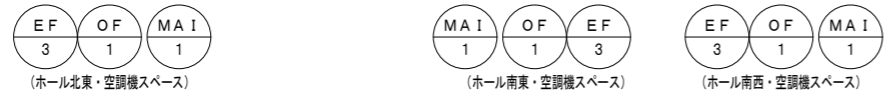
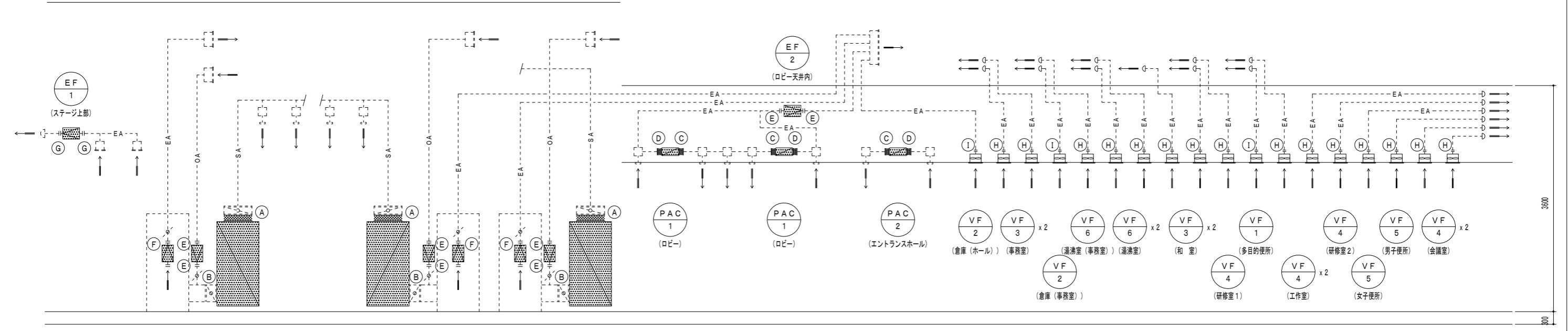
1 系統図(冷媒配管)(更新前)(撤去)

記号	液管	ガス管	制御配線
R1	15.9φ	28.6φ	CVV2.0□-3C
R2	12.7φ	28.6φ	CVV2.0□-3C
R3	12.7φ	25.4φ	CVV2.0□-3C
R4	9.5φ	22.2φ	CVV2.0□-3C
R5	9.5φ	19.1φ	CVV2.0□-3C
R6	9.5φ	15.9φ	CVV2.0□-3C
R7	6.4φ	12.7φ	CVV2.0□-3C

記号	工事内容
A	既設配管切離し(冷媒管:R1・制御配線)
B	既設配管切離し(冷媒管:R2・制御配線)
C	既設配管切離し(冷媒管:R5・制御配線)
D	既設配管切離し(冷媒管:R6・制御配線)
E	既設配管切離し(冷媒管:R7・制御配線)
共通	室内機ドレン管切離し(VP25A)



2 系統図(ダクト・換気設備)(更新前)(撤去)



記号	工事内容	記号	工事内容
A	既設SAダクト切離し(MAI-1・1000x400)	F	既設EAダクト切離し(250φ)
B	既設RAダクト切離し(MAI-1・480x420)	G	既設EAダクト切離し(200φ)
C	既設SAダクト切離し(PAC-1・PAC-2)	H	既設EAダクト切離し(150φ)
D	既設RAダクト切離し(PAC-1・PAC-2)	I	既設EAダクト切離し(100φ)
E	既設OAダクト切離し(250φ)		

可児市役所

工事名 可児市広見東地区センター空調設備更新工事

種別 系統図(更新前)(撤去) 図面番号 M-10

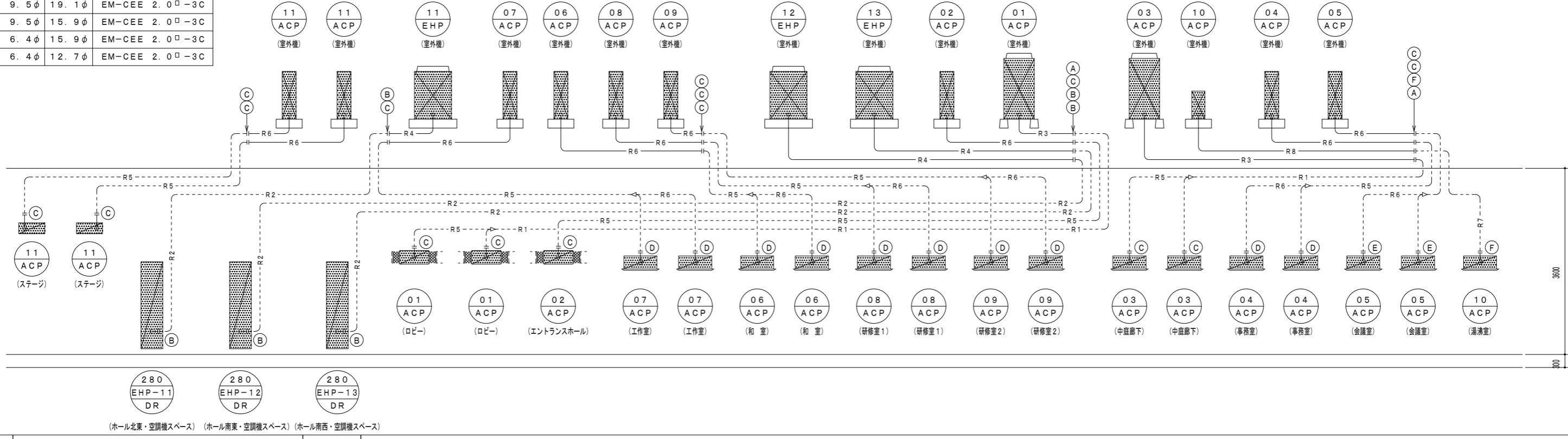
縮尺 作製年月日

(株) 岐阜建築設備計画

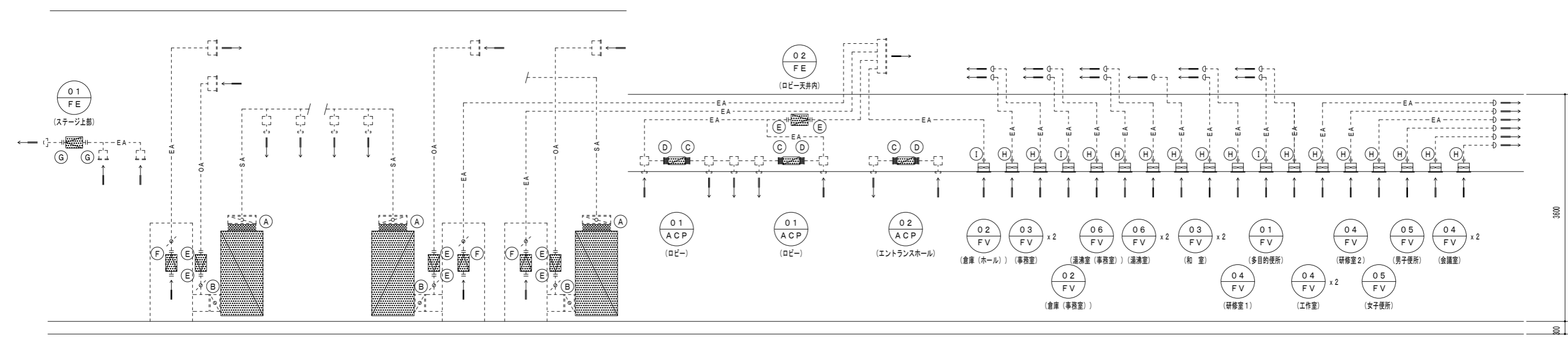
1 系統図(冷媒配管) (更新後)

記号	液管	ガス管	制御配線
R1	15.9φ	28.6φ	EM-CEE 2.0□-3C
R2	12.7φ	28.6φ	EM-CEE 2.0□-3C
R3	12.7φ	25.4φ	EM-CEE 2.0□-3C
R4	9.5φ	22.2φ	EM-CEE 2.0□-3C
R5	9.5φ	19.1φ	EM-CEE 2.0□-3C
R6	9.5φ	15.9φ	EM-CEE 2.0□-3C
R7	6.4φ	15.9φ	EM-CEE 2.0□-3C
R8	6.4φ	12.7φ	EM-CEE 2.0□-3C

記号	工事内容	記号	工事内容
(A)	既設配管に接続(冷媒管: R3・制御配線)(既設冷媒管は R1)	(E)	既設配管に接続(冷媒管: R8・制御配線)(既設冷媒管は R6)
(B)	既設配管に接続(冷媒管: R4・制御配線)(既設冷媒管は R2)	(F)	既設配管に接続(冷媒管: R8・制御配線)(既設冷媒管は R7)
(C)	既設配管に接続(冷媒管: R6・制御配線)(既設冷媒管は R5)		
(D)	既設配管に接続(冷媒管: R6・制御配線)(既設冷媒管は R6)	共通	室内機ドレン管既設ドレン管に接続(VP25A)

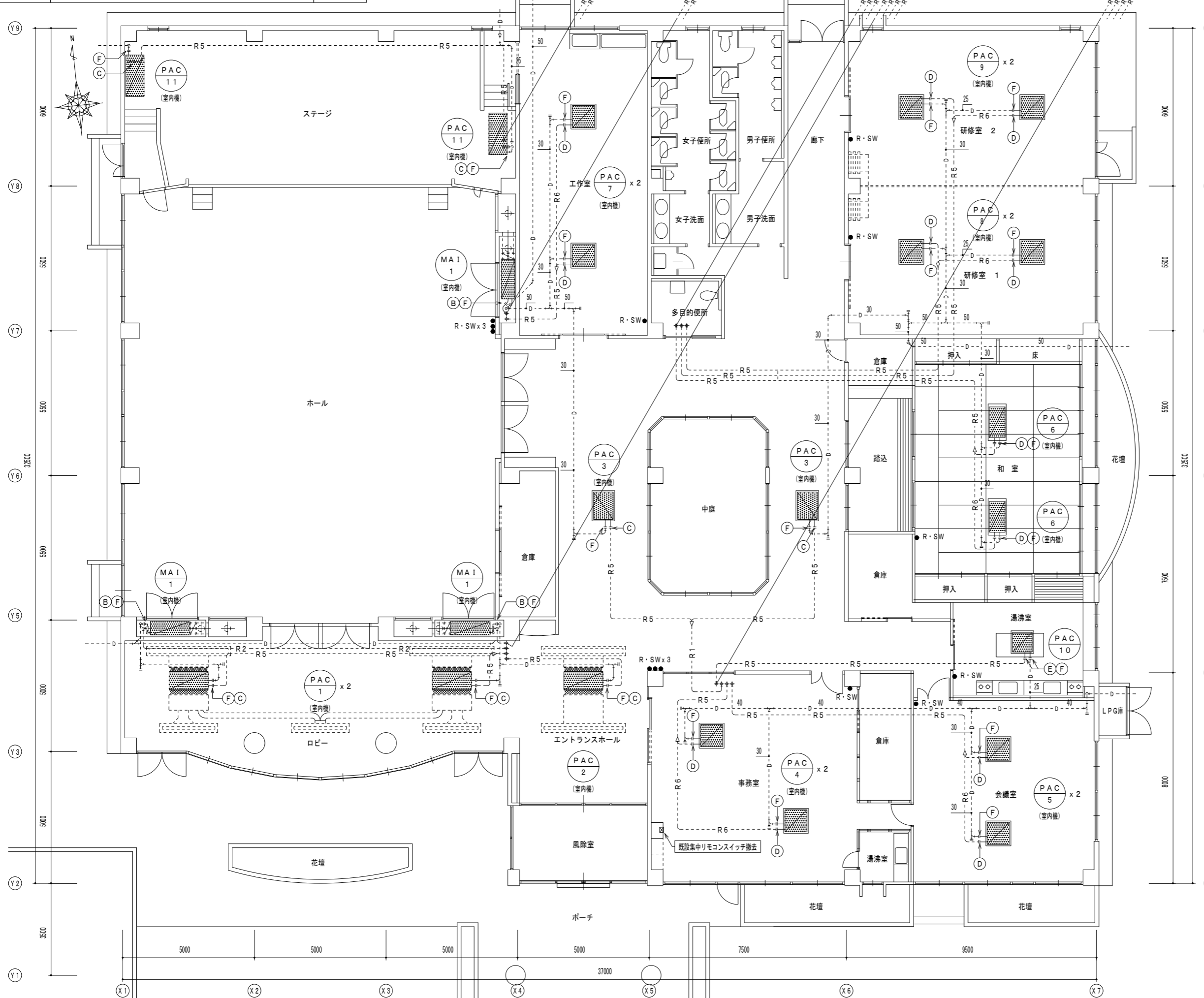


2 系統図(ダクト・換気設備) (更新後)



記号	工事内容	記号	工事内容
(A)	既設SAダクトに接続(EHP-11・12・13)	(F)	既設EAダクトに接続(250φ)
(B)	既設RAダクトに接続(EHP-11・12・13)	(G)	既設EAダクトに接続(200φ)
(C)	既設SAダクトに接続(ACP-01・ACP-02)	(H)	既設EAダクトに接続(150φ)
(D)	既設RAダクトに接続(ACP-01・ACP-02)	(I)	既設EAダクトに接続(100φ)
(E)	既設OAダクトに接続(250φ)		

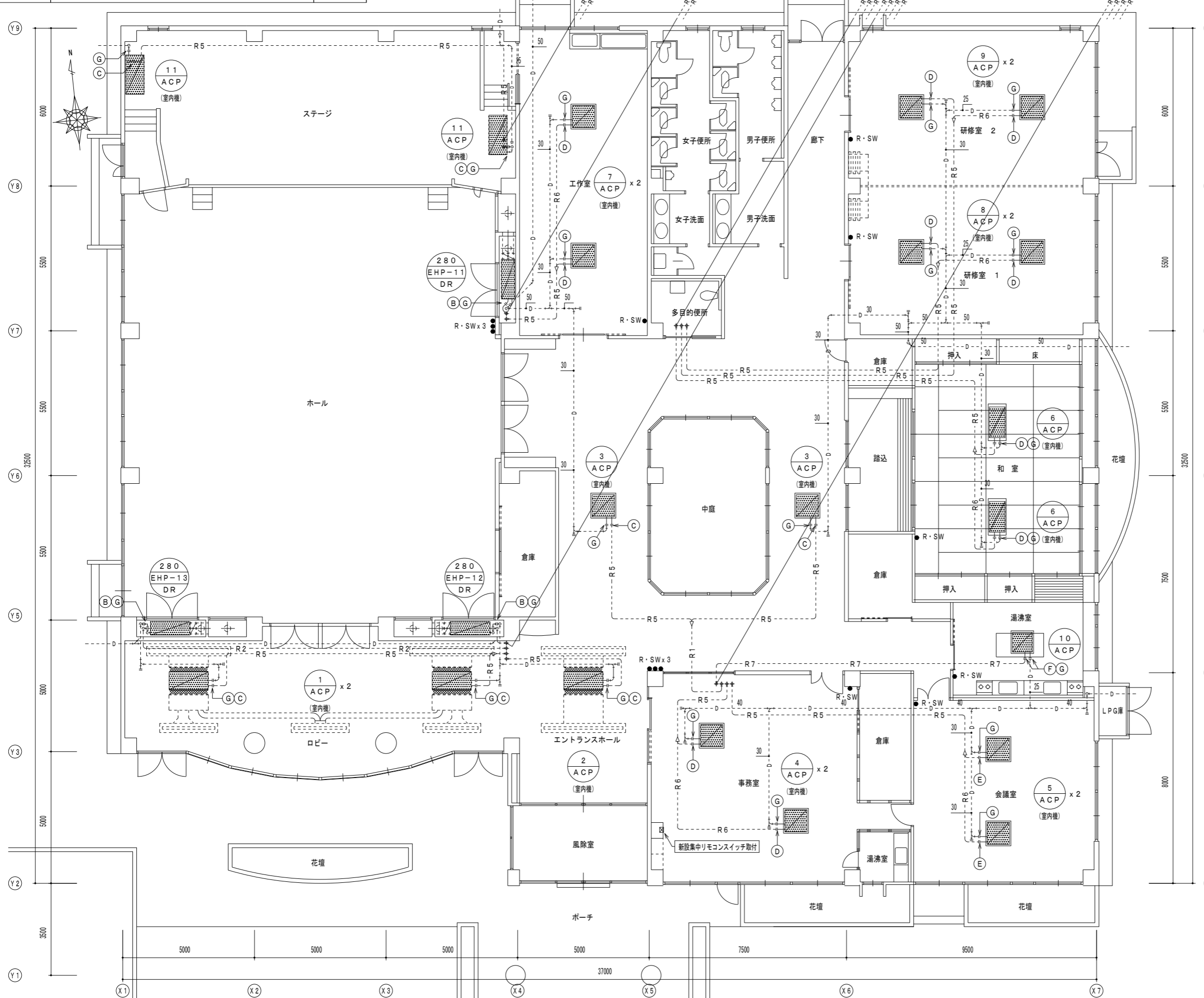
工事名	可児市広見東地区センター空調設備更新工事		
種別	系統図(更新後)	図面番号	M-11
縮尺	—	作製年月日	
(株) 岐阜建築設備計画			



記号	液管	ガス管	制御配線
R1	15.9φ	28.6φ	CVV2.0□-3C
R2	12.7φ	28.6φ	CVV2.0□-3C
R3	12.7φ	25.4φ	CVV2.0□-3C
R4	9.5φ	22.2φ	CVV2.0□-3C
R5	9.5φ	19.1φ	CVV2.0□-3C
R6	9.5φ	15.9φ	CVV2.0□-3C
R7	6.4φ	15.9φ	CVV2.0□-3C

記号	工事内容
(B)	既設配管切離し (冷媒管: R2 ・ 制御配線)
(C)	既設配管切離し (冷媒管: R5 ・ 制御配線)
(D)	既設配管切離し (冷媒管: R6 ・ 制御配線)
(E)	既設配管切離し (冷媒管: R7 ・ 制御配線)
(F)	既設配管切離し (ドレン管: VP25A)
共通	室内機電源配線切離し
共通	室内外機連絡線及びリモコン配線切離し
共通	既設リモコンスイッチ撤去 (● R・SW)
共通	室内機 (PAC) 取付金具撤去

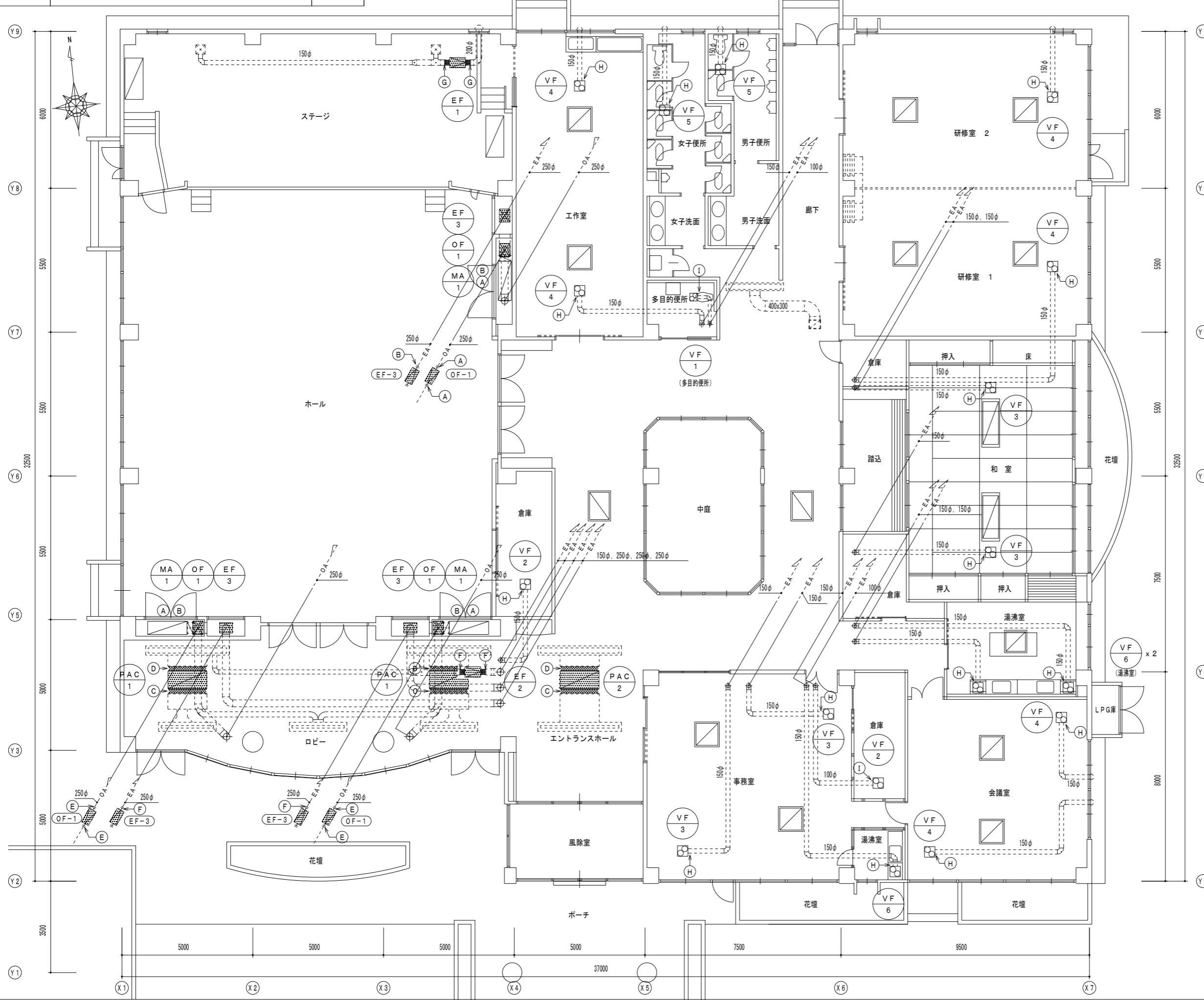
工事名	可児市広見東地区センター空調設備更新工事		
種別	1階 平面図 (空調機器・配管) (更新前) (撤去)	図面番号	M-12
縮尺	1/100	作製年月日	
(株) 岐阜建築設備計画			



記号	液管	ガス管	制御配線
R1	15.9φ	28.6φ	EM-CEE 2.0□-3C
R2	12.7φ	28.6φ	EM-CEE 2.0□-3C
R3	12.7φ	25.4φ	EM-CEE 2.0□-3C
R4	9.5φ	22.2φ	EM-CEE 2.0□-3C
R5	9.5φ	19.1φ	EM-CEE 2.0□-3C
R6	9.5φ	15.9φ	EM-CEE 2.0□-3C
R7	6.4φ	15.9φ	EM-CEE 2.0□-3C
R8	6.4φ	12.7φ	EM-CEE 2.0□-3C

記号	工事内容
B	既設冷媒配管に接続 (冷媒管: R4 ・ 制御配線) (既設冷媒管 R2)
C	既設冷媒配管に接続 (冷媒管: R6 ・ 制御配線) (既設冷媒管 R5)
D	既設冷媒配管に接続 (冷媒管: R6 ・ 制御配線) (既設冷媒管 R6)
E	既設冷媒配管に接続 (冷媒管: R8 ・ 制御配線) (既設冷媒管 R6)
F	既設冷媒配管に接続 (冷媒管: R8 ・ 制御配線) (既設冷媒管 R7)
G	室内機ドレン管接続 (VP25A)
共通	室内機電源配線接続
共通	室内外機連絡線及びリモコン配線接続
共通	新設リモコンスイッチ取付 (● R・SW)
共通	室内機 (ACP) 取付金具新設 (振止金具取付)

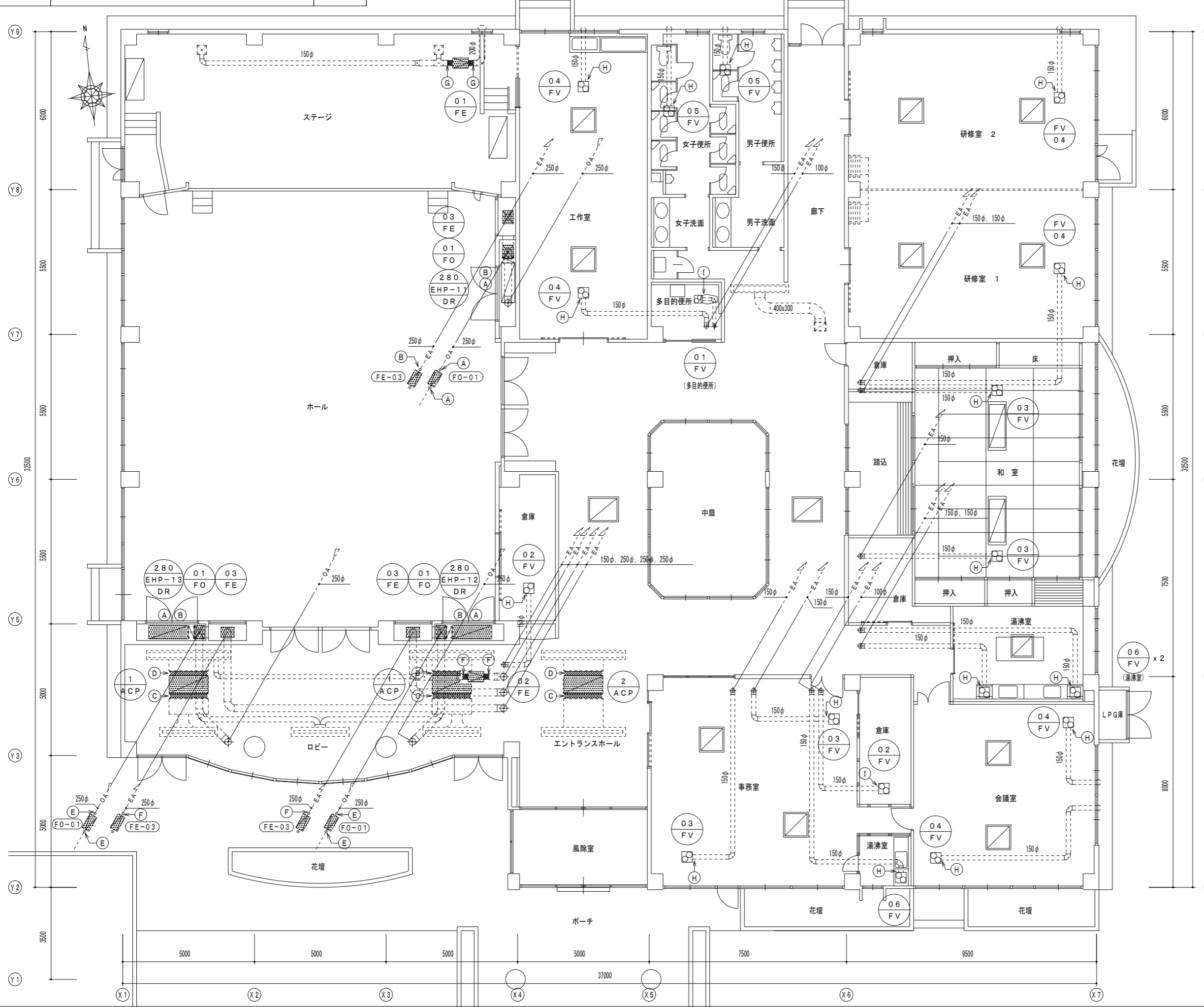
工事名	可児市広見東地区センター空調設備更新工事		
種別	1階 平面図 (空調機器・配管) (更新後)	図面番号	M-13
縮尺	1/100	作製年月日	
(株) 岐阜建築設備計画			



工事内容一覧表	
記号	工事内容
(A)	既設SAダクト切離し (MAI-1・1000x400)
(B)	既設RAダクト切離し (MAI-1 480x420)
(C)	既設SAダクト切離し (PAC-1・PAC-2)
(D)	既設RAダクト切離し (PAC-1・PAC-2)
(E)	既設OAダクト切離し (250φ)
(F)	既設EAダクト切離し (250φ)
(G)	既設EAダクト切離し (200φ)
(H)	既設EAダクト切離し (150φ)
(I)	既設EAダクト切離し (100φ)

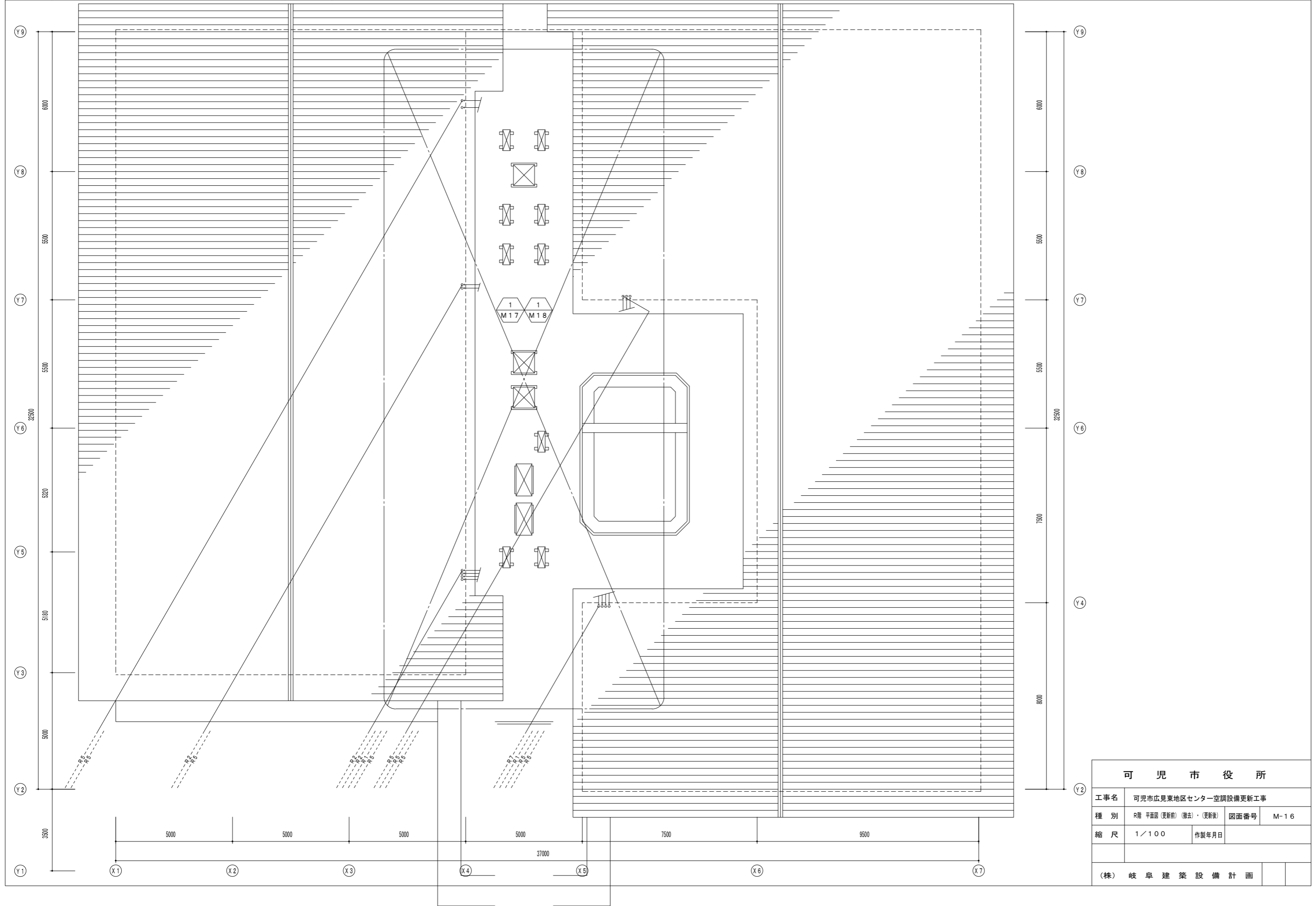
可児市役所			
工事名	可児市広見東地区センター空調設備更新工事		
種別	1階 平面図 (換気・ダクト) (更新前) (撤去)	図面番号	M-14
縮尺	1/100	作製年月日	
(株) 岐阜建築設備計画			





記号	工事内容
(A)	既設SAダクトに接続 (EHP-11・12・13)
(B)	既設RAダクトに接続 (EHP-11・12・13)
(C)	既設SAダクトに接続 (ACP-01・ACP-02)
(D)	既設RAダクトに接続 (ACP-01・ACP-02)
(E)	既設OAダクトに接続 (250φ)
(F)	既設EAダクトに接続 (250φ)
(G)	既設EAダクトに接続 (200φ)
(H)	既設EAダクトに接続 (150φ)
(I)	既設EAダクトに接続 (100φ)

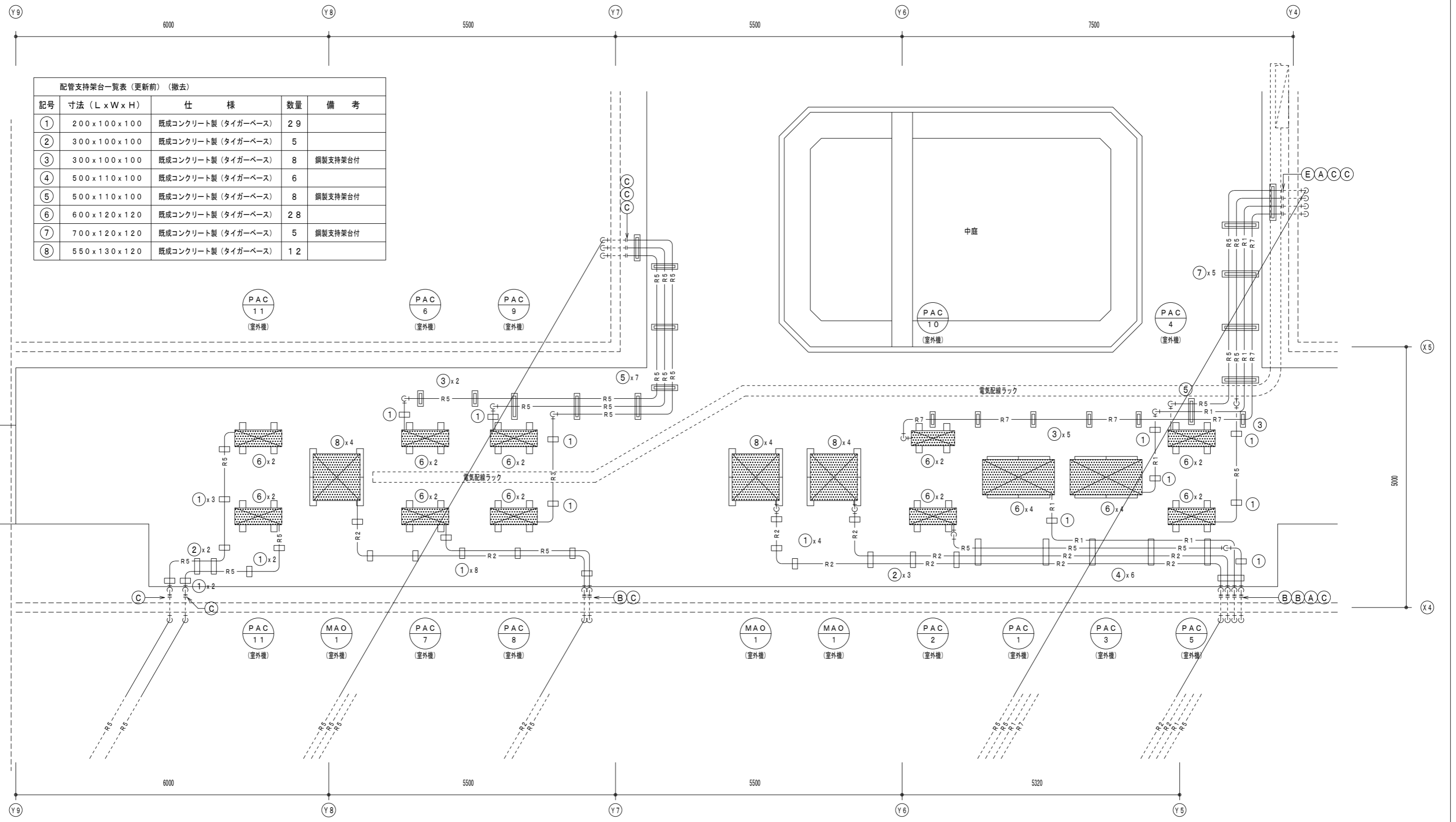
工事名	可児市広見東地区センター空調設備更新工事		
種別	1階 平面図 (ダクト・換気設備) (更新後)	図面番号	M-15
縮尺	1/100	作製年月日	
(株) 岐阜建築設備計画			



可 児 市 役 所			
工事名	可児市広見東地区センター空調設備更新工事		
種 別	R階 平面図 (更新前) (撤去) ・ (更新後)	図面番号	M-16
縮 尺	1/100	作製年月日	
(株) 岐 阜 建 築 設 備 計 画			

配管支持架台一覧表（更新前）（撤去）

記号	寸法 (L x W x H)	仕様	数量	備考
①	200 x 100 x 100	既成コンクリート製 (タイガーベース)	29	
②	300 x 100 x 100	既成コンクリート製 (タイガーベース)	5	
③	300 x 100 x 100	既成コンクリート製 (タイガーベース)	8	鋼製支持架台付
④	500 x 110 x 100	既成コンクリート製 (タイガーベース)	6	
⑤	500 x 110 x 100	既成コンクリート製 (タイガーベース)	8	鋼製支持架台付
⑥	600 x 120 x 120	既成コンクリート製 (タイガーベース)	28	
⑦	700 x 120 x 120	既成コンクリート製 (タイガーベース)	5	鋼製支持架台付
⑧	550 x 130 x 120	既成コンクリート製 (タイガーベース)	12	



冷媒配管一覧表

記号	液管	ガス管	制御配線
R1	15.9φ	28.6φ	CVV2.0□-3C
R2	12.7φ	28.6φ	CVV2.0□-3C
R3	12.7φ	25.4φ	CVV2.0□-3C
R4	9.5φ	22.2φ	CVV2.0□-3C
R5	9.5φ	19.1φ	CVV2.0□-3C
R6	9.5φ	15.9φ	CVV2.0□-3C
R7	6.4φ	12.7φ	CVV2.0□-3C

工事内容一覧表

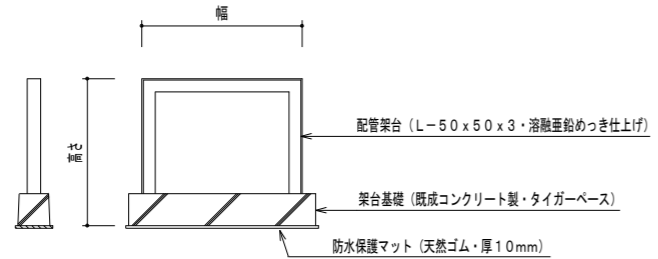
記号	工事内容
(A)	既設配管切離し (冷媒管: R1 ・ 制御配線)
(B)	既設配管切離し (冷媒管: R2 ・ 制御配線)
(C)	既設配管切離し (冷媒管: R5 ・ 制御配線)
(E)	既設配管切離し (冷媒管: R7 ・ 制御配線)
共通	室内外機連絡線切離し (上記各箇所)

可児市役所

工事名	可児市広見東地区センター空調設備更新工事		
種別	R階部分平面詳細図 (更新前) (撤去)	図面番号	M-17
縮尺	1/50	作製年月日	

(株) 岐阜建築設備計画

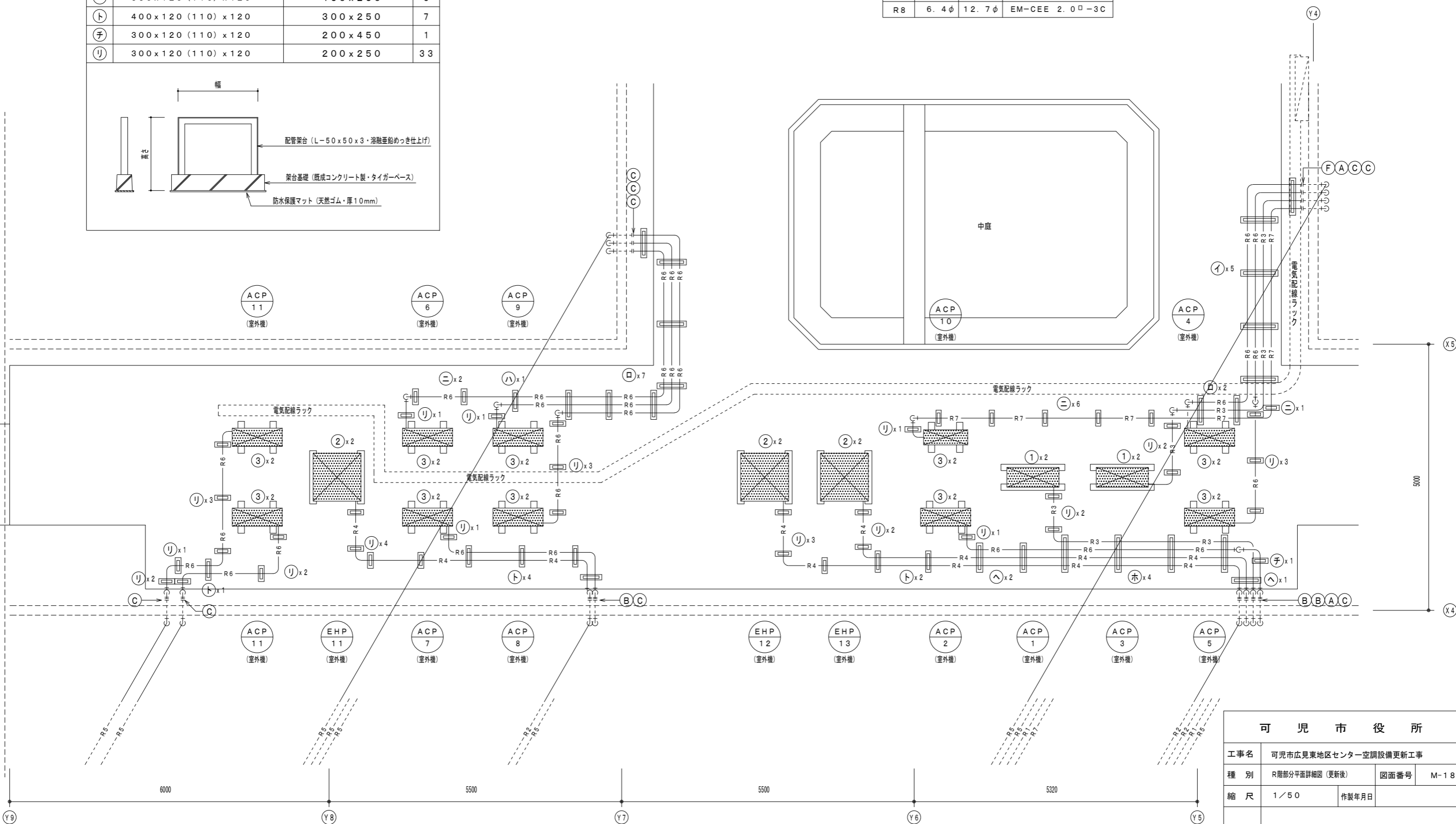
記号	基礎寸法 (長さ x 下部幅 (上部幅) x 高さ)	配管架台寸法 (幅 x 高さ)	数量
イ	700 x 120 (110) x 120	600 x 650	5
ロ	550 x 120 (110) x 120	450 x 650	9
ハ	400 x 120 (110) x 120	300 x 650	1
ニ	300 x 120 (110) x 120	200 x 650	9
ホ	700 x 120 (110) x 120	600 x 250	4
ヘ	550 x 120 (110) x 120	450 x 250	3
ト	400 x 120 (110) x 120	300 x 250	7
チ	300 x 120 (110) x 120	200 x 450	1
リ	300 x 120 (110) x 120	200 x 250	33



記号	寸法 (長さ x 下部幅 (上部幅) x 高さ)	仕様	数量	防水保護マット
①	1,200 x 140 (110) x 150	既成コンクリート製 (タイガーベース)	4	天然ゴム 10mm
②	1,000 x 140 (110) x 130	既成コンクリート製 (タイガーベース)	6	天然ゴム 10mm
③	600 x 140 (110) x 130	既成コンクリート製 (タイガーベース)	20	天然ゴム 10mm

記号	液管	ガス管	制御配線
R1	15.9φ	28.6φ	EM-CEE 2.0□-3C
R2	12.7φ	28.6φ	EM-CEE 2.0□-3C
R3	12.7φ	25.4φ	EM-CEE 2.0□-3C
R4	9.5φ	22.2φ	EM-CEE 2.0□-3C
R5	9.5φ	19.1φ	EM-CEE 2.0□-3C
R6	9.5φ	15.9φ	EM-CEE 2.0□-3C
R7	6.4φ	15.9φ	EM-CEE 2.0□-3C
R8	6.4φ	12.7φ	EM-CEE 2.0□-3C

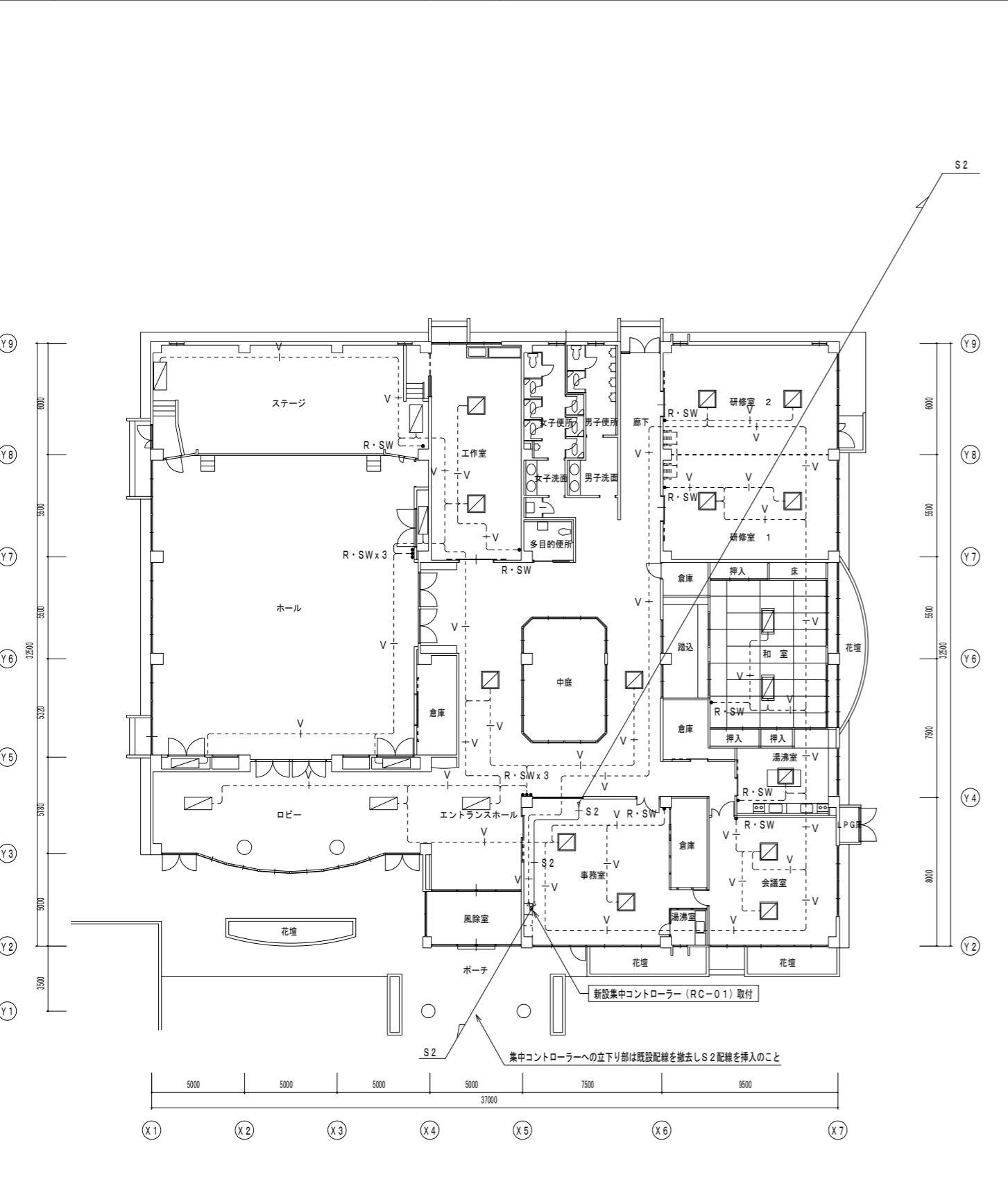
記号	工事内容
A	既設配管に接続 (冷媒管: R3 ・ 制御配線) (既設冷媒配管は R1)
B	既設配管に接続 (冷媒管: R4 ・ 制御配線) (既設冷媒配管は R2)
C	既設配管に接続 (冷媒管: R6 ・ 制御配線) (既設冷媒配管は R5)
F	既設配管に接続 (冷媒管: R8 ・ 制御配線) (既設冷媒配管は R7)
共通	室内外機連絡線接続 (上記各箇所)



**可 児 市 役 所**

工事名	可児市広見東地区センター空調設備更新工事		
種 別	R階部分平面詳細図 (更新後)	図面番号	M-18
縮 尺	1/50	作製年月日	

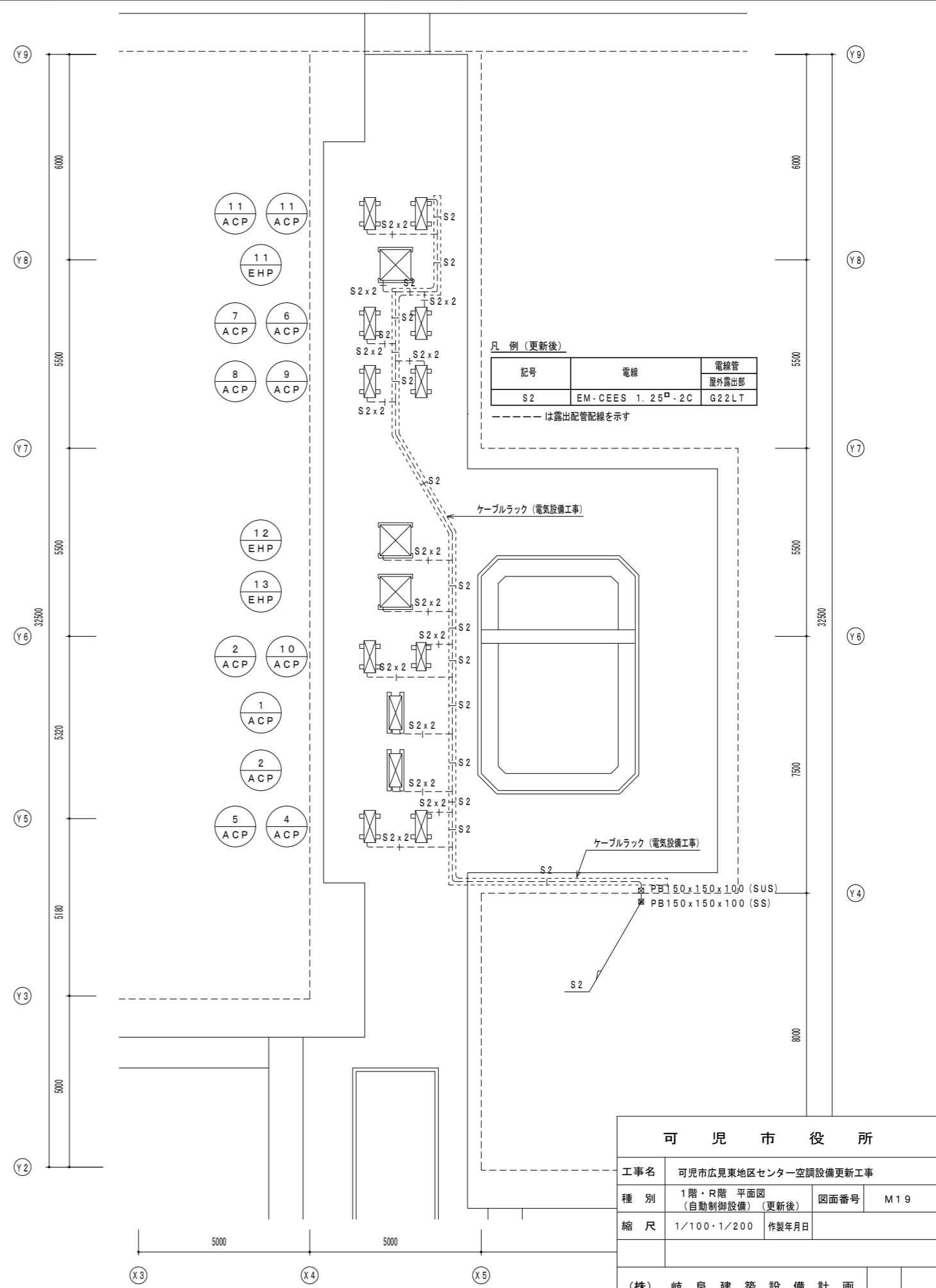
(株) 岐 阜 建 築 設 備 計 画



凡例 (更新後)

記号	電線	電線管
S2	EM-CEES 1.25 <sup>□</sup> -2C	屋外露出部 G22
● R-SW	新設リモコンスイッチ取付	

——— は天井内隠蔽部ケーブルコログシ配線を示す  
 - - - - - は露出配管配線を示す  
 - - - - - は既設配管配線を示す



凡例 (更新後)

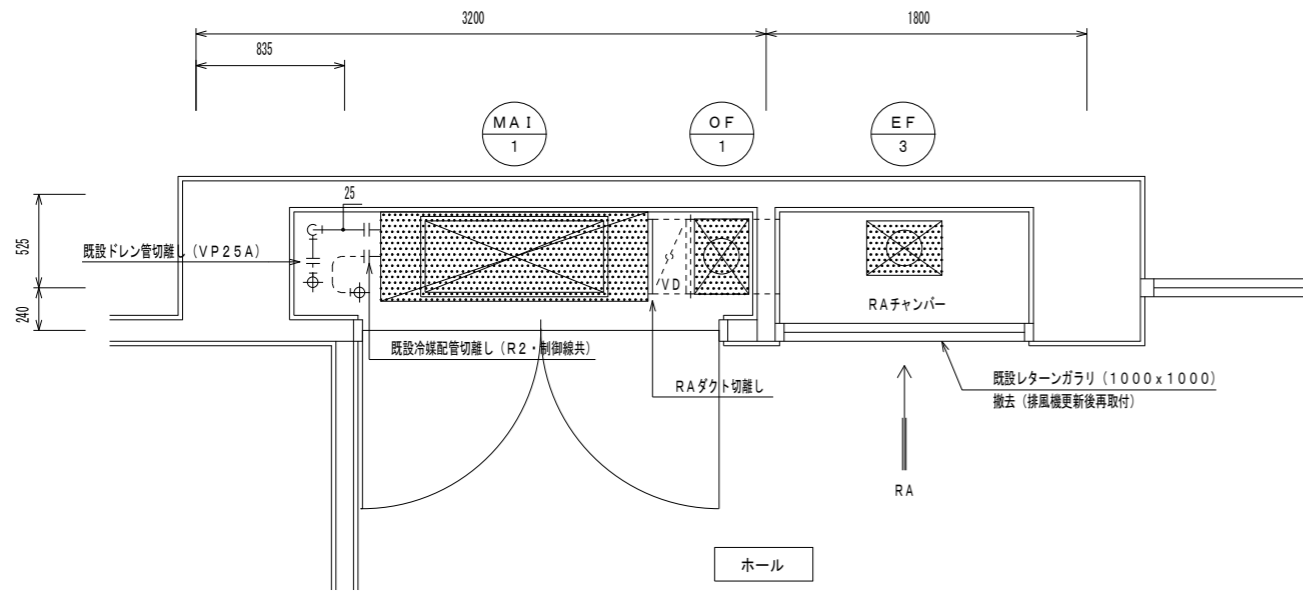
記号	電線	電線管
S2	EM-CEES 1.25 <sup>□</sup> -2C	屋外露出部 G22LT

は露出配管配線を示す

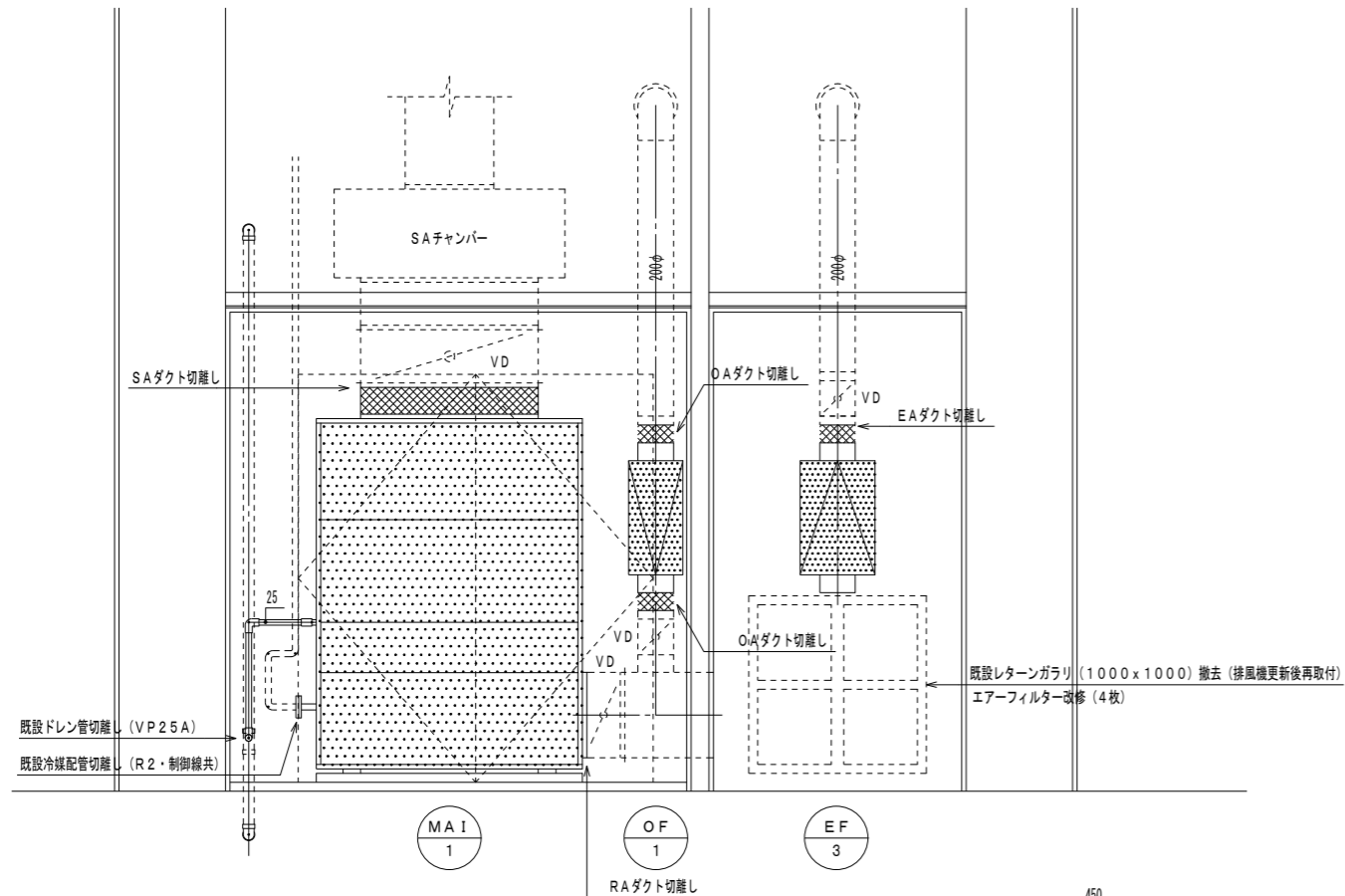
**可 児 市 役 所**

工事名	可児市広見東地区センター空調設備更新工事		
種別	1階・R階 平面図 (自動制御設備) (更新後)	図面番号	M19
縮尺	1/100・1/200	作製年月日	

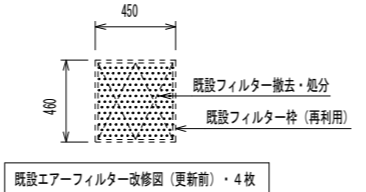
(株) 岐阜建築設備計画



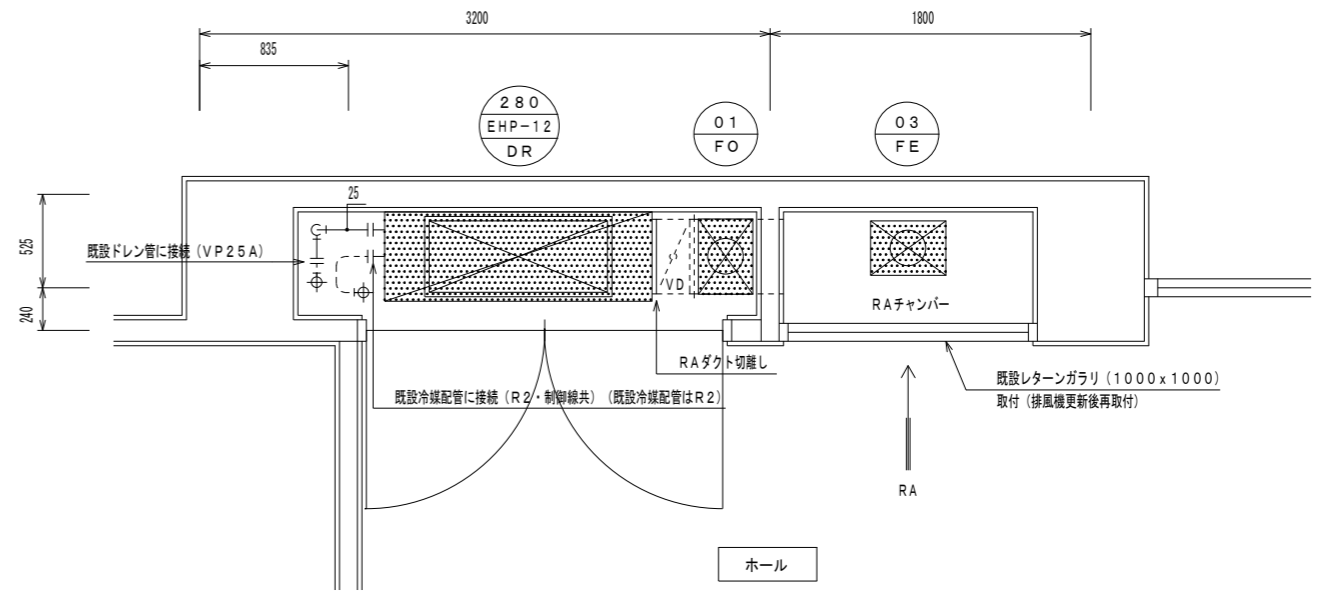
平面詳細図



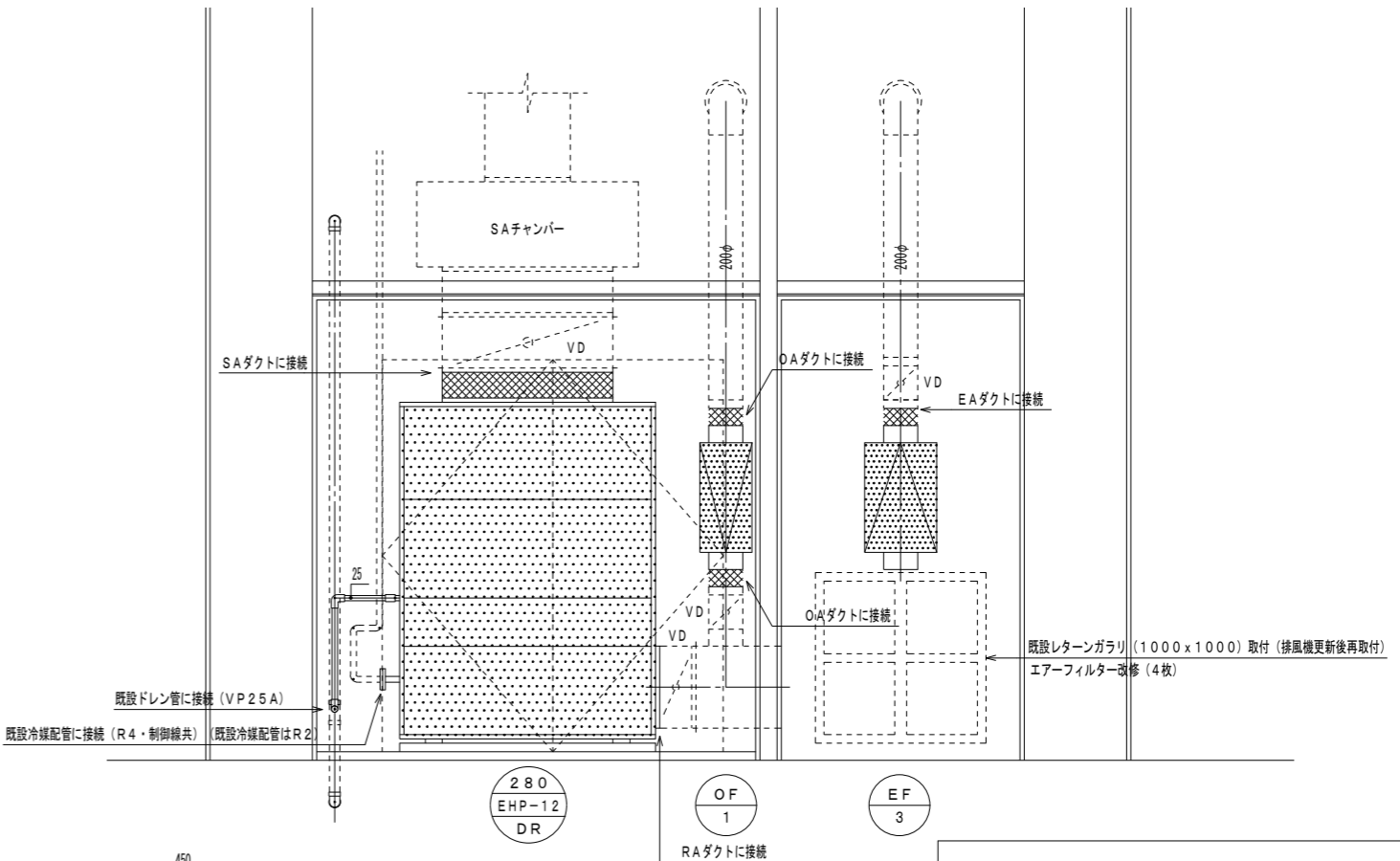
断面詳細図



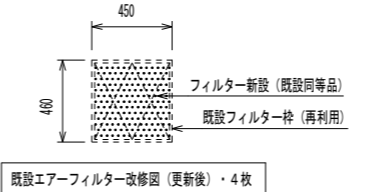
既設エアフィルター改修図（更新前）・4枚



平面詳細図

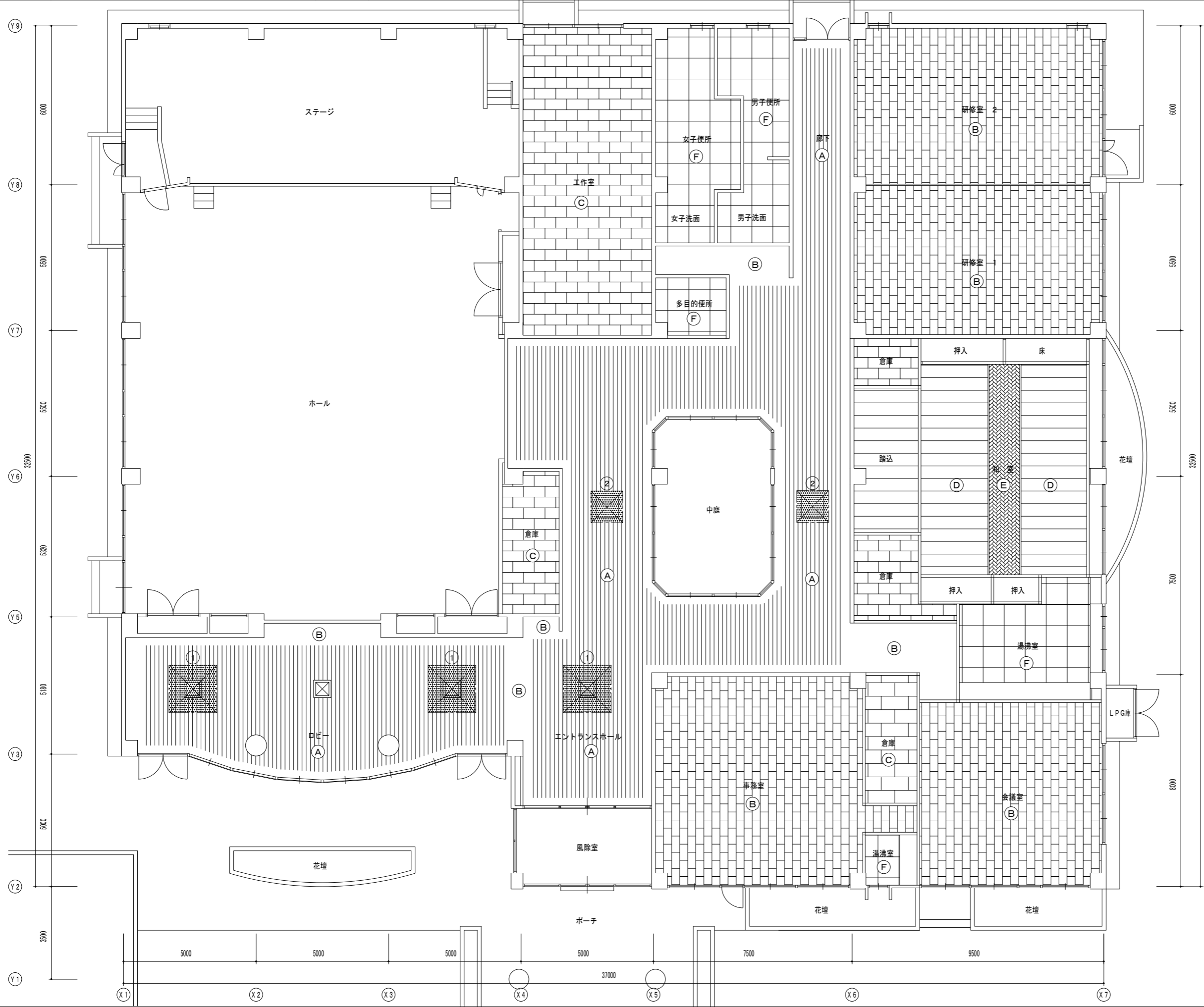


断面詳細図

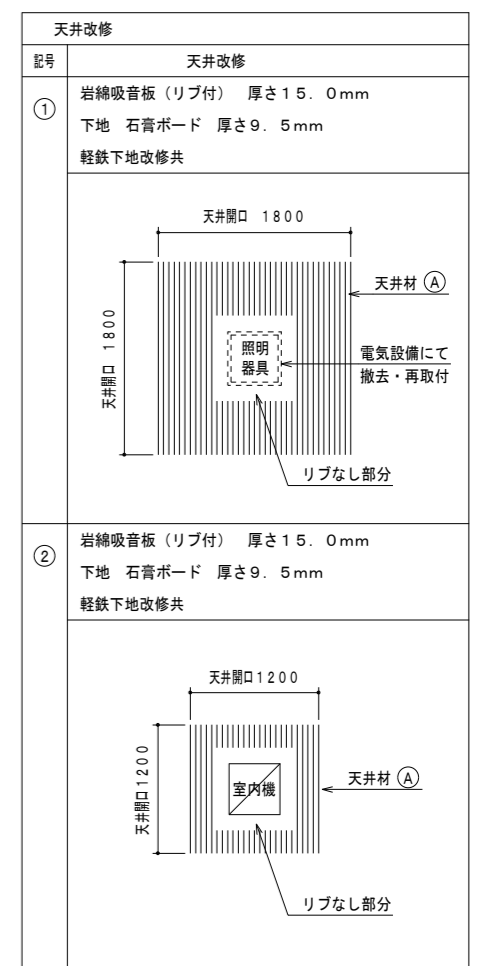


既設エアフィルター改修図（更新後）・4枚

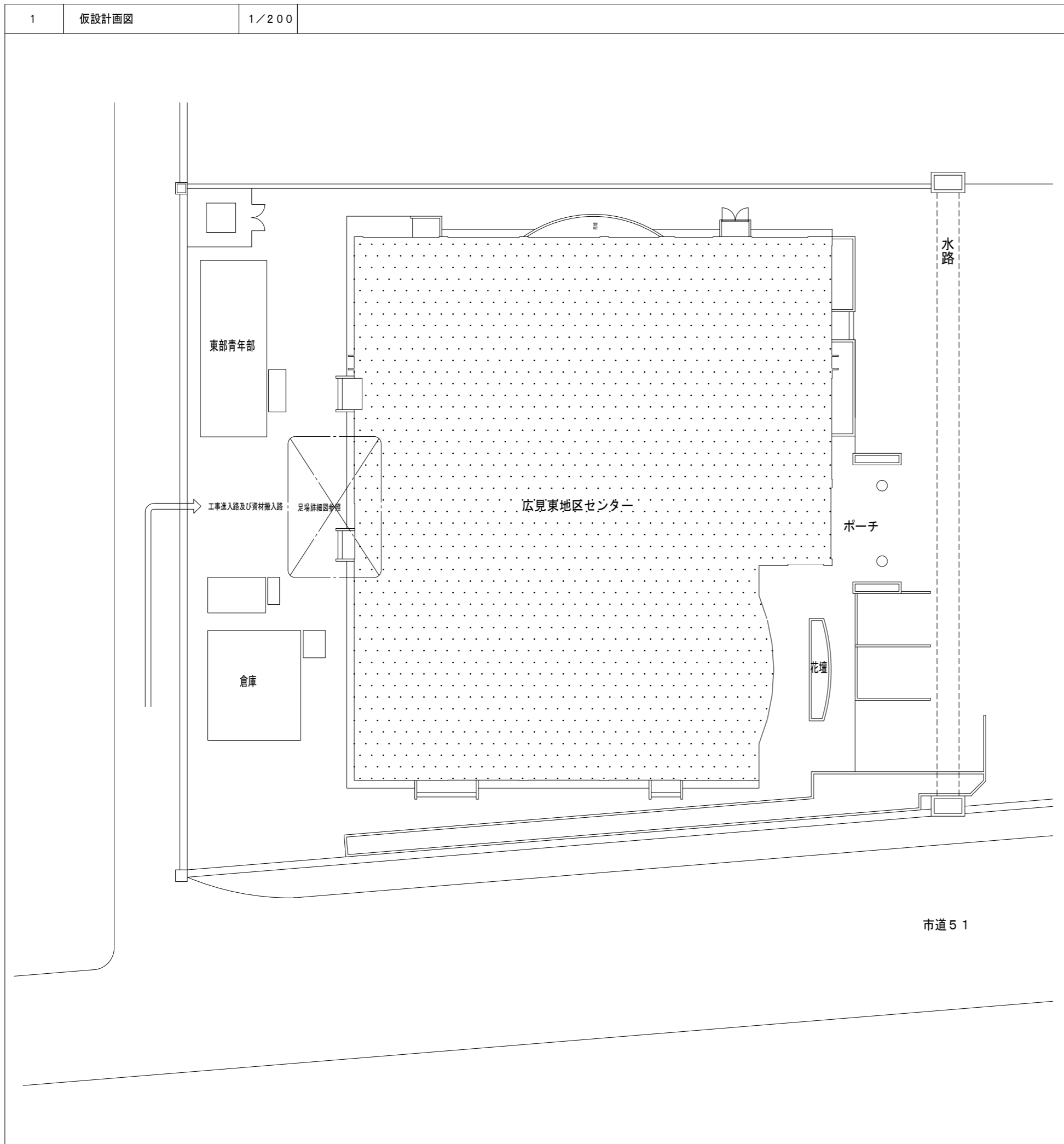
可 児 市 役 所			
工事名	可児市広見東地区センター空調設備更新工事		
種 別	施工要領図（更新前）（更新後）	図面番号	M-20
縮 尺	1/30	作製年月日	
(株) 岐 阜 建 築 設 備 計 画			



天井仕上一覧表	
記号	天井仕上
(A)	岩綿吸音板 (リブ付) 厚さ15.0mm 下地 石膏ボード 厚さ9.5mm
(B)	岩綿吸音板 厚さ12.0mm 下地 石膏ボード 厚さ9.5mm
(C)	化粧石膏ボード 厚さ9.5mm
(D)	化粧石膏ボード 厚さ9.5mm 和風敷目羊付船底天井
(E)	化粧石膏ボード 厚さ9.5mm 和風敷目天井
(F)	珪酸カルシウム板 厚さ6.0mm VP (溶剤型塩化ビニル樹脂系ペイント)

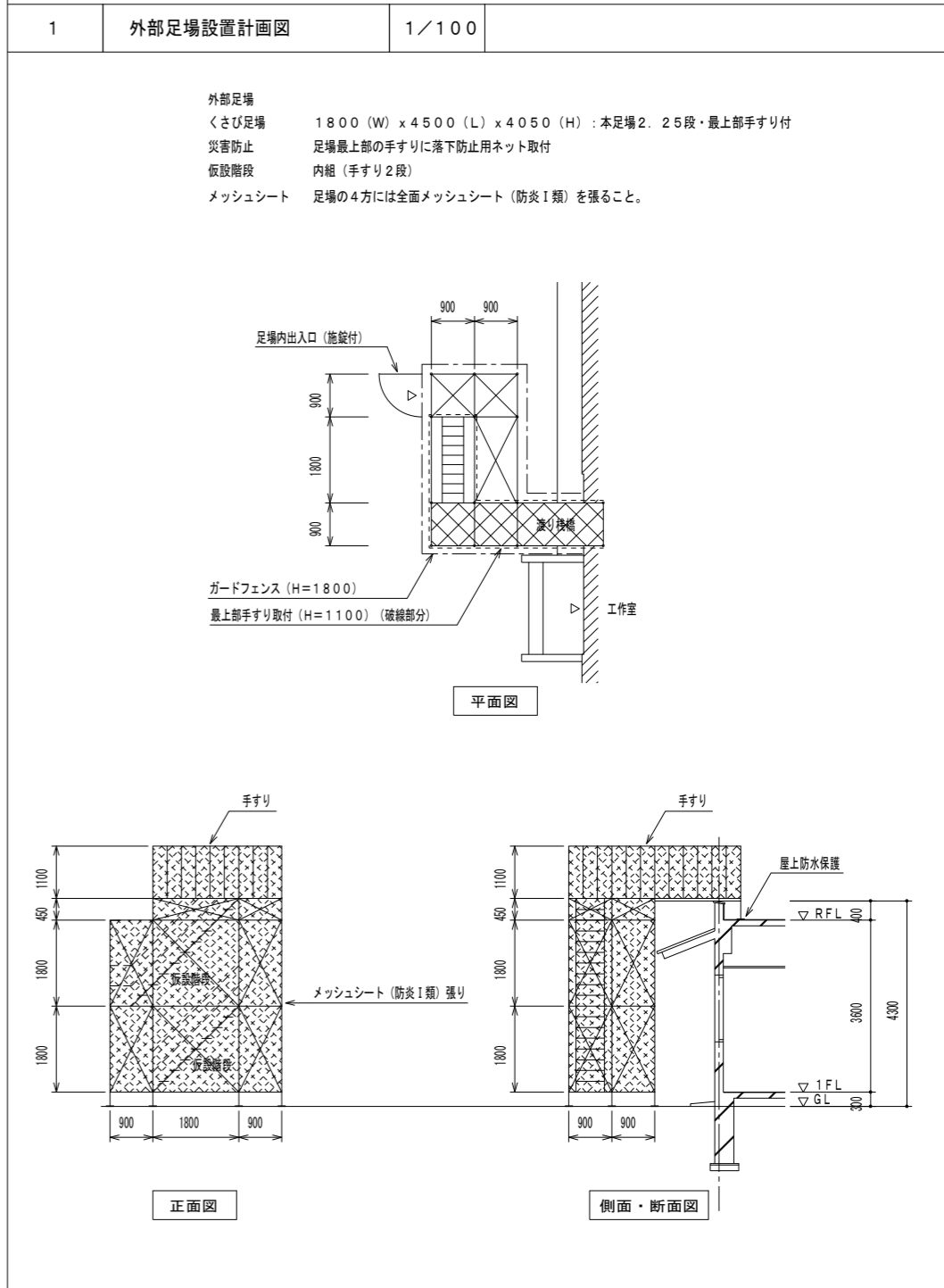


可児市役所			
工事名	可児市広見東地区センター空調設備更新工事		
種別	1階 天井改修図	図面番号	M-21
縮尺	1/100	作製年月日	
(株) 岐阜建築設備計画			



1 仮設計画 特記事項

- ・ 工事車両等の進入経路に於ける既設アスファルト舗装面は、工事完了時に破損部を補修のこと。(表層撤去・補修)
- ・ 進入、搬入路に当たる部分は随時清掃を行うものとする。
- ・ 作業員車路は施設管理者と時間及び方法を協議すること。
- ・ 工事期間中は、施設利用者に対する安全対策を監督職員、施設管理者と事前に協議し、十分な安全確保に努めること。
- ・ 仮設計画図中の仮施設の配置は、本工事施工に当たって、工事施工計画書、仮設計画図を作成し監督職員と事前協議を行うものとする。
- ・ 資材搬出、搬入時には、必要に応じて交通誘導員を配置すること。
- ・ 上記以外に工事中には施設利用者の安全に配慮し施設誘導用の為の交通誘導員を配置すること。



可 児 市 役 所			
工事名	可児市広見東地区センター空調設備更新工事		
種 別	仮設計画図	図面番号	M-22
縮 尺	1/100・1/200	作製年月日	
(株) 岐 阜 建 築 設 備 計 画			





1. 一般共通事項	26	不当介入における通報義務	妨害又は不当要求に対する通報義務 1) 受注者は契約の履行に当たって、暴力団関係者等から事実関係及び社会通念等に照らして合理的な理由が認められない不当若しくは違法な要求又は契約の適正な履行を妨げる妨害を受けたときは、警察へ通報をしなければならない。なお、通報がない場合は入札参加資格を停止することができる。 2) 受注者は暴力団等による不当介入を受けたことにより、履行期間内に業務を完了することができないときは、発注者に履行期間の延長を請求することができる。																																																															
	27	残土処分	建設発生土を構外搬出（または搬入）する場合は、「岐阜県埋立て等の規制に関する条例」（平成19年4月1日施行）を遵守して、適正に処理すること。 ・ 監督員が指示する構内の場所に敷きならしとする。 ・ 別途 ・ 構外搬出とする（※土壌検査を ・ 実施する ・ 実施しない）。																																																															
	28	他工事との工事区分	図面に特記なき場合、別表「C. 工事区分表」による。ただし、これにより難しい場合は監督員と協議する。																																																															
	29	合成樹脂管配線	合成樹脂製可とう管（P F管）及び付属品は、タイプ-25のものを使用する。なお、電力用位置ボックス類は原則として合成樹脂製とするが、コンクリート打込み部分は金属製としても良い。ただし、金属製とする場合は当該ボックスには接地を施すものとする。また、ボックス類を外部に面した壁に打込む場合はボックスに保温・結露対策の処置を施すこと。																																																															
	30	薄鋼電線管	薄鋼電線管は表示されているものと同一外形のねじなし電線管を使用しても良い。																																																															
	31	電線本数・管路等	分電盤、制御盤、端子盤などの二次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径等は監督員の承諾を受けて変更しても差し支えない。また、機械室等の床配線は図面上P F管で記載している場合であっても、立上げ部分等の露出配管部分は金属管とし、その場合は全長にわたって接地線を設ける。																																																															
	32	金属製電線管の塗装	次の露出配管は塗装を行う。 ・ 屋外（ ） ・ 屋内（ ）																																																															
	33	保護管	ケーブル配線の保護管は、標準仕様書の金属管配線、合成樹脂管配線の項による。																																																															
	34	最上階の埋込配管	最上階の天井スラブへの埋込配管は、原則として避けるものとする。																																																															
	35	呼び線	長さ1m以上の入線しない電線管には、電線太さ1.2mm以上のビニル被覆鉄線を挿入する。																																																															
	36	プレートの材質	フラッシュプレートは、図面に特記なき場合は次による。 ・ 金属製（ステンレス・新金属製を含む） ・ 樹脂製																																																															
	37	位置ボックス等	ケーブルころがし配線で送り配線端子のある場合は、照明器具、スピーカー、感知器の位置ボックスは、不要とする。																																																															
	38	EM-E E Fケーブルの仕様について	3心以上のEM-E E Fケーブルについて、1心を接地線として使用する場合は当該心線絶縁体の識別色が緑色である材料を使用すること。																																																															
	39	地中配線の埋設深さ等	地中配線で、特記なき埋設深さは0.6m以上とする。なお、地中配線には標識シート等（2倍長以上重ね）を設ける。																																																															
40	地中線の埋設標	構内線路における埋設標の材質及びその個数は、図面に記載のない場合は、次による。 ・ 鉄製（ 箇所） ・ コンクリート製（ 箇所）																																																																
41	ハンドホールの鉄蓋	ハンドホール等の鉄蓋は、鋳型流し込みで用途名を表示する。 ・ 構内配電線路の用途名（ ・ 電力 ・ 高圧 ） ・ 構内通信線路の用途名（ ・ 通信 ・ ） ・ 共用する場合の用途名（ ・ 電気 ・ ）																																																																
42	電力・電話等の引き込み	電力及び電話等引き込み線の引留方法、位置については電力会社及び電気通信事業者等と打合せのうえ監督員と協議により施工する。																																																																
43	接地極	図面に特記無き場合は、次表の「接地極一覧表」による。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>接地の種類</th> <th>記号</th> <th>接地抵抗値</th> <th>接地極の規格・数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 共同接地</td> <td>E<sub>A・B・C・D</sub></td> <td>Ω以下</td> <td>E B (D=14、L=1,500 または W=40、L=1,200) × 3 連-2 組</td> </tr> <tr> <td>・ 共同接地</td> <td>E<sub>A・C・D</sub></td> <td>1 0 Ω以下</td> <td>E B (D=14、L=1,500 または W=40、L=1,200) × 3 連-2 組</td> </tr> <tr> <td>・ A 種</td> <td>E<sub>A</sub></td> <td>1 0 Ω以下</td> <td>E B (D=14、L=1,500 または W=40、L=1,200) × 3 連-2 組</td> </tr> <tr> <td>・ B 種</td> <td>E<sub>B</sub></td> <td>Ω以下</td> <td>E B (D=14、L=1,500 または W=40、L=1,200) × 3 連-2 組</td> </tr> <tr> <td>・ C 種</td> <td>E<sub>C</sub></td> <td>1 0 Ω以下</td> <td>E B (D=14、L=1,500 または W=40、L=1,200) × 3 連-2 組</td> </tr> <tr> <td>・ D 種</td> <td>E<sub>D</sub></td> <td>Ω以下</td> <td>E B (D=14、L=1,500 または W=40、L=1,200) × 3 連- 組</td> </tr> <tr> <td>・ D 種</td> <td>E<sub>D</sub></td> <td>1 0 0 Ω以下</td> <td>E B (D=10、L=1,000 または W=30、L=900) × 1</td> </tr> <tr> <td>・ 高圧避雷器</td> <td>E<sub>LH</sub></td> <td>1 0 Ω以下</td> <td>E B (D=14、L=1,500 または W=40、L=1,200) × 3 連-2 組</td> </tr> <tr> <td>・ 交換装置用</td> <td>E<sub>t</sub></td> <td>1 0 Ω以下</td> <td>E B (D=14、L=1,500 または W=40、L=1,200) × 3 連-2 組</td> </tr> <tr> <td>・ 通信用</td> <td>E<sub>A t</sub></td> <td>1 0 Ω以下</td> <td>E B (D=14、L=1,500 または W=40、L=1,200) × 3 連-2 組</td> </tr> <tr> <td>・ 通信用</td> <td>E<sub>D t</sub></td> <td>1 0 0 Ω以下</td> <td>E B (D=10、L=1,000 または W=30、L=900) × 1</td> </tr> <tr> <td>・ 電話引込口の保安器用</td> <td>E<sub>D t</sub></td> <td>1 0 0 Ω以下</td> <td>E B (D=10、L=1,000 または W=30、L=900) × 1</td> </tr> <tr> <td>・ 測定用</td> <td>E<sub>D</sub></td> <td>1 0 0 Ω以下</td> <td>E B (D=10、L=1,500 または W=30、L=1,200) × 3 連-1 組</td> </tr> <tr> <td>・ 構造体接地</td> <td></td> <td>Ω以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 等電位接地</td> <td></td> <td>Ω以下</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	接地の種類	記号	接地抵抗値	接地極の規格・数量	・ 共同接地	E <sub>A・B・C・D</sub>	Ω以下	E B (D=14、L=1,500 または W=40、L=1,200) × 3 連-2 組	・ 共同接地	E <sub>A・C・D</sub>	1 0 Ω以下	E B (D=14、L=1,500 または W=40、L=1,200) × 3 連-2 組	・ A 種	E <sub>A</sub>	1 0 Ω以下	E B (D=14、L=1,500 または W=40、L=1,200) × 3 連-2 組	・ B 種	E <sub>B</sub>	Ω以下	E B (D=14、L=1,500 または W=40、L=1,200) × 3 連-2 組	・ C 種	E <sub>C</sub>	1 0 Ω以下	E B (D=14、L=1,500 または W=40、L=1,200) × 3 連-2 組	・ D 種	E <sub>D</sub>	Ω以下	E B (D=14、L=1,500 または W=40、L=1,200) × 3 連- 組	・ D 種	E <sub>D</sub>	1 0 0 Ω以下	E B (D=10、L=1,000 または W=30、L=900) × 1	・ 高圧避雷器	E <sub>LH</sub>	1 0 Ω以下	E B (D=14、L=1,500 または W=40、L=1,200) × 3 連-2 組	・ 交換装置用	E <sub>t</sub>	1 0 Ω以下	E B (D=14、L=1,500 または W=40、L=1,200) × 3 連-2 組	・ 通信用	E <sub>A t</sub>	1 0 Ω以下	E B (D=14、L=1,500 または W=40、L=1,200) × 3 連-2 組	・ 通信用	E <sub>D t</sub>	1 0 0 Ω以下	E B (D=10、L=1,000 または W=30、L=900) × 1	・ 電話引込口の保安器用	E <sub>D t</sub>	1 0 0 Ω以下	E B (D=10、L=1,000 または W=30、L=900) × 1	・ 測定用	E <sub>D</sub>	1 0 0 Ω以下	E B (D=10、L=1,500 または W=30、L=1,200) × 3 連-1 組	・ 構造体接地		Ω以下		・ 等電位接地		Ω以下	
接地の種類	記号	接地抵抗値	接地極の規格・数量																																																															
・ 共同接地	E <sub>A・B・C・D</sub>	Ω以下	E B (D=14、L=1,500 または W=40、L=1,200) × 3 連-2 組																																																															
・ 共同接地	E <sub>A・C・D</sub>	1 0 Ω以下	E B (D=14、L=1,500 または W=40、L=1,200) × 3 連-2 組																																																															
・ A 種	E <sub>A</sub>	1 0 Ω以下	E B (D=14、L=1,500 または W=40、L=1,200) × 3 連-2 組																																																															
・ B 種	E <sub>B</sub>	Ω以下	E B (D=14、L=1,500 または W=40、L=1,200) × 3 連-2 組																																																															
・ C 種	E <sub>C</sub>	1 0 Ω以下	E B (D=14、L=1,500 または W=40、L=1,200) × 3 連-2 組																																																															
・ D 種	E <sub>D</sub>	Ω以下	E B (D=14、L=1,500 または W=40、L=1,200) × 3 連- 組																																																															
・ D 種	E <sub>D</sub>	1 0 0 Ω以下	E B (D=10、L=1,000 または W=30、L=900) × 1																																																															
・ 高圧避雷器	E <sub>LH</sub>	1 0 Ω以下	E B (D=14、L=1,500 または W=40、L=1,200) × 3 連-2 組																																																															
・ 交換装置用	E <sub>t</sub>	1 0 Ω以下	E B (D=14、L=1,500 または W=40、L=1,200) × 3 連-2 組																																																															
・ 通信用	E <sub>A t</sub>	1 0 Ω以下	E B (D=14、L=1,500 または W=40、L=1,200) × 3 連-2 組																																																															
・ 通信用	E <sub>D t</sub>	1 0 0 Ω以下	E B (D=10、L=1,000 または W=30、L=900) × 1																																																															
・ 電話引込口の保安器用	E <sub>D t</sub>	1 0 0 Ω以下	E B (D=10、L=1,000 または W=30、L=900) × 1																																																															
・ 測定用	E <sub>D</sub>	1 0 0 Ω以下	E B (D=10、L=1,500 または W=30、L=1,200) × 3 連-1 組																																																															
・ 構造体接地		Ω以下																																																																
・ 等電位接地		Ω以下																																																																

1. 一般共通事項	44	機器取付高さ	図面に特記なき場合は、次による。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>測点</th> <th>取付高さ(mm)</th> <th>名称</th> <th>測点</th> <th>取付高さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">電力共通</td> <td>積算計器</td> <td>地上~窓中心 1,800~2,000</td> <td rowspan="3">出 退 表 示</td> <td>情報表示盤</td> <td>床上~中心 天井高× 0.9</td> </tr> <tr> <td>引込開閉器</td> <td>地上~中心 1,800~2,000</td> <td>壁付発信機</td> <td>床上~中心 1,300</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>ベル・ブザー・チャイム</td> <td>床上~中心 2,300</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">電 灯</td> <td>分電盤</td> <td>床上~中心 1,500 (上端1,900以下)</td> <td rowspan="10">誘 導 支 援</td> <td>壁付押釦(一般)</td> <td>床上~中心 1,300</td> </tr> <tr> <td>スイッチ</td> <td>床上~中心 1,300</td> <td>壁付インターホン(一般)</td> <td>床上~中心 1,300</td> </tr> <tr> <td>スイッチ(自動扉)</td> <td>床上~中心 1,800</td> <td>“(身体障害者)</td> <td>床上~中心 1,100</td> </tr> <tr> <td>スイッチ(人感センサ)</td> <td>床上~中心 1,800</td> <td>壁付アウトレット(一般)</td> <td>床上~中心 300</td> </tr> <tr> <td>(一般)</td> <td>床上~中心 300</td> <td>壁付アウトレット(和室)</td> <td>床上~中心 150</td> </tr> <tr> <td>(和室)</td> <td>床上~中心 150</td> <td>呼出釦(多目的便所)</td> <td>床上~中心 900</td> </tr> <tr> <td>(台上)</td> <td>台上~中心 150~ 200</td> <td>復帰釦</td> <td>床上~中心 1,500~1,800</td> </tr> <tr> <td>(土間)</td> <td>床上~中心 500</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(外壁・屋外)</td> <td>地上~中心 800</td> <td>機器収容箱</td> <td>天井下~上端 200</td> </tr> <tr> <td>ブラケット</td> <td></td> <td rowspan="10">テ レ ビ 共 同 受 信 機</td> <td>直列ユニット(一般)</td> <td>床上~中心 300</td> </tr> <tr> <td>(一般)</td> <td>床上~中心 2,100~2,300</td> <td>直列ユニット(和室)</td> <td>床上~中心 150</td> </tr> <tr> <td>(鏡上)</td> <td>鏡上端~中心 150</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>動力</td> <td>壁掛形制御盤</td> <td>床上~中心 1,500 (上端1,900以下)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>手元開閉器</td> <td>床上~中心 1,500</td> <td>受信機・副受信機</td> <td>床上~中心 800~1,500</td> </tr> <tr> <td></td> <td>制御スイッチ</td> <td>床上~中心 1,300</td> <td>機器収容箱・発信機</td> <td>床上~中心 800~1,500</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">構 内 交 換</td> <td>室内端子盤</td> <td>床上~下端 300</td> <td>警報ベル</td> <td>床上~中心 800~1,500</td> </tr> <tr> <td>集合保安器箱</td> <td>天井下~上端 200</td> <td>表示灯</td> <td>床上~中心 2,100</td> </tr> <tr> <td>壁付電話機</td> <td>床上~中心 1,300</td> <td>ガス用検知器(LPG)</td> <td>床上~上端 300</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">時 計</td> <td>(一般)</td> <td>床上~中心 300</td> <td rowspan="3">備 考</td> <td colspan="2">注) 1) 天井高3,000以上の場合及び上記取付高さにおいて機器の使用に支障が生じる場合は、監督員と協議する。 2) 意匠に関する部分(正面玄関・玄関ホール・EVホール・上級室・会議室)の取付位置は、監督員と協議すること。 3) 表記は原則とし、施工前に監督員の承諾を受ける。</td> </tr> <tr> <td>(和室)</td> <td>床上~中心 150</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>床上~中心</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">拡 声</td> <td>壁掛形親時計</td> <td>床上~中心 1,500 (上端1,900以下)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>子時計</td> <td>床上~中心 天井高× 0.9</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>壁掛形スピーカ</td> <td>床上~中心 天井高× 0.9</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>壁付アツテネータ</td> <td>床上~中心 1,300</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	測点	取付高さ(mm)	名称	測点	取付高さ(mm)	電力共通	積算計器	地上~窓中心 1,800~2,000	出 退 表 示	情報表示盤	床上~中心 天井高× 0.9	引込開閉器	地上~中心 1,800~2,000	壁付発信機	床上~中心 1,300			ベル・ブザー・チャイム	床上~中心 2,300	電 灯	分電盤	床上~中心 1,500 (上端1,900以下)	誘 導 支 援	壁付押釦(一般)	床上~中心 1,300	スイッチ	床上~中心 1,300	壁付インターホン(一般)	床上~中心 1,300	スイッチ(自動扉)	床上~中心 1,800	“(身体障害者)	床上~中心 1,100	スイッチ(人感センサ)	床上~中心 1,800	壁付アウトレット(一般)	床上~中心 300	(一般)	床上~中心 300	壁付アウトレット(和室)	床上~中心 150	(和室)	床上~中心 150	呼出釦(多目的便所)	床上~中心 900	(台上)	台上~中心 150~ 200	復帰釦	床上~中心 1,500~1,800	(土間)	床上~中心 500			(外壁・屋外)	地上~中心 800	機器収容箱	天井下~上端 200	ブラケット		テ レ ビ 共 同 受 信 機	直列ユニット(一般)	床上~中心 300	(一般)	床上~中心 2,100~2,300	直列ユニット(和室)	床上~中心 150	(鏡上)	鏡上端~中心 150							動力	壁掛形制御盤	床上~中心 1,500 (上端1,900以下)				手元開閉器	床上~中心 1,500	受信機・副受信機	床上~中心 800~1,500		制御スイッチ	床上~中心 1,300	機器収容箱・発信機	床上~中心 800~1,500	構 内 交 換	室内端子盤	床上~下端 300	警報ベル	床上~中心 800~1,500	集合保安器箱	天井下~上端 200	表示灯	床上~中心 2,100	壁付電話機	床上~中心 1,300	ガス用検知器(LPG)	床上~上端 300	時 計	(一般)	床上~中心 300	備 考	注) 1) 天井高3,000以上の場合及び上記取付高さにおいて機器の使用に支障が生じる場合は、監督員と協議する。 2) 意匠に関する部分(正面玄関・玄関ホール・EVホール・上級室・会議室)の取付位置は、監督員と協議すること。 3) 表記は原則とし、施工前に監督員の承諾を受ける。		(和室)	床上~中心 150				床上~中心			拡 声	壁掛形親時計	床上~中心 1,500 (上端1,900以下)			子時計	床上~中心 天井高× 0.9			壁掛形スピーカ	床上~中心 天井高× 0.9				壁付アツテネータ	床上~中心 1,300		
	名称	測点	取付高さ(mm)	名称	測点	取付高さ(mm)																																																																																																																																				
	電力共通	積算計器	地上~窓中心 1,800~2,000	出 退 表 示	情報表示盤	床上~中心 天井高× 0.9																																																																																																																																				
		引込開閉器	地上~中心 1,800~2,000		壁付発信機	床上~中心 1,300																																																																																																																																				
					ベル・ブザー・チャイム	床上~中心 2,300																																																																																																																																				
	電 灯	分電盤	床上~中心 1,500 (上端1,900以下)	誘 導 支 援	壁付押釦(一般)	床上~中心 1,300																																																																																																																																				
		スイッチ	床上~中心 1,300		壁付インターホン(一般)	床上~中心 1,300																																																																																																																																				
		スイッチ(自動扉)	床上~中心 1,800		“(身体障害者)	床上~中心 1,100																																																																																																																																				
		スイッチ(人感センサ)	床上~中心 1,800		壁付アウトレット(一般)	床上~中心 300																																																																																																																																				
		(一般)	床上~中心 300		壁付アウトレット(和室)	床上~中心 150																																																																																																																																				
		(和室)	床上~中心 150		呼出釦(多目的便所)	床上~中心 900																																																																																																																																				
		(台上)	台上~中心 150~ 200		復帰釦	床上~中心 1,500~1,800																																																																																																																																				
		(土間)	床上~中心 500																																																																																																																																							
		(外壁・屋外)	地上~中心 800		機器収容箱	天井下~上端 200																																																																																																																																				
ブラケット			テ レ ビ 共 同 受 信 機		直列ユニット(一般)	床上~中心 300																																																																																																																																				
(一般)	床上~中心 2,100~2,300	直列ユニット(和室)		床上~中心 150																																																																																																																																						
(鏡上)	鏡上端~中心 150																																																																																																																																									
動力	壁掛形制御盤	床上~中心 1,500 (上端1,900以下)																																																																																																																																								
	手元開閉器	床上~中心 1,500		受信機・副受信機	床上~中心 800~1,500																																																																																																																																					
	制御スイッチ	床上~中心 1,300		機器収容箱・発信機	床上~中心 800~1,500																																																																																																																																					
構 内 交 換	室内端子盤	床上~下端 300		警報ベル	床上~中心 800~1,500																																																																																																																																					
	集合保安器箱	天井下~上端 200		表示灯	床上~中心 2,100																																																																																																																																					
	壁付電話機	床上~中心 1,300		ガス用検知器(LPG)	床上~上端 300																																																																																																																																					
時 計	(一般)	床上~中心 300	備 考	注) 1) 天井高3,000以上の場合及び上記取付高さにおいて機器の使用に支障が生じる場合は、監督員と協議する。 2) 意匠に関する部分(正面玄関・玄関ホール・EVホール・上級室・会議室)の取付位置は、監督員と協議すること。 3) 表記は原則とし、施工前に監督員の承諾を受ける。																																																																																																																																						
	(和室)	床上~中心 150																																																																																																																																								
		床上~中心																																																																																																																																								
拡 声	壁掛形親時計	床上~中心 1,500 (上端1,900以下)																																																																																																																																								
	子時計	床上~中心 天井高× 0.9																																																																																																																																								
	壁掛形スピーカ	床上~中心 天井高× 0.9																																																																																																																																								
	壁付アツテネータ	床上~中心 1,300																																																																																																																																								
45	耐震措置	設備機器の固定は、次に示す事項を除き、すべて「建築設備耐震設計・施工指針(国土交通省)2014年版」(独立行政法人建築研究所監修)による。 1) 設計用水平地震力は機器重量に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。 なお、特記なき場合、設計用標準水平震度は次の表による。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設区分</th> <th>特定の施設</th> <th>一般の施設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>&lt;重要機器&gt;</td> <td>・ 配電盤 ・ 交換装置 ・ 放送架</td> <td>・ 発電装置(防災用) ・ 中央監視制御装置 ・ 放送架</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>交流無停電電源装置</th> <th>直流電源装置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 自動火災報知受信機</td> <td>・ 総合盤</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設置場所</th> <th>重要機器・水槽</th> <th>一般機器・水槽</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>&lt;上層階の定義&gt;</td> <td>2~6階建の場合は最上階、7~9階建の場合は上層2階、10~12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階</td> <td>2~6階建の場合は最上階、7~9階建の場合は上層2階、10~12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階</td> </tr> <tr> <td>&lt;中層階の定義&gt;</td> <td>地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの</td> <td>地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設置場所</th> <th colspan="4">局部震度法による建築設備機器の設計用標準水平震度</th> </tr> <tr> <th colspan="2">特定の施設(甲類・乙類)</th> <th colspan="2">一般施設(乙類)</th> </tr> <tr> <td></td> <td>重要機器・水槽</td> <td>一般機器・水槽</td> <td>重要機器・水槽</td> <td>一般機器・水槽</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上層階、 屋上及び塔屋</td> <td>2.0 (2.0)</td> <td>1.5 (2.0)</td> <td>1.5 (2.0)</td> <td>1.0 (1.5)</td> </tr> <tr> <td>中間階</td> <td>1.5 (1.5)</td> <td>1.0 (1.0)</td> <td>1.0 (1.0)</td> <td>0.6 (0.6)</td> </tr> <tr> <td>地下、1階</td> <td>1.0 (1.0)</td> <td>0.6 (1.0)</td> <td>0.6 (1.0)</td> <td>0.4 (0.6)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) ( )内数値は防振支持の機器に適用する。 ( )内数値は水槽類に適用する。</p> 2) 設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。	施設区分	特定の施設	一般の施設	<重要機器>	・ 配電盤 ・ 交換装置 ・ 放送架	・ 発電装置(防災用) ・ 中央監視制御装置 ・ 放送架	交流無停電電源装置	直流電源装置	・ 自動火災報知受信機	・ 総合盤	設置場所	重要機器・水槽	一般機器・水槽	<上層階の定義>	2~6階建の場合は最上階、7~9階建の場合は上層2階、10~12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階	2~6階建の場合は最上階、7~9階建の場合は上層2階、10~12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階	<中層階の定義>	地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの	地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの	設置場所	局部震度法による建築設備機器の設計用標準水平震度				特定の施設(甲類・乙類)		一般施設(乙類)			重要機器・水槽	一般機器・水槽	重要機器・水槽	一般機器・水槽	上層階、 屋上及び塔屋	2.0 (2.0)	1.5 (2.0)	1.5 (2.0)	1.0 (1.5)	中間階	1.5 (1.5)	1.0 (1.0)	1.0 (1.0)	0.6 (0.6)	地下、1階	1.0 (1.0)	0.6 (1.0)	0.6 (1.0)	0.4 (0.6)																																																																																								
施設区分	特定の施設	一般の施設																																																																																																																																								
<重要機器>	・ 配電盤 ・ 交換装置 ・ 放送架	・ 発電装置(防災用) ・ 中央監視制御装置 ・ 放送架																																																																																																																																								
交流無停電電源装置	直流電源装置																																																																																																																																									
・ 自動火災報知受信機	・ 総合盤																																																																																																																																									
設置場所	重要機器・水槽	一般機器・水槽																																																																																																																																								
<上層階の定義>	2~6階建の場合は最上階、7~9階建の場合は上層2階、10~12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階	2~6階建の場合は最上階、7~9階建の場合は上層2階、10~12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階																																																																																																																																								
<中層階の定義>	地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの	地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの																																																																																																																																								
設置場所	局部震度法による建築設備機器の設計用標準水平震度																																																																																																																																									
	特定の施設(甲類・乙類)		一般施設(乙類)																																																																																																																																							
	重要機器・水槽	一般機器・水槽	重要機器・水槽	一般機器・水槽																																																																																																																																						
上層階、 屋上及び塔屋	2.0 (2.0)	1.5 (2.0)	1.5 (2.0)	1.0 (1.5)																																																																																																																																						
中間階	1.5 (1.5)	1.0 (1.0)	1.0 (1.0)	0.6 (0.6)																																																																																																																																						
地下、1階	1.0 (1.0)	0.6 (1.0)	0.6 (1.0)	0.4 (0.6)																																																																																																																																						

可 児 市 役 所			
工事名	可児市広見東地区センター空調設備更新工事		
種 別	電気設備工事特記仕様書(2)	図面番号	E-02
縮 尺	—	作製年月日	
(株) 岐 阜 建 築 設 備 計 画			

1 一般 共通 事項	46 天井上区分	( ) 書き、または△を頭に付した室名は直天井を示し、その他は二重天井を示す。
	47 安全施設の使用・設置	1) 安全施設の使用・設置は関係法令等を遵守するほか次のとおり講じなければならない。 (1) 原則、昇降用梯子で作業しないこと。ただし、やむを得ず作業する場合は、作業する高さに関わらず安全帯を使用しなければならない。 (2) 墜落制止用器具は一連の作業において親綱の架け替え等が生じる場合は、本作業用、補助用の2丁掛としなければならない。
	48 定期安全訓練・研修等	1) 受注者は、工事着手後、作業員全員の参加により月当たり、半日以上時間を割り当て、次の各号から実施する内容を選択し、定期的に安全に関する研修・訓練等を実施しなければならない。 さらに、工事内容や現場状況に応じて、過去の事故事例集(下記URL参照)の活用により、工事現場で想定される事故防止対策を必ず実施すること。 (1) 安全活動のビデオ等視聴覚資料による安全教育 (2) 当該工事内容等の周知徹底 (3) 工事安全に関する法令、通達、指針等の周知徹底 (4) 当該工事における災害対策訓練 (5) その他、安全・訓練等として必要な事項 http://www.pref.gifu.lg.jp/shakai-kiban/kendo/gijutsu-kanri/11656/index_3971.html
	49 その他	1) ディーゼルエンジン車両の適正燃料の使用について (1) ディーゼルエンジンを動力とする車両には、JIS規格の軽油を使用すること。 (2) ディーゼルエンジンを動力とする車両の燃料検査があった場合には、協力すること。 2) コンセントプレート、中継ボックス及びOAフロア内ハーネスジョイントボックスには、行先分電盤名、回路名を表示すること。 3) キュービクル及び各分電盤には幹線系統図を作成し、各々に添付すること。

2 電力・ 受変電・ 発電	1 照明制御 総合動作試験	照明制御の総合動作試験は次に示す事項について行い、監督員に試験成績書を提出し承諾を受けること。 ・ 目標照度設定のための各調光センサー(夜間及び日中) ・ 在不在制御機能の動作及び動作時間設定のための調光人感センサー ・ タイムスケジュール制御における点滅及び調光制御の動作確認 ・ 外光センサーによる点滅及び調光制御のための動作確認 注) 上記試験項目は全数確認とする。																														
	2 照度測定	一般照明の照度測定を( )箇所測定し、監督員に報告する。なお、測定場所は、監督員との協議による。																														
	3 発電機回路	発電機回路に接続されるコンセントは、回路種別が識別できるものとする。なお、特記なき場合、自家発電装置に接続する回路は原則として赤色コンセントとする。また、発電機回路用ケーブルの被覆も色分けすること。																														
	4 自家発電設備の 配管工事等	原動機・発電機と付属各機器間の燃料油、冷却水などの配管、制御用配線は監督員の承諾を受けて多少相違しても差し支えない。																														
	5 電動機等の接地	金属管配管において、電動機容量7.5kw以下は金属管を接地線とする。																														
	6 分電盤等	本工事の分電盤、OA盤、実験盤で、分岐に用いる配線用遮断器の寸法と定格は、JIS C 8201-2-1: 付属書JC(参考)「電灯分電盤用協約形回路遮断器」によるものとし、特記なき場合、JIS協約形の1Pサイズ(100V2P1E、200V2P2E)とする。 また、漏電遮断器の寸法と定格は、JIS C 8201-2-2: 付属書JC(参考)「電灯分電盤協約形回路遮断器」によるものとし、特記なき場合、JIS協約形の1Pサイズ(100V2P2E)とする。																														
	7 OA盤・端子盤	OA盤の端子盤部及び端子盤には、換気口を設けるものとする。																														
	8 インバータ装置の 規約効率	三相可変速運転用インバータ装置の規約効率は、次の数値以上とする。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>電動機出力(kW)</td> <td>0.4</td> <td>0.75</td> <td>1.5</td> <td>2.2</td> <td>3.7</td> <td>5.5</td> <td>7.5</td> <td>11</td> <td>15</td> <td>18.5</td> <td>22</td> <td>30</td> <td>37</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>規約効率(%)</td> <td>86.0</td> <td>88.5</td> <td>92.0</td> <td>93.0</td> <td>94.0</td> <td>94.0</td> <td>94.5</td> <td>94.5</td> <td>95.0</td> <td>95.5</td> <td>95.5</td> <td>95.5</td> <td>95.5</td> <td>95.5</td> </tr> </table>	電動機出力(kW)	0.4	0.75	1.5	2.2	3.7	5.5	7.5	11	15	18.5	22	30	37	45	規約効率(%)	86.0	88.5	92.0	93.0	94.0	94.0	94.5	94.5	95.0	95.5	95.5	95.5	95.5	95.5
	電動機出力(kW)	0.4	0.75	1.5	2.2	3.7	5.5	7.5	11	15	18.5	22	30	37	45																	
	規約効率(%)	86.0	88.5	92.0	93.0	94.0	94.0	94.5	94.5	95.0	95.5	95.5	95.5	95.5	95.5																	
9 低圧配電盤	低圧配電盤に用いる配線用遮断器は埋込型(フラッシュプレートタイプ)とする。																															
10 設備機器容量等	本工事及び別契約の関連工事において設備機器容量等が相違する場合は、関連する設備の施工及び機器製作前に監督員と協議し、指示を受けること。																															

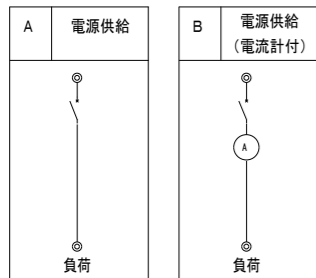
3 通信・ 情報	1 ケーブル	EM-CPEEケーブルは、EM-FCPEEを使用しても良い。 EM-UTPケーブルは、使用用途が判別できるようシース色等を変えること。
	2 非常放送用スピーカ	1W ( L級 M級 S級 ) 3W ( L級 M級 S級 )
	3 電界強度の測定	最上階フロアのコンクリート打設前に、受信電波の電界強度測定を1ヶ所以上行うこと。 また、その報告書を監督職員まで提出すること。

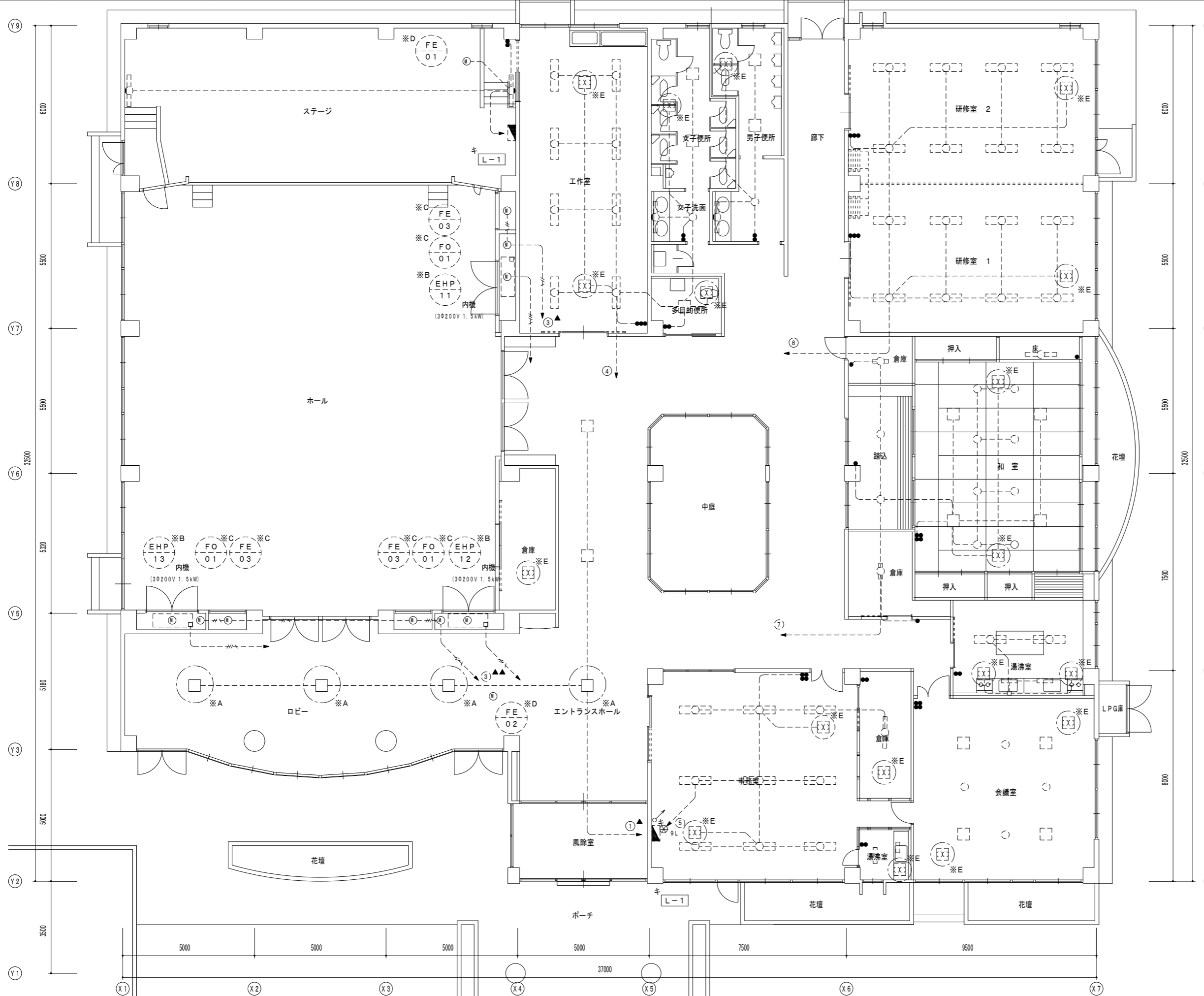
4 改修 一般 事項	1 施工調査	下記によるほか、改修工事標準仕様書による。 事前調査 調査項目 ( ● 既存資料調査 ● 既存配線ルート ● ) 調査範囲 ( ● 図示 ● 工事範囲 ● ) 調査方法 ( ● 図示 ● 目視 ● )
	2 仮設備	仮設備項目 ( ● 受変電 ● 発電 ) 仮設備期間 ( ● 図示 ● ヶ月 )
	3 養生	既存部分の養生は、改修標準仕様書第1編第1章による。 養生範囲 ( ) 養生方法 ( )
	4 発生材の処理	・ 引き渡しを要するもの ( ● 再使用可能な撤去機器類 ) ・ PCB含有調査を要するもの ( ● 照明器具 ● 変圧器 ) ・ 再生資源化を図るもの ( ● 蛍光灯 ● 白熱灯、HID灯 ● 金属類 ● 梱包材 ) ・ 石綿含有品 ( ● ) ※照明器具安定器にPCBが使用されている場合は、安定器を本体より分離し金属箱等に収納し表示を付けて建物管理者に引き渡す。
	5 はつり	既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部は、鉄筋探査を行い、原則としてダイヤモンドカッターを用いて穴開けすること。
	6 再使用機器	取外し再使用機器は、原則として清掃及び絶縁抵抗測定を行った後、取付ける。ただし、絶縁劣化等使用に耐えない場合は、監督員に報告する。
	7 既設との取り合い	本工事施工に伴う既設設備の軽微な加工改造は、本工事とする。

<p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p>	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td colspan="4"><b>可 児 市 役 所</b></td> </tr> <tr> <td>工事名</td> <td colspan="3">可児市広見東地区センター空調設備更新工事</td> </tr> <tr> <td>種 別</td> <td>電気設備工事特記仕様書(3)</td> <td>図面番号</td> <td>E-03</td> </tr> <tr> <td>縮 尺</td> <td>—</td> <td>作製年月日</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">(株) 岐 阜 建 築 設 備 計 画</td> </tr> </table>	<b>可 児 市 役 所</b>				工事名	可児市広見東地区センター空調設備更新工事			種 別	電気設備工事特記仕様書(3)	図面番号	E-03	縮 尺	—	作製年月日		(株) 岐 阜 建 築 設 備 計 画			
<b>可 児 市 役 所</b>																					
工事名	可児市広見東地区センター空調設備更新工事																				
種 別	電気設備工事特記仕様書(3)	図面番号	E-03																		
縮 尺	—	作製年月日																			
(株) 岐 阜 建 築 設 備 計 画																					

盤名称				主幹										備考			
記号	総容量 (kW)	幹線 No	幹線径 (mm)	配線用遮断器	電流計	表示灯	結線図	負荷記号	負荷名称	容量 kW	電気方式 相数 電圧	台数	配線用遮断器 種別 極数 AF AT		保護 リレー	展開図 結線図 制御図	コンデンサ (μF)
壁掛形 RM-1-1 SUS WP	41.02	10P	100'	○	⊃												
								EHP-11	ホール空調機	9.0	3 200	1	ELCB 3 50 50		A		
								EHP-12	ホール空調機	9.0	3 200	1	ELCB 3 50 50		A		
								EHP-13	ホール空調機	9.0	3 200	1	ELCB 3 50 50		A		
								ACP-1	ロビー空調機	7.2	3 200	1	ELCB 3 50 50		A		
								ACP-3	中庭廊下空調機	6.82	3 200	1	ELCB 3 50 50		A		
壁掛形 RM-1-2 SUS WP	27.69	11P	60'	○	⊃												
								ACP-9	研修室2空調機	2.84	3 200	1	ELCB 3 50 30		A		
								ACP-11	ステージ空調機	3.47	3 200	1	ELCB 3 50 30		A		
								ACP-2	エントランスホール空調機	3.1	3 200	1	ELCB 3 50 30		A		
								ACP-11	ステージ空調機	3.47	3 200	1	ELCB 3 50 30		A		
								ACP-4	事務室空調機	2.84	3 200	1	ELCB 3 50 30		A		
								ACP-7	工作室空調機	2.84	3 200	1	ELCB 3 50 30		A		
								ACP-5	会議室空調機	2.34	3 200	1	ELCB 3 50 30		A		
								ACP-6	和室空調機	2.82	3 200	1	ELCB 3 50 30		A		
								ACP-10	湯沸室空調機	1.13	3 200	1	ELCB 3 50 20		A		
								ACP-8	研修室1空調機	2.84	3 200	1	ELCB 3 50 30		A		

盤名称				主幹										備考			
記号	総容量 (kW)	幹線 No	幹線径 (mm)	配線用遮断器	電圧計	表示灯	結線図	負荷記号	負荷名称	容量 kW	電気方式 相数 電圧	台数	配線用遮断器 種別 極数 AF AT		保護 リレー	展開図 結線図 制御図	コンデンサ (μF)
壁掛形 RM-1 SS WP	38.54	10P	100'	○													
								MAO-1	ホール空調機	7.7	3 200	1	ELCB 3 100 100		A		
								MAO-1	ホール空調機	7.7	3 200	1	ELCB 3 100 100		A		
								MAO-1	ホール空調機	7.7	3 200	1	ELCB 3 100 100		A		
								PAC-1	ロビー空調機	7.72	3 200	1	ELCB 3 100 100		A		
								PAC-3	中庭廊下空調機	7.72	3 200	1	ELCB 3 100 100		A		
								PAC-9	研修室2空調機	3.87	3 200	1	ELCB 3 50 50		A		
								PAC-11	ステージ空調機	4.62	3 200	1	ELCB 3 50 50		A		
								PAC-2	エントランスホール空調機	3.87	3 200	1	ELCB 3 50 50		A		
								PAC-11	ステージ空調機	4.62	3 200	1	ELCB 3 50 50		A		
								PAC-4	事務室空調機	3.87	3 200	1	ELCB 3 50 50		A		
								PAC-7	工作室空調機	3.87	3 200	1	ELCB 3 50 50		A		
								PAC-5	会議室空調機	2.52	3 200	1	ELCB 3 50 50		A		
								PAC-6	和室空調機	3.87	3 200	1	ELCB 3 50 50		A		
								PAC-10	湯沸室空調機	1.53	3 200	1	ELCB 3 50 30		A		
								PAC-8	研修室1空調機	3.87	3 200	1	ELCB 3 50 50		A		

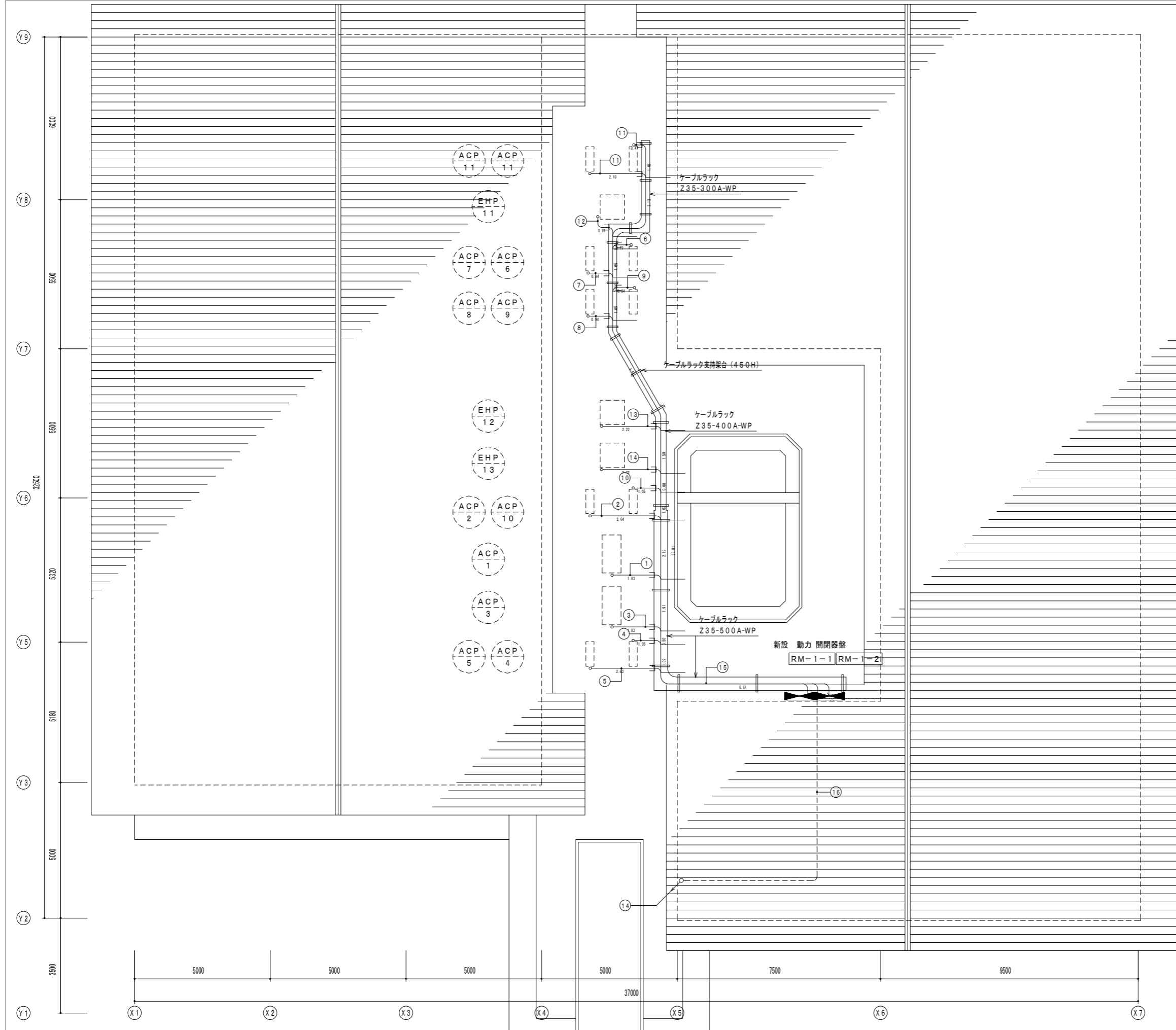




- 改修工事内容**
- ※A: 天井埋込形蛍光灯照明器具 (FPL36 x 3) 取外し再取付
  - ※B: 空調室内機への結線を取外し、再結線 (1V2.0 x 4)
  - ※C: 送排風機への結線を取外し、再結線 (1V2.0 x 3)  
操作は、事務室内電灯盤に取付の既設リモコン (⊗ 9L)
  - ※D: 排風機への結線を取外し、再結線 (1V2.0 x 3)
  - ※E: 天井埋込換気扇への結線を取外し、再結線 (1V2.0 x 3)

- 凡例**
- ◼ 電灯盤
  - ◼ 動力盤 (動力開閉器盤)
  - タンブラースイッチ 1P15A x 1
  - タンブラースイッチ 1P15A x 2
  - タンブラースイッチ 1P15A x 3
  - タンブラースイッチ 1P15A x 4
  - ⊗ セレクタースイッチ
  - ▲ リモコンリレー
  - ① 電動機
  - ⊠ 天井埋込換気扇

可 児 市 役 所			
工事名	可児市広見東地区センター空調設備更新工事		
種 別	(電気設備) 改修 1階 平面図	図面番号	E-05
縮 尺	1/100	作製年月日	
(株) 岐 阜 建 築 設 備 計 画			



改修 動力負荷表 注. 消費電力、電動機出力は参考数値

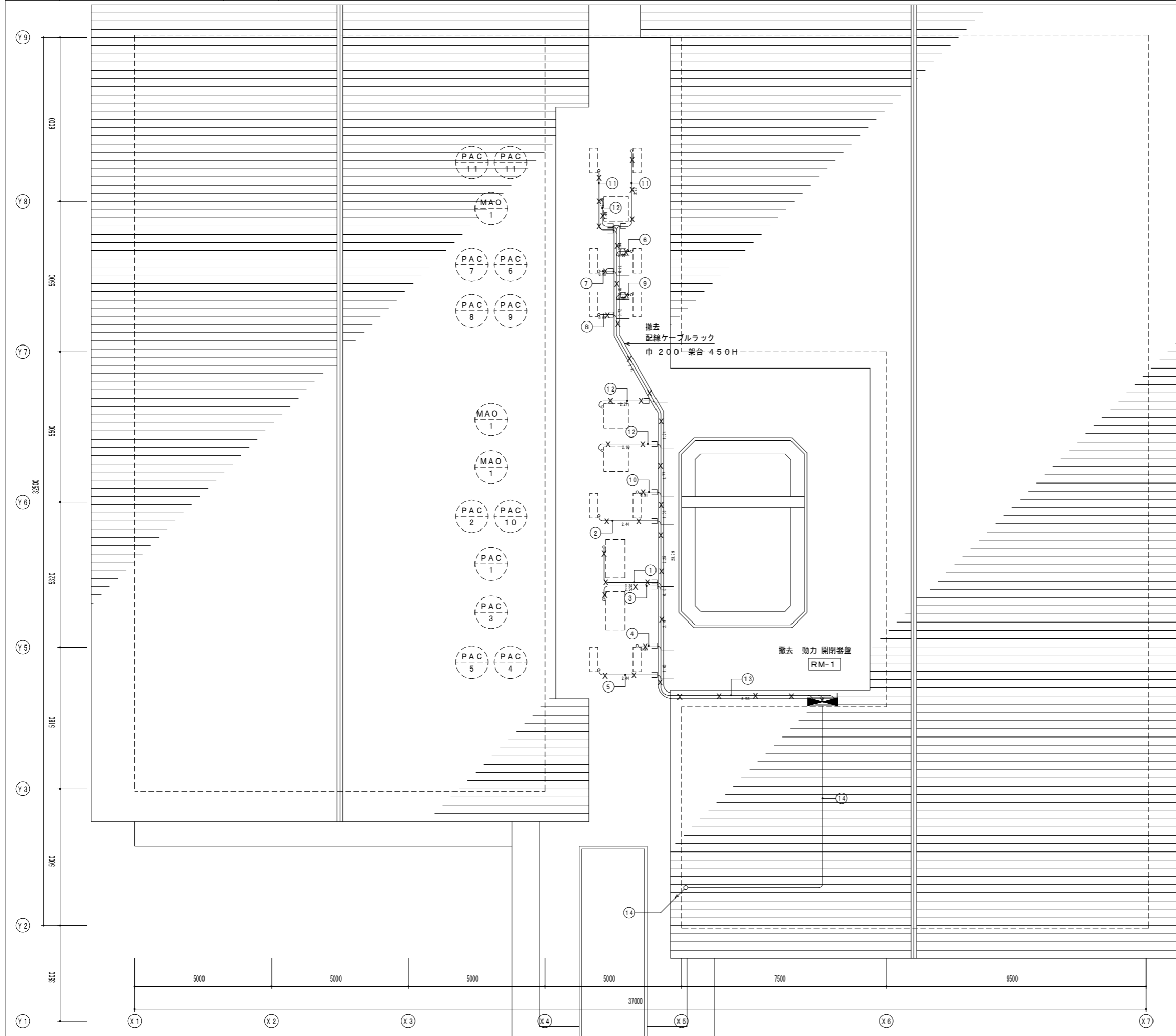
機器記号	電動機出力	配管配線
ACP- 1	7.2 KW	EM-CET14 <sup>4</sup> E5.5 <sup>4</sup> G28LT
ACP- 2	3.1 KW	EM-CE5.5 <sup>4</sup> -3C E2.0 G22LT
ACP- 3	6.82KW	EM-CET14 <sup>4</sup> E5.5 <sup>4</sup> G28LT
ACP- 4	2.84KW	EM-CE3.5 <sup>4</sup> -4C (1CE) G22LT
ACP- 5	2.34KW	EM-CE3.5 <sup>4</sup> -4C (1CE) G22LT
ACP- 6	2.82KW	EM-CE5.5 <sup>4</sup> -3C E2.0 G22LT
ACP- 7	2.84KW	EM-CE5.5 <sup>4</sup> -3C E2.0 G22LT
ACP- 8	2.84KW	EM-CE5.5 <sup>4</sup> -3C E2.0 G22LT
ACP- 9	2.84KW	EM-CE5.5 <sup>4</sup> -3C E2.0 G22LT
ACP-10	1.13KW	EM-CE3.5 <sup>4</sup> -4C (1CE) G22LT
ACP-11	3.47KW	EM-CE5.5 <sup>4</sup> -3C E2.0 G22LT
EHP-11	9.0 KW	EM-CET14 <sup>4</sup> E5.5 <sup>4</sup> G28LT
EHP-12	9.0 KW	EM-CET14 <sup>4</sup> E5.5 <sup>4</sup> G28LT
EHP-13	9.0 KW	EM-CET14 <sup>4</sup> E5.5 <sup>4</sup> G28LT

注. 室外機との接続には金属製可とう電線管(被覆防水仕様)を使用

①	EM-CET14 <sup>4</sup> E5.5 <sup>4</sup> G28LT	新設
②	EM-CE5.5 <sup>4</sup> -3C E2.0 G22LT	新設
③	EM-CET14 <sup>4</sup> E5.5 <sup>4</sup> G28LT	新設
④	EM-CE3.5 <sup>4</sup> -4C (1CE) G22LT	新設
⑤	EM-CE3.5 <sup>4</sup> -4C (1CE) G22LT	新設
⑥	EM-CE5.5 <sup>4</sup> -3C E2.0 G22LT	新設
⑦	EM-CE5.5 <sup>4</sup> -3C E2.0 G22LT	新設
⑧	EM-CE5.5 <sup>4</sup> -3C E2.0 G22LT	新設
⑨	EM-CE5.5 <sup>4</sup> -3C E2.0 G22LT	新設
⑩	EM-CE3.5 <sup>4</sup> -4C (1CE) G22LT	新設
⑪	EM-CE5.5 <sup>4</sup> -3C E2.0 G22LT	新設
⑫	EM-CET14 <sup>4</sup> E5.5 <sup>4</sup> G28LT	新設
⑬	EM-CET14 <sup>4</sup> E5.5 <sup>4</sup> G28LT	新設
⑭	EM-CET14 <sup>4</sup> E5.5 <sup>4</sup> G28LT	新設
⑮	EM-CET14 <sup>4</sup> E5.5 <sup>4</sup> x5 EM-CE5.5 <sup>4</sup> -3C E2.0 x9 EM-CE3.5 <sup>4</sup> -4C (1CE) x2	ケーブルラック 撤去
⑯	CV100 <sup>4</sup> -3C E(63) CV 60 <sup>4</sup> -3C E22 <sup>4</sup> E(63)	既設 再利用

**可 児 市 役 所**

工事名	可児市広見東地区センター空調設備更新工事		
種 別	(電気設備)改修 R階 平面図	図面番号	E-06
縮 尺	1/100	作製年月日	
(株) 岐 阜 建 築 設 備 計 画			



動力負荷表 撤去 注. 消費電力、電動機出力は参考数値

機器記号	電動機出力	配管配線
PAC- 1	7.72KW	CV8" -3C E5.5" VE (28)
PAC- 2	3.87KW	CV5.5" -3C E2.0 VE (22)
PAC- 3	7.72KW	CV8" -3C E5.5" VE (28)
PAC- 4	3.87KW	CV5.5" -3C E2.0 VE (22)
PAC- 5	2.52KW	CV3.5" -3C E2.0 VE (22)
PAC- 6	3.87KW	CV5.5" -3C E2.0 VE (22)
PAC- 7	3.87KW	CV5.5" -3C E2.0 VE (22)
PAC- 8	3.87KW	CV5.5" -3C E2.0 VE (22)
PAC- 9	3.87KW	CV5.5" -3C E2.0 VE (22)
PAC-10	1.53KW	CV3.5" -3C E2.0 VE (22)
PAC-11	4.62KW	CV5.5" -3C E2.0 VE (22)
MAO- 1	7.7 KW	CV8" -3C E5.5" VE (28)

- ① CV8" -3C E5.5" VE (22) 撤去
- ② CV5.5" -3C E2.0 VE (22) 撤去
- ③ CV8" -3C E5.5" VE (22) 撤去
- ④ CV5.5" -3C E2.0 VE (22) 撤去
- ⑤ CV3.5" -3C E2.0 VE (22) 撤去
- ⑥ CV5.5" -3C E2.0 VE (22) 撤去
- ⑦ CV5.5" -3C E2.0 VE (22) 撤去
- ⑧ CV5.5" -3C E2.0 VE (22) 撤去
- ⑨ CV5.5" -3C E2.0 VE (22) 撤去
- ⑩ CV3.5" -3C E2.0 VE (22) 撤去
- ⑪ CV5.5" -3C E2.0 VE (22) 撤去
- ⑫ CV8" -3C E5.5" VE (22) 撤去
- ⑬ CV8" -3C E5.5" x5 ケーブルラック  
CV5.5" -3C E2.0 x9  
CV3.5" -3C E2.0 x2 撤去
- ⑭ CV100" -3C E (63)  
CV 60" -3C E22" E (63) 既設 再利用

可 児 市 役 所			
工事名	可児市広見東地区センター空調設備更新工事		
種 別	(電気設備) 撤去 R階 平面図	図面番号	E-07
縮 尺	1/100	作製年月日	
(株) 岐 阜 建 築 設 備 計 画			